

シラバス（授業計画）

（ 昼 間 部 ）

2 0 2 3



名古屋文化学園保育専門学校

目 次

【昼間部】

社会学	1	環境指導法	33	障がい児保育①～⑮	65
日本語表現	2	言葉指導法	34	障がい児保育⑯～⑳	66
英会話Ⅰ	3	表現（音楽）指導法	35	社会的養護Ⅱ	67
英会話Ⅱ	4	表現（造形）指導法	36	児童文化	68
英会話Ⅲ	5	表現（音楽）指導法Ⅱ	37	子育て支援	69
英検対策Ⅰ	6	教育原理	38	音楽基礎	70
英検対策Ⅱ	7	教職概論	39	ピアノ実技Ⅰ	71
多文化共生Ⅰ	8	教育心理学	40	ピアノ実技Ⅱ	72
多文化共生Ⅱ	9	幼児の特別支援教育	41	基礎造形	73
多文化共生Ⅲ	10	教育課程総論	42	あそびと造形	74
多文化共生Ⅳ	11	教育方法論	43	あそびと運動Ⅰ	75
保育英語（１年）	12	教育相談	44	あそびと運動Ⅱ	76
保育英語（２年）	13	基礎実習	45	こどもと音楽Ⅰ	77
多言語	14	教育実習Ⅰ	46	こどもと音楽Ⅱ	78
生物学	15	教育実習事前事後指導Ⅰ	47	こどもと音楽Ⅲ	79
自然科学概論	16	教育実習Ⅱ	48	表現技術演習（身体）Ⅰ	80
就職実務	17	教育実習事前事後指導Ⅱ（２年）	49	保育実習Ⅰ（児童福祉施設）	81
日本国憲法	18	教育実習事前事後指導Ⅱ（２年長期履修）	50	保育実習指導Ⅰ（児童福祉施設等）	82
情報機器演習	19	教職実践演習	51	保育実習Ⅰ（保育所等）	83
一般英語	20	保育原理Ⅰ	52	保育実習指導Ⅰ（保育所等）	84
体育講義	21	保育原理Ⅱ	53	保育実習Ⅱ	85
体育実技	22	子ども家庭福祉	54	保育実習指導Ⅱ	86
野外活動	23	社会福祉	55	保育実践演習	87
こどもと健康	24	子ども家庭支援論	56		
こどもと人間関係	25	社会的養護Ⅰ	57		
こどもと環境	26	子ども家庭支援の心理学Ⅰ	58		
こどもと言葉	27	子ども家庭支援の心理学Ⅱ	59		
こどもと表現	28	子どもの保健	60		
保育指導法総論	29	子どもの食と栄養	61		
健康指導法	30	乳児保育Ⅰ	62		
人間関係指導法（１年）	31	乳児保育Ⅱ	63		
人間関係指導法（２年長期履修）	32	子どもの健康と安全	64		

保 育 科

昼 間 部

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		社会学			担当教員	天野 諭			
全体目標	社会と個人の密接な関わりを念頭におきながら、学生自身が保育者としてこれから関わる子ども・家庭を取り巻く社会問題を現代的な文脈で理解ができる。								
一般目標	本学で学ぶ保育・子育てに関する知識やスキルを、俯瞰しながら客観的視点で再解釈ができる。								
到達目標	学生自身の育ちの経験から問題意識を喚起し、これまでの「当たり前」を問い直す。そして、次世代の保育や子育てについて学生自身が当事者意識を持って解釈し、自身の考えを述べられるようになる。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	社会学の概要 この講義の意義について説明				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	リアクションペーパーの提出		
	②	学校教育① 学生自身の学校経験(教科)を考える				事前学習	授業にて毎回伝達する		
						事後学習	リアクションペーパーの提出		
	③	学校教育② 学生自身の学校経験(生活)を考える				事前学習	授業にて毎回伝達する		
						事後学習	リアクションペーパーの提出		
	④	スポーツとジェンダー 部活を含め、スポーツを考える				事前学習	授業にて毎回伝達する		
						事後学習	リアクションペーパーの提出		
	⑤	教育現場におけるリスク 「当たり前」としておこなってきた教育活動を考える				事前学習	授業にて毎回伝達する		
						事後学習	リアクションペーパーの提出		
	⑥	保育行事の在り方 前5回を参考に、現在の保育の在り方を考える(ワーク)				事前学習	授業にて毎回伝達する		
						事後学習	リアクションペーパーの提出		
	⑦	貧困問題 子どもの貧困を中心に考える				事前学習	授業にて毎回伝達する		
						事後学習	リアクションペーパーの提出		
	⑧	フェミニズム① 女子・女性問題を考える				事前学習	授業にて毎回伝達する		
						事後学習	リアクションペーパーの提出		
⑨	フェミニズム② フェミニズムを踏まえ現代の女性問題を考える				事前学習	授業にて毎回伝達する			
					事後学習	リアクションペーパーの提出			
⑩	差別問題① これまでの差別・偏見を考える				事前学習	授業にて毎回伝達する			
					事後学習	リアクションペーパーの提出			
⑪	差別問題② 現代の差別・偏見を考える				事前学習	授業にて毎回伝達する			
					事後学習	リアクションペーパーの提出			
⑫	クィア論 LGBTQを考える				事前学習	授業にて毎回伝達する			
					事後学習	リアクションペーパーの提出			
⑬	クィア論 クィア論を踏まえ現代の保育・教育を考える				事前学習	授業にて毎回伝達する			
					事後学習	リアクションペーパーの提出			
⑭	男性学 男子・男性問題を考える				事前学習	授業にて毎回伝達する			
					事後学習	リアクションペーパーの提出			
⑮	筆記試験・まとめ				事前学習	配布資料を復習する			
					事後学習	これまでの学習を振り返る			
学習上の留意点	1 筆記用具を持参し自分の講義ノートをつくること。 2 配布資料を読み、自身の考えをまとめること。 3 関連するニュースなどに関心を持ち、調べてみること。 4 授業内で行うディスカッションやワークに主体的・対話的な態度で参加すること。								
成績評価の方法	① 定期試験 70% ② 出席(授業参加状況、受講態度、リアクションペーパー提出) 30%				教科書	授業毎に資料配布			
	授業の終わりにリアクションペーパーの提出がない場合は欠席とみなす。				参考資料	レイチェル・ギーザ(2019)『ボーイズ 男の子はなぜ「男らしく」育つのか』DU Books 全国保育問題研究協議会編集委員会(2021)『季刊 保育問題研究310 特集保育の中のジェンダーを問う』(株)新読書社			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名		日本語表現			担当教員	矢野 桂子	小中学校教員(国語)として実務経験有
全体目標	幼児がことばを学び、ことばで考え、表現する力をつける重要な環境の一部としての自覚を持ち、「聞く、話す、読む、書く」力の大切さを再認識するとともに、豊かな日本語表現ができる力をつける。						
一般目標	日本語の基礎的・基本的事項についての知識・理解をいっそう深める。言語表現の実践的な諸能力を高める。						
到達目標	・自己紹介・スピーチ・朗読・発表などを通して、考えを伝え合う力をつける。 ・四季の変化の中での暮らし・文化に培われてきた豊かな日本語にふれ、日本語表現に活かす意欲を持つ。 ・自分の幼時の言葉に関するエピソードを知るとともに、様々な場面での幼児の話し言葉に関心をもつ。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 授業計画	学習上の留意事項			事前学習	シラバスから学習内容を知る	
		自己紹介			事後学習	自己紹介感想・反省	
	② レポートを書く(1)	共通テーマ「幼児の育ちと言葉」			事前学習	テーマに関して気付いた事をメモ	
		各自のテーマを決め、構成メモを作る			事後学習	記述内容を考える	
	③ レポートを書く(2)	構成メモをもとに記述する			事前学習	構成メモを見直す	
		読み手に分かりやすい表現を工夫する			事後学習	校正する	
	④ レポートを書く(3)	レポートを発表する 相互評価する			事前学習	発表準備をする	
		テーマについて話し合う			事後学習	諸記録等に段落を意識して書く	
	⑤ 豊かな日本語(1)	字源を調べる[漢字・平仮名・片仮名]			事前学習	自分の姓名の由来を調べる	
		漢語・和語・外来語を理解する			事後学習	興味を持った漢字を調べる	
	⑥ 豊かな日本語(2)	四季に関することばを調べる			事前学習	身の周りのことばを探す	
		二十四節気・七十二候・雑季を知る			事後学習	季節感と表現に関心を持つ	
	⑦ 豊かな日本語(3)	時・場・相手に応じた言葉遣いの			事前学習	言葉遣いで迷うことを振り返る	
		演習をする			事後学習	相手意識を持って話す	
学習上の留意点	⑧ 豊かな日本語(4)	敬語に関する疑問を話し合う			事前学習	敬語を意識した会話を心掛ける	
		敬語の練習問題を解く			事後学習	敬語を意識した会話に心掛ける	
	⑨ 豊かな日本語(5)	成語の成り立ちと意味・活用を考える			事前学習	好きな熟語を見つける	
		成語を使って短文を作る			事後学習	会話に成語を活かす	
	⑩ 手紙を書く(1)	礼状の用語と形式を知る			事前学習	手紙を出す相手の住所を調べる	
		用件が伝わる表現を考える			事後学習	実習の礼状の下書きをする	
	⑪ 手紙を書く(2)	実習の礼状の下書きを添削しあう			事前学習	季節にあった時候の挨拶を考える	
		封書・返信はがきなどのマナーを知る			事後学習	機会を捉え学習したことを実践	
	⑫ 詩文を朗読する	子どもの詩を読む			事前学習	幼児の「つぶやき」に留意する	
		子どもの表現と心について考える			事後学習	幼児のことばから心にもふれる	
成績評価の方法	⑬ スピーチ(1)	第1時のスピーチより向上を図る			事前学習	自分の内面を見つめる	
		テーマ「自分を見つめて」原稿を書く			事後学習	原稿の校正をする	
	⑭ スピーチ(2)	スピーチ・感想を発表しあう			事前学習	スピーチの練習をする	
		成長を認め合い、励ましあう			事後学習	聞き手の心に響く表現を考える	
	⑮ 試験(筆記・作文) 講評				事前学習	総合演習	
				事後学習	資料整理		
学びあう時間を充実させ、幼児の育ちに関わる自信と誇りが持てるように、ことばで表現する力を磨こう。 ・よく聴き、よく考え、はっきり話す。 ・資料をしっかりと読む。 ・文字を丁寧に書く。 ・質問する。							
成績評価の方法	筆記試験 60% 受講態度 20% 作品(レポート・手紙) 20%			教科書	授業内容により適時プリント教材使用		
				参考資料	「言葉の知識百科」三省堂 「子どもの感性を育む」NHK		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位	
科目名		英会話 I				担当教員	米田 充 ザイナブ・ファルサド			
全体目標	英会話の題材の理解と、幼保英検の確実な合格のための語句・表現・会話の学習									
一般目標	英会話のスキットの語句と表現を覚える 幼児に対する独特な英語に親しむ									
到達目標	テキストの内容に沿い幼保英検に必要な英会話力を身に着ける									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	① Chapter1 Scene1					事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	② Chapter1 Scene2,3					事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	③ Chapter2 Scene1,2					事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	④ Chapter2 Scene3,4					事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑤ Chapter2 Scene5					事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑥ Chapter3 Scene1,2					事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑦ Chapter3 Scene3,4					事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑧ Chapter4 Scene1,2					事前学習	当該Sceneの発音練習			
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑨ Chapter4 Scene3,4					事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑩ Chapter5 Scene1,2					事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑪ Chapter5 Scene3,4					事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑫ Chapter5 Scene5,6					事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑬ Chapter5 Scene7,8					事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑭ 総合					事前学習	既習範囲の発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑮ まとめと試験					事前学習	試験対策				
					事後学習	総復習				
学習上の留意点	英会話授業の前に与えられた音源を使って何度も発音練習をしておくことを求めます。 関連語句、表現の練習を欠かさないように努めてください。									
成績評価の方法	最終試験 リスニングテスト 平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定					教科書	幼児教育・保育英語検定協会『幼保英検4級テキスト』ブックフォレ			
						参考資料				

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位	
科目名		英会話Ⅱ				担当教員	米田 充 ザイナブ・ファルサド			
全体目標	英会話の題材の理解と、幼保英検の確実な合格のための語句・表現・会話の学習									
一般目標	英会話のスキットの語句と表現を覚える 幼児に対する独特な英語に親しむ									
到達目標	テキストの内容に沿い幼保英検に必要な英会話力を身に着ける									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	Chapter6 Scene1				事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	②	Chapter6 Scene2				事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	③	Chapter6 Scene3				事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	④	Chapter7 Scene1				事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑤	Chapter7 Scene2				事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑥	Chapter7 Scene3,4				事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑦	Chapter8 Scene1,2				事前学習	当該Sceneの発音練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑧	Chapter8 Scene3,4				事前学習	当該Sceneの発音練習			
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑨	Chapter8 Scene5				事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑩	Chapter9 Scene1,2				事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑪	Chapter9 Scene3,4				事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑫	Chapter10 Scene1,2				事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑬	Chapter10 Scene3				事前学習	当該Sceneの発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑭	総合				事前学習	既習範囲の発音練習				
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
⑮	まとめと試験				事前学習	試験対策				
					事後学習	総復習				
学習上の留意点	英会話授業の前に与えられた音源を使って何度も発音練習をしておくことを求めます。 関連語句、表現の練習を欠かさないように努めてください。									
成績評価の方法	最終試験 リスニングテスト 平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定					教科書	幼児教育・保育英語検定協会『幼保英検4級テキスト』ブックフォレ			
						参考資料				

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位	
科目名		英会話Ⅲ				担当教員	米田 充 ザйнаブ・ファルサド			
全体目標	幼児教育現場で使う英語表現を身につける									
一般目標	テキストのスキットの表現を練習し、活用できるようにする テキストのスキットの拡張表現を覚える									
到達目標	決まり文句を覚えることから、自己表現を英語でできるようにする									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	Chapter1 Scene1				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	②	Chapter1 Scene2,3				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	③	Chapter1 Scene4,5,6				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	④	Chapter1 Scene7,8				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑤	Chapter2 Scene1,2,3				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑥	Chapter2 Scene4,5				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑦	Chapter2 Scene6,7				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	学習上の留意点	⑧	Chapter2 Scene8				事前学習	当該Sceneの表現練習		
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑨		Chapter3 Scene1,2				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑩		Chapter3 Scene3,4				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑪		Chapter3 Scene5,6				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑫		Chapter3 Scene7,8				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
成績評価の方法	⑬	Chapter4 Scene1,2				事前学習	当該Sceneの表現練習			
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
	⑭	Chapter5 Scene1,2,3				事前学習	当該Sceneの表現練習			
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習				
	⑮ まとめと試験				事前学習	試験対策				
					事後学習	授業の総復習				
成績評価の方法	試験は聞き取りテスト 平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定					教科書	幼保英検3級テキスト			
						参考資料				

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位	
科目名		英検対策Ⅰ				担当教員	米田 充			
全体目標	英会話の題材の理解と、幼保英検の確実な合格のための語句・表現・文法の学習									
一般目標	英会話のスキットの語句と表現を覚える 品詞による用途の違いを覚え、英検の対策に利用する 幼児に対する独特な英語に親しむ									
到達目標	語句・表現についてはQuizletを利用し、普段から暗記練習をできるようにする 基本的な文法問題集で語句の用法を理解する									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	Chapter1 Scene1 文法 lesson1				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	②	Chapter1 Scene2,3 文法 lesson2				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	③	Chapter2 Scene1,2 文法 lesson3				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	④	Chapter2 Scene3,4 文法 lesson4				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑤	Chapter2 Scene5 文法 lesson5				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑥	Chapter3 Scene1,2 文法 lesson6				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑦	Chapter3 Scene3,4 文法 lesson7				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑧	Chapter4 Scene1,2 文法 lesson8				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑨	Chapter4 Scene3,4 文法 lesson9				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑩	Chapter5 Scene1,2 文法 lesson10				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑪	Chapter5 Scene3,4 文法 lesson11				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑫	Chapter5 Scene5,6 文法 lesson12				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑬	Chapter5 Scene7,8 文法 lesson13				事前学習 事後学習	当該Sceneの発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑭	総合 文法 lesson14				事前学習 事後学習	既習範囲の発音練習 Quizletで単語・表現の練習			
	⑮	まとめと試験				事前学習 事後学習	試験対策 授業の総復習			
学習上の留意点	スキットの解説は英会話の事前準備として行います。英会話授業の前に与えられた音源を使って何度も発音練習をしておくことを求めます。また、英検の対策として出題傾向についても言及します。 文法では、英検の対策が主体です。Quizletを十分活用し、関連語句、表現の練習を欠かさないように努めてください。									
成績評価の方法	Chapter毎のミニテスト20点 試験は英検の模試形式20点 平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定					教科書	幼保英検4級テキスト スーパー英語 Vol.2			
						参考資料				

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		英検対策Ⅱ				担当教員	米田 充		
全体目標	英会話の題材の理解と、幼保英検の確実な合格のための語句・表現・文法の学習								
一般目標	英会話のスキットの語句と表現を覚える 品詞による用途の違いを覚え、英検の対策に利用する 幼児に対する独特な英語に親しむ								
到達目標	語句・表現についてはQuizletを利用し、普段から暗記練習をできるようにする 基本的な文法問題集で語句の用法を理解する								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	Chapter6 Scene1 総合1,2,3				事前学習	当該Sceneの発音練習		
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	②	Chapter6 Scene2 文法 lesson15				事前学習	当該Sceneの発音練習		
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	③	Chapter6 Scene3 文法 lesson16				事前学習	当該Sceneの発音練習		
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	④	Chapter7 Scene1 文法 lesson17				事前学習	当該Sceneの発音練習		
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑤	Chapter7 Scene2 文法 lesson18				事前学習	当該Sceneの発音練習		
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑥	Chapter7 Scene3,4 文法 lesson19				事前学習	当該Sceneの発音練習		
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑦	Chapter8 Scene1,2 文法 lesson20				事前学習	当該Sceneの発音練習		
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
	⑧	Chapter8 Scene3,4 文法 lesson21				事前学習	当該Sceneの発音練習		
						事後学習	Quizletで単語・表現の練習		
⑨	Chapter8 Scene5 文法 lesson29				事前学習	当該Sceneの発音練習			
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑩	Chapter9 Scene1,2 文法 lesson30				事前学習	当該Sceneの発音練習			
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑪	Chapter9 Scene3,4 文法 lesson31				事前学習	当該Sceneの発音練習			
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑫	Chapter10 Scene1,2 文法 lesson32				事前学習	当該Sceneの発音練習			
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑬	Chapter10 Scene3 文法 lesson33				事前学習	当該Sceneの発音練習			
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑭	幼保英検 総合4,5,7				事前学習	既習範囲の発音練習			
					事後学習	Quizletで単語・表現の練習			
⑮	まとめと試験				事前学習	試験対策			
					事後学習	授業の総復習			
学習上の留意点	スキットの解説は英会話の事前準備として行います。英会話授業の前に与えられた音源を使って何度も発音練習をしておくことを求めます。また、英検の対策として出題傾向についても言及します。 文法では、英検の対策が主体です。Quizletを十分活用し、関連語句、表現の練習を欠かさないように努めてください。								
成績評価の方法	Chapter毎のミニテスト20点 試験は英検の模試形式20点					教科書	幼保英検4級テキスト スーパー英語 Vol.2		
	平常点(授業態度、授業参加状況)で60点 上記テスト40点 で成績判定					参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		多文化共生 I				担当教員	小野 克志		
全体目標	国籍、地域、民族、宗教や性別などの違いだけでなく、異なる環境で生育する子どもの背景、価値観や考え方を理解し、それらを受け入れながら、豊かな保育、教育の実践を目指していく。								
一般目標	海外の保育、幼児教育、子育て支援の実際を学び、日本との共通点、違い、多様性を理解し、日本の子どもを取り巻く環境の目指すべき方向性について、自らの視点、考え方を活かし実践していくことを考える。								
到達目標	多様な価値が混在する社会で、保育者としての立場を意識しながら、自分と異なった背景、考え方、生活スタイルを持つ他者との共存、理解を進めていけるよう学ぶ。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① 多文化共生保育・教育とは					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
	② 外国につながる子どもの保育・教育・子育て支援					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
	③ フィンランドの保育・子育て支援					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
	④ ニュージーランドの保育・幼児教育①(テファリキ)					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
	⑤ ニュージーランドの保育・幼児教育②(学びの物語)					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
	⑥ 映像『The Beginning of Life』世界9カ国の家族と育児から学ぶ					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
	⑦ オランダの保育・幼児教育					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
	学習上の留意点	⑧ オーストラリアの保育・幼児教育①(EYLF)					事前学習	シラバス下読み	
						事後学習	小テストに向けての復習		
⑨ オーストラリアの保育・幼児教育②(NQF)						事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
⑩ イタリアの保育・幼児教育(レッジョ・アプローチ)						事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
⑪ オーストラリア、ニュージーランドの現地日本人保育者の現状						事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
⑫ 韓国の保育・幼児教育						事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	小テストに向けての復習			
成績評価の方法	⑬ 子どもの発達、レジリエンス(諸外国の事例から)					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	小テストに向けての復習		
	⑭ オーストラリアの保育現場から学ぶ英語表現					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	まとめのテストに向けての復習		
	⑮ まとめ、試験					事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	授業総復習			
学習上の留意点	日頃から新聞やニュースの報道に触れて、世界で起きていること、海外の文化などを知り、自らの興味や視野を広げておくこと。								
成績評価の方法	授業の参加状況や受講態度 50%				教科書	なし (必要に応じて、プリントを配布する)			
	小テスト 25%								
	まとめテスト 25%								
					参考資料	『テ・ファリキ』 NZ Early childhood curriculum 『世界の保育の質評価』 明石書店 『なぜ世界の幼児教育・保育を学ぶのか』 ミネルヴァ書房			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		多文化共生Ⅱ				担当教員	小野 克志		
全体目標	海外保育実習プログラムに参加する意義を考え、留学先のオーストラリアの社会や文化、歴史等について知識を深め、オーストラリアの保育・教育事情についても深く学び、その後の保育実践に生かす。								
一般目標	留学に対する意識を高め、自ら積極的に情報を収集し、グループワークなどを通して、他者と協働して物事を遂行する力を身に付ける。								
到達目標	留学生活を経験し、幅広い視野と知識、教養、専門性を得て、異文化適応力、忍耐力、そして自ら課題を見出し解決する力、論理的思考などを身に付けていくことを目指す。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オーストラリアについて知る①(政治、経済)				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業内配布資料の確認		
	②	オーストラリアについて知る②(歴史)				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業内配布資料の確認		
	③	オーストラリアについて知る③(文化、慣習)				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業内配布資料の確認		
	④	映像「エアーズロック、タスマニア、メルボルンの旅」から英語表現を学ぶ				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業内配布資料の確認		
	⑤	グループディスカッション①(語学留学)				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業内配布資料の確認		
	⑥	英語を学ぶ①(オーストラリアでの生活)				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業内配布資料の確認		
	⑦	英語を学ぶ②(オーストラリア保育実習)				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業内配布資料の確認		
	⑧	グループディスカッション②(保育内容)				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業内配布資料の確認		
⑨	映像「ゴールドコースト、バイロンベイ、シドニーの旅」から英語表現を学ぶ				事前学習	シラバス下読み			
					事後学習	授業内配布資料の確認			
⑩	海外で働く日本人保育者				事前学習	シラバス下読み			
					事後学習	授業内配布資料の確認			
⑪	映像「English Vinglish」語学学校での活動を学ぶ				事前学習	シラバス下読み			
					事後学習	授業内配布資料の確認			
⑫	グループディスカッション③(留学全般)				事前学習	シラバス下読み			
					事後学習	授業内配布資料の確認			
⑬	IELTS(英語検定試験)について				事前学習	シラバス下読み			
					事後学習	授業内配布資料の確認			
⑭	オーストラリアの今を知る(現地ニュースから)				事前学習	シラバス下読み			
					事後学習	まとめテストの準備			
⑮	まとめ、試験				事前学習	まとめテストの準備			
					事後学習	授業総復習			
学習上の留意点	日頃から新聞やニュースの報道に触れて、世界で起こっていること、海外の文化などを知り、自らの興味や視野を広げておくこと。								
成績評価の方法	授業の参加状況や受講態度 50%				教科書	なし (必要に応じて、プリントを配布する)			
	発表 25%				参考資料	『Understanding Early Childhood Education & Care in Australia』Joanne Ailwood 『海外で羽ばたく日本人保育士』Parade Books 『おとなの基礎英語』NHK出版			
	まとめテスト 25%								

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		多文化共生Ⅲ				担当教員	小野 克志		
全体目標	海外での保育実習を通して、国際的な視野を持った保育者としての素地を養う。異なる環境で生育する子どもの背景、価値観や考え方を理解し、それらを受け入れながら、豊かな保育、教育の実践を目指していく。								
一般目標	個別発表を中心とした授業を通して、海外(特に留学先のオーストラリア)への興味や視野を広げ、深まった知識を正確に他者伝えていく経験、練習を重ね、積極性を伴った実践力を身に付けていく。								
到達目標	実践的な英語を学びつつ、異なる文化や考え方を持つ人々と触れ合い、他者への理解を深めていく。基本的な英語でのコミュニケーション能力を身に付け、保育現場で積極的に現地の子どもや保育者、保護者と関わり、自らの保育を伝えていく。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション・発表担当の編成と内容の確認				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	振り返り		
	②	オーストラリア保育実習の概要説明				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	振り返り		
	③	オーストラリア事情 ① それぞれにテーマを調べて2名が発表				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	振り返り		
	④	オーストラリア事情 ② それぞれにテーマを調べて2名が発表				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	振り返り		
	⑤	オーストラリア事情 ③ それぞれにテーマを調べて2名が発表				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	振り返り		
	⑥	オーストラリア事情 ④ それぞれにテーマを調べて2名が発表				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	振り返り		
	⑦	映像『The Beginning of Life』世界9カ国の家族と育児 から学ぶ				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	振り返り		
	学習上の留意点	⑧	オーストラリア保育実習 ① 実習に向けての準備(概要説明)				事前学習	オーストラリア保育実習準備	
						事後学習	振り返り		
⑨		オーストラリア保育実習 ② 実習に向けての準備(渡航手続き)				事前学習	オーストラリア保育実習準備		
						事後学習	振り返り		
⑩		オーストラリア保育実習 ③ 実習に向けての準備(生活環境)				事前学習	オーストラリア保育実習準備		
						事後学習	振り返り		
⑪		オーストラリア保育実習 ④ 実習に向けての準備(安全管理)				事前学習	オーストラリア保育実習準備		
						事後学習	振り返り		
⑫		オーストラリア保育実習 ⑤ 実習に向けての準備(保育英語)				事前学習	オーストラリア保育実習準備		
					事後学習	振り返り			
成績評価の方法	⑬	オーストラリア保育実習 ⑥ 実習に向けての準備(実習内容)				事前学習	オーストラリア保育実習準備		
						事後学習	振り返り		
	⑭	オーストラリア保育実習 ⑦ 実習に向けての準備(実習発表)				事前学習	オーストラリア保育実習準備		
						事後学習	振り返り		
成績評価の方法	⑮	試験・まとめ				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業総復習		
成績評価の方法	日頃から新聞やニュースの報道に触れて、世界で起こっていること、海外の文化などを知り、自らの興味や視野を広げておくこと。								
	・試験(発表) 50% ・授業参加状況や受講態度 50%					教科書	なし (必要に応じて、プリントを配布する)		
成績評価の方法						参考資料	『Understanding Early Childhood Education & Care in Australia』Joanne Ailwood 『The Big Picture 』KAREN KEARNS 『Birth to Big School』 KAREN KEARNS		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		多文化共生Ⅳ			担当教員	小野 克志		
全体目標	オーストラリアにて語学研修、保育実習を行うことにより、基礎的な英語コミュニケーションを養いつつ、専門性を兼ね備えた魅力ある保育者として成長することを目指す。							
一般目標	海外での生活、保育実践を経験することにより、多様な価値観や考え方を尊重することの大切さを理解し、それらを受け入れながらより良い社会を目指し、他者と共存しながら豊かな保育、教育の実践を行なっていく。							
到達目標	オーストラリアの保育、幼児教育、子育て支援のあり方を学び、その共通点と多様性を理解し、それらの日本の目指すべき方向性について、自らの視点、考え方を構築し、日本の保育・教育現場に活かすことのできる力を養成する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① オリエンテーション				事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	グループ討議準備		
	② オーストラリア保育実習の総括 ① グループ討議(実習内容)				事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	グループ討議準備		
	③ オーストラリア保育実習の総括 ② グループ討議(保育園発表)				事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	グループ討議準備		
	④ オーストラリア保育実習の総括 ③ グループ討議(生活全般)				事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	グループ討議準備		
	⑤ オーストラリア保育実習の総括 ④ グループ討議(語学研修)				事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	グループ討議準備		
	⑥ オーストラリアの今を知る(現地のニュースから)				事前学習	現地情報収集		
					事後学習	実践準備		
	⑦ 海外で働く日本人保育者について考える				事前学習	現地情報収集		
					事後学習	実践準備		
	学習上の留意点	⑧ オーストラリア語学研修 ①(概要説明)				事前学習	オーストラリア語学研修準備	
					事後学習	実践準備		
⑨ オーストラリア語学研修 ②(渡航手続き)					事前学習	オーストラリア語学研修準備		
					事後学習	実践準備		
⑩ オーストラリア語学研修 ③(現地生活環境)					事前学習	オーストラリア語学研修準備		
					事後学習	実践準備		
⑪ オーストラリア語学研修 ④(安全管理)					事前学習	オーストラリア語学研修準備		
					事後学習	実践準備		
⑫ オーストラリア語学研修 ⑤(語学コース)					事前学習	オーストラリア語学研修準備		
				事後学習	実践準備			
成績評価の方法	⑬ オーストラリア語学研修 ⑥(英語表現)				事前学習	オーストラリア語学研修準備		
					事後学習	実践準備		
	⑭ オーストラリア語学研修 ⑦(IELTS 英語検定試験について)				事前学習	オーストラリア語学研修準備		
					事後学習	実践準備		
成績評価の方法	⑮ 試験・まとめ				事前学習	配布資料の再確認		
					事後学習	授業総復習		
成績評価の方法	試験(発表評価を含む)	50%	教科書	なし	(必要に応じて、プリントを配布する)			
	授業参加状況や受講態度	50%						
成績評価の方法			参考資料	『Understanding Early Childhood Education & Care in Australia』Joanne Ailwood 『躍進する未来国家豪州 沈滞する勤勉国家日本』いろは出版				

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部1年	学期	半期	授業形態	講義		単位数	1単位
科目名		保育英語			担当教員	前田 豊子		
全体目標	保育室にいる園児、教師の立場になり様々なactivityを体験しながら保育英語の習得を目指す。 基礎英語力を高め会話能力を伸ばす。 英語で行う保育に慣れ親しむ。							
一般目標	たくさんの英語の絵本に触れジャンルや年齢に適した読み聞かせ、展開をする。 保育の様々な場面で遭遇する英会話を学ぶ。 英語の歌、遊戯、指遊び、ゲームなどに親しむ。							
到達目標	保育を英語で実践する。 英語をコミュニケーションツールとして保育を楽しむ。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	ガイダンス、海外の幼児教育理論 Circle Time, 絵本の読み聞かせと展開			事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	復習、レポート		
	②	Circle Time, 絵本の読み聞かせと展開 (chanting, singing)			事前学習	Eric Carle		
					事後学習	復習、レポート		
	③	Circle Time, 絵本の読み聞かせと展開 (単語理解)			事前学習	Eric Carle		
					事後学習	復習、レポート		
	④	Circle Time, 絵本の読み聞かせと展開 (acting out)			事前学習	Michael Rosen		
					事後学習	復習、レポート		
	⑤	発表(歌と絵本の読み聞かせ)			事前学習	発表に向けての準備		
					事後学習	Relax, no homework		
	⑥	絵本の読み聞かせと展開(retelling) Main activity (Phonics)			事前学習	Dr.Seuss		
					事後学習	復習、レポート		
	⑦	絵本の読み聞かせと展開(finger play, acting) Main activity (Senorial)			事前学習	Play-dough recipe		
					事後学習	復習、レポート		
	学習上の留意点	⑧	絵本の読み聞かせと展開(singing, game) Main activity (Fine motor skill)			事前学習	Folk tales	
					事後学習	復習、レポート		
⑨		絵本の読み聞かせと展開(Seasonal books) Main activity(Drawing, painting)			事前学習	Seasonal books		
					事後学習	復習、レポート		
⑩		発表(絵本の読み聞かせ、finger play, body movement, game)			事前学習	発表に向けての準備		
					事後学習	No homework		
⑪		Circle Time, Mother Goose/Nursery Rhymes (英語圏においての重要性)			事前学習	Nursery rhymes		
成績評価の方法					事後学習	復習、レポート		
	⑫	Circle Time, 英語に訳されている日本の絵本 (日本語との比較)			事前学習	英訳されている日本の絵本		
					事後学習	復習、レポート		
	⑬	Circle Time, 日本語の絵本の英訳に挑戦			事前学習	日本語の絵本		
					事後学習	復習、レポート		
成績評価の方法	⑭	英語から日本語に訳されている絵本 英語の絵本との比較			事前学習	和訳されている英語の絵本		
					事後学習	復習、レポート		
	⑮	発表(総まとめ)			事前学習	発表に向けての準備		
					事後学習	Enjoy your learning!		
成績評価の方法	授業参加状況及び受講態度			60%	教科書	必要に応じて適宜配布		
	レポート			20%				
	実技発表(3回)			20%				
成績評価の方法				参考資料	Brown Bear Brown Bear What Do You See ? The Very Hungry Caterpillar, Big Pumpkin We're Going on a Bear Hunt, Nursery Rhymes (英語の絵本、別紙参照)			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部2年	学期	半期	授業形態	講義	単位数	1単位	
科目名		保育英語			担当教員	前田 豊子		
全体目標	保育室にいる園児、教師の立場になり様々なactivityを通じて保育英語の習得を目指す。 基礎英語力(Reading/Writing/Speaking/Listening)を高め会話能力を伸ばす。 英語で行う保育に慣れ親しむ。							
一般目標	たくさんの英語の絵本に触れジャンルや年齢に適した読み聞かせ、展開をする。 保育の様々な場面で遭遇する英会話を学び英語の歌、遊戯、指遊び、ゲームなどに親しむ。 海外の幼児教育理論、主にMontessori幼児教育を学ぶ。							
到達目標	保育を英語で実践する。 英語をコミュニケーションツールとして保育を楽しむ。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	⑩	ガイダンス、Reading/Writing (phonics) Circle Time, 絵本の読み聞かせと展開			事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	復習、レポート		
	⑪	Reading/Writing (phonics), Circle Time, 絵本の読み聞かせと展開(単語理解)			事前学習	Circle Time Activities		
					事後学習	復習、レポート		
	⑫	Circle Time, 絵本の読み聞かせと展開(単語理解)			事前学習	Circle Time Activities		
					事後学習	復習、レポート		
	⑬	Circle Time, 絵本の読み聞かせと展開 (acting out)			事前学習	Circle Time Activities		
					事後学習	復習、レポート		
	⑭	発表(Circle Time activities, 絵本の読み聞かせ)			事前学習	発表に向けての準備		
					事後学習	Relax, no homework		
	⑮	絵本の読み聞かせと展開(retelling) Main activity (Phonics)			事前学習	Phonics学習		
					事後学習	復習、レポート		
	⑯	絵本の読み聞かせと展開(finger play, acting) Main activity Montessori(sensorial, fine motor)			事前学習	Montessori学習		
					事後学習	復習、レポート		
	学習上の留意点	⑰	絵本の読み聞かせと展開(singing, game) Main activity Montessori(Language, Math)			事前学習	Montessori学習	
						事後学習	復習、レポート	
⑱		絵本の読み聞かせと展開(Seasonal books) Main activity(Drawing, painting)			事前学習	Books on four seasons		
					事後学習	復習、レポート		
⑲		発表(Circle Time activities, 絵本の読み聞かせ)			事前学習	発表に向けての準備		
					事後学習	No homework		
⑳		Nursery Rhymes Rhythm, rhymes, Chanting			事前学習	Nursery rhymes		
					事後学習	復習、レポート		
㉑		英語に訳されている日本の絵本 (日本語との比較)			事前学習	英訳されている日本の絵本		
					事後学習	復習、レポート		
成績評価の方法	㉒	日本語の絵本の英訳に挑戦			事前学習	日本語の絵本		
					事後学習	復習、レポート		
	㉓	英語から日本語に訳されている絵本 英語の絵本との比較			事前学習	和訳されている英語の絵本		
					事後学習	復習、レポート		
成績評価の方法	㉔	発表(総まとめ)			事前学習	発表に向けての準備		
					事後学習	Enjoy your learning!		
	授業では園児になったり教師になったりいろいろなシチュエーションを楽しみながら学んでください。 保育で使う英語の日常会話を習得し、英語の絵本をたくさん読みましょう。 楽しみながら保育英語を学びましょう。 レポートには課題と共に質問、疑問点なども適時記してください。							
成績評価の方法	授業参加状況及び受講態度 60% レポート 20% 実技発表(3回) 20%			教科書	必要に応じて適宜配布			
				参考資料	Mother Goose, Swimmy, The Snowy Day, Billy Goats Gruff, みんなうんち、かいじゅうたちのいるところ 等、英語と日本語の絵本(別紙参照)			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		多言語				担当教員	荒木 弘子		
全体目標	・保育現場において外国にルーツを持つ子どもたちが増加する中で生じた課題を知り、外国籍児や外国にルーツを持つ子どもが差別されることなく、健やかに園生活送ることができるようにするためにはどうすべきかを考える。 ・文化的背景の違いを理解し、外国にルーツを持つ子どもや保護者がどのような悩みを抱えているのかを考える。								
一般目標	・外国語の語彙や表現を学び、コミュニケーション力を身につける。 ・各国で展開される就学前の保育や教育について学び、日本との違いを理解する。 ・外国の生活文化や食文化について知り、日本との違いを理解する。								
到達目標	・講義で紹介される6言語を用い、簡単な会話や自己紹介ができるようになる。 ・外国にルーツを持つ子どもや保護者が抱える悩みに寄り添えるようになる。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション				事前学習	シラバスの概要を読む。		
						事後学習	授業で紹介する6ヶ国についての下調べをおこなう。		
	②	フィリピンの文化と言語				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。		
						事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
	③	フィリピンで展開される就学前教育・保育に				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。		
						事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
	④	韓国の文化と言語				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。		
						事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
	⑤	韓国で展開される就学前教育・保育に				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。		
						事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
	⑥	中国の文化と言語				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。		
						事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
	⑦	中国で展開される就学前教育・保育に				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。		
						事後学習	授業ノートを用い、復習をする。		
	⑧	ベトナムの文化と言語				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。		
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。			
⑨	ベトナムで展開される就学前教育・保育に				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。			
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。			
⑩	ペルーの文化と言語				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。			
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。			
⑪	ペルーで展開される就学前教育・保育に				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。			
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。			
⑫	ブラジルの文化と言語				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。			
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。			
⑬	ブラジルで展開される就学前教育・保育に				事前学習	授業ノートを用い、予習をする。			
					事後学習	授業ノートを用い、復習をする。			
⑭	発表				事前学習	グループで協力して発表の準備をおこなう。			
					事後学習	発表の反省をおこなう。			
⑮	試験・まとめ				事前学習	全講義内容を復習する。			
					事後学習	学修内容を整理し保育の場で活用できるよう見直す。			
学習上の留意点	・毎回の講義において配布するプリントを用い、予習・復習をおこなうこと。 ・事前にそれぞれの国についての下調べをおこなった上で、授業には興味を持って積極的に参加すること。								
成績評価の方法	・授業参加状況、受講態度 20% ・提出物(授業ノート) 30% ・発表(第14回授業) 20% ・レポート 30% 以上を総合的に評価する。				教科書	・必要に応じて適宜配布			
					参考資料	『多文化に出会うブックガイド』読書工房 2011年			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名	生物学			担当教員	鈴木 恒一		
全体目標	人間の発生から乳児期における発育・発達の理解を深める。						
一般目標	人間の生殖のメカニズムとともに、これに影響を及ぼす因子について理解を深める。						
到達目標	1. 動物の様々な生殖形式を説明することができる。 2. 母親のお腹の中で胎児を保護する方法について説明することができる。 3. 胎児期から乳児期に悪影響を及ぼす要因とその対策方法について説明することができる。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション Ⅰ 動物の生殖の形式			事前学習	動物の生殖の形式について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	②	Ⅱ 人間の子どもの特性とその意味 1. 人間の子どもの特性			事前学習	「カモノハシ」について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	③	2. 「子宮外胎児期」の意味 DVD 原始哺乳類「カモノハシ」			事前学習	BABIES p1～4を熟読する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	④	Ⅲ 人間の生殖 卵子と精子 1. 卵子と精子 2. 卵子と精子の発生			事前学習	卵子・精子の発生について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑤	3. 染色体について 4. 卵子と精子の形成の過程と染色体の変化			事前学習	BABIES p21～24を熟読する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑥	5. 卵巣での卵子の成熟 6. 精巣での精子の成熟			事前学習	BABIES p5・p7～10を熟読する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑦	Ⅳ 赤ちゃんはいつ頃生まれるの 1. 受精 新しい生命の始り			事前学習	BABIES p15～20を熟読する	
					事後学習	授業内容を振り返る	
学 習 上 の 留 意 点	⑧	DVD 生命創造 2. へその緒と胎盤			事前学習	BABIES p6・p11～14を熟読	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑨	3. 胎盤の主な働き 4. 出産予定日について			事前学習	胎盤と臍帯を調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑩	Ⅴ 子どもの先天奇形とその要因 1. 遺伝子及び染色体因子 ①常染色体異常			事前学習	常染色体異常について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑪	遺伝子及び染色体因子 ②性染色体異常			事前学習	性染色体異常について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑫	2. 環境因子 ①感染因子			事前学習	性染色体異常について調べる	
				事後学習	授業内容を振り返る		
成 績 評 価 の 方 法	⑬	環境因子 ②化学物質(アルコール・喫煙)			事前学習	有害な化学物質について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑭	環境因子 ③化学物質(薬剤)			事前学習	化学物質の影響について調べる	
					事後学習	授業内容を振り返る	
	⑮	試験及びまとめ			事前学習	これまでの授業内容を振り返る	
				事後学習	15回の講義内容をまとめる		
学習上の留意点	* 授業は、必ずBABIES及び筆記用具を持参すること。 * 理解しやすい授業に努めるが、分からないことはそのままにせず、積極的に質問すること。 * 必要に応じて資料を配布するため、資料がない者は取りに来ること。						
成績評価の方法	*試験 80% *レポート 20%			教科書	BABIES BABIES資料編		
				参考資料	「生物 ―ヒトを知る―」 黒田充恵・黒田晃生著 開成出版		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		自然科学概論				担当教員	才賀 美奈	自然体験活動インストラクターとして 実務経験あり	
全体目標	乳幼児期における自然とのかかわりが、豊かな感性を育み、好奇心、探究心、思考力、表現力等の『人間力』の土台を形成する大きな要素であることをふまえて、子どもたちが自然の中で主体的に自由に遊び込み、自然をよく知り、生活と自然がよくつながり、子どもたちも保育者も自然と共に育っていくことができることを目標とする。								
一般目標	・保育者自身が普段から自然の変化に意識を向け、楽しんだり不思議に思ったりする「感性を研ぎ澄ませておくこと」ができるようになる。 ・保育者として、人々の生活と様々な身近な自然(動植物、環境、現象、生命)とのつながりの重要性をとらえ、乳幼児期にある子どもたちが自然の中で遊び込める環境を作れるようになる。または自然と子どもの介在者となり、相互に良い働きかけができる。 ・乳幼児期のあらゆる発達段階において保育に自然を活用することの有効性をよく理解し、行動に移せる知識を身につける。								
到達目標	・乳幼児がふれることができる身近な自然物(動植物・自然現象)について、保育者自身が主体的に興味を持ち、乳幼児と共にその世界を楽しむことができるようになる。 ・身近な植物の名前や特性を知り、乳幼児の遊びに取り入れる方法を知る。 ・「乳幼児期の発達段階」に応じた継続的な野外体験(野外活動)を、安全に配慮して企画・実施できるようになる。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① 「自然に出会う」①五感を使って自然を体感する(身近な自然探し)	事前学習 「小さい頃に遊んだ自然」を思い出す				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	「自然体験と子どもに育つもの」を考える・[稲の栽培]種まき(初)								
	② 「自然に出会う」②五感を使って自然を体感する(場所による違い)	事前学習 自分の身の回りの自然を観察してくる				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	授業ガイダンス・春の草花を探し、観察を行う(公園内の植物を知り、遊ぶ)。								
	③ 「自然に出会う」③ ～植物・応用編～	事前学習 この季節にどんな植物があるか観察しておく				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	春の植物の色や形にフォーカスを当て作品作りを行う。								
	④ 「自然に出会う」④ ～小さな生きもの編～	事前学習 好き・苦手な生きものをリストアップしておく				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	春に出会う虫などの小さな生きものを探し、観察を行う。								
	⑤ 「自然素材を暮らしに活かす」① ～泥染め編～	事前学習 布染めの模様をリサーチしておく				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	泥を染色に活用できることを知る(ベンガラ泥染めを楽しむ)。								
	⑥ 「自然と共に子どもが育まれること」	事前学習 自分の「自然観」を考えてみる				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	乳幼児期の子どもの発達における自然の役割について考える。								
	⑦ 「乳幼児とアニミズム」	事前学習 「アニミズム」という言葉を調べてくる				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	子どもと自然とのかかわり合いと、そこに育まれるアニミズムについて考える。								
学習上の留意点	⑧ 「様々な自然の形態と全国で行われる自然保育」	事前学習 自分が行いたい保育をイメージしてくる				事後学習 ジャーナルを書く			
	自然を活用した保育の実践事例を知り、その特徴や効果について考える。								
	⑨ 「自然に出会う」⑤ (保育現場よる自然の違い)	事前学習 自分の身の回りの自然を観察してくる				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	季節・保育環境・保育のねらい等による「自然との付き合い」の違いを考える。								
	⑩ 「自然とリスクマネジメント」① ～保育における自然とリスク～	事前学習 これまでのヒヤリハットを思い出しておく				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	野外保育活動をするときに、注意したいリスクとハザードについて学ぶ。								
	⑪ 「自然とリスクマネジメント」② ～注意を要する生物と対処～	事前学習 危険がある生物について調べてくる				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	自然界で過ごす際に注意したいハチ・ヘビ・有毒昆虫など生物のことをよく知る。								
	⑫ 「自然とリスクマネジメント」③ ～注意を要する植物と対処～	事前学習 危険がある生物について調べてくる				事後学習 リスクマネジメントのまとめ・ジャーナルを書く			
	自然界で過ごす際に注意したい有毒な植物のことをよく知る。								
成績評価の方法	⑬ 「自然素材を暮らしに活かす」② ～草木染め編～	事前学習 染める布の下準備をする				事後学習 染めた布のアイロンがけをする			
	四季折々の植物が染色に活用できることを知る(草木染めを楽しむ)。								
	⑭ 「様々な季節の自然遊び」	事前学習 四季折々の自然遊びを整理する				事後学習 遊びの考察・ジャーナルを書く			
	自然遊びを企画しクラス内で実践、意見交換を行う。[稲の栽培]稲刈り								
	⑮ 試験、まとめ	事前学習 前期授業を自身のジャーナルからふりかえる				事後学習 保育でやってみたいことを具現化する			
ジャーナルのまとめ・稲の成長観察のまとめ									
・原則、毎回の授業では近くの自然探し(主に市政資料館の庭)に出かけます。 ・フィールドワークを重んじるため、必要に応じて授業内容を変更、または入れ替えを行うことがあります。 ・本授業は、「ワーク(遊び)・学び・ジャーナル(振り返りと分析)」の3つの柱によって構成します。 ・4月～9月にかけて育つ稲の生長を、補助し記録することを授業の一部とみなします。 ・自然を「感じること」を大切に、学生の皆さんの興味関心そして遊び心があふれることを期待します。									
成績評価の方法	①提出物(授業ごとのジャーナル)50%					教科書 参考資料	『センス・オブ・ワンダー』		
	自然科学を学びながら自らの中に生まれた感情をとらえ表現する						レイチェルカーソン著 上遠恵子訳 新潮社		
	②稲の栽培(栽培と生長日記レポート)30%						『子どもと自然』		
	コンテナを使った稲作を通して「植物の生長」を観察・記録・考察する						編著者 大豆生田啓友 著者 出原大 小西貴士 発刊Gakken		
	③定期試験(レポート)20%						コラム『毎日がセンス・オブ・ワンダー』(保育is)		
自己の気づき・学びを自ら評価表現する						野村直子執筆 http://www.hoiku-is.jp			
その他 授業参加状況や受講態度を考慮して評価									

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		就職実務			担当教員	藤井 由佳		
全体目標	次年度に控えた就職活動へ向けて、必要とされる知識を学ぶ。 また、社会人として求められる基本的なマナーを身につける。							
一般目標	敬語や立ち居振る舞い、マナーを習得する。 就職試験の面接対策として、自己分析を深めて自分自身をよく知る。							
到達目標	1.正しい言葉遣いに関しては、演習問題への取り組みなど机上の学習のみならず、 授業内での使用はもちろん、普段の生活から気をつけて習得を目指すこと。 2.テキストやワークシートの質問事項について文章化することにより、自分を再認識して、 自己PRや志望動機などを、より自分らしいものにする。							
授業の ながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	オリエンテーション(授業内の約束事)・社会人になるとは 基本動作(立つ姿勢・お辞儀の仕方)			事前学習	シラバス確認		
					事後学習	講義で学んだ基本動作の練習		
	②	敬語の基本(尊敬語・謙譲語・丁寧語) 基本動作(椅子の座り方)			事前学習	テキスト下読み		
					事後学習	課題の取り組み(敬語練習問題)		
	③	敬語(間違いやすい敬語、使い分けの混同、二重敬語) 敬語演習			事前学習	テキスト下読み		
					事後学習	課題の取り組み(敬語演習問題)		
	④	敬語表現のロールプレイング 発声練習			事前学習	テキスト下読み		
					事後学習	敬語の総復習		
	⑤	面接試験準備(自己分析) 基本動作(歩き方)			事前学習	テキスト下読み		
					事後学習	自己分析ワークシート1・2作成		
	⑥	敬語表現のロールプレイング 基本動作(名刺の受け渡し)			事前学習	テキスト下読み		
					事後学習	自己分析ワークシート3作成		
	⑦	効果的な話し方・聞き方 面接試験でのコミュニケーションの取り方			事前学習	テキスト下読み		
					事後学習	自己分析ワークシート4・5作成		
	⑧	電話話法の基本 アポイントメントの取り方			事前学習	テキスト下読み		
					事後学習	ロールプレイング発表練習		
	⑨	電話応対のロールプレイング (ペア演習発表)			事前学習	テキスト下読み		
				事後学習	ロールプレイング発表練習			
⑩	電話応対応用のロールプレイング (ペア演習発表)			事前学習	テキスト下読み			
				事後学習	電話応対の総復習			
⑪	面接の目的と形式 自己分析実施の留意点(志望動機・長所・短所)			事前学習	テキスト下読み			
				事後学習	自己分析ワークシート6作成			
⑫	訪問の準備 様々な場面での席次			事前学習	テキスト下読み			
				事後学習	自己分析ワークシート7作成			
⑬	ビジネス文書の基本 就職活動におけるソーシャルメディアの活用			事前学習	テキスト下読み			
				事後学習	お礼状作成			
⑭	面接室でのマナー・受け答えの仕方 質疑応答			事前学習	テキスト下読み			
				事後学習	試験対策			
⑮	試験・まとめ			事前学習	試験対策			
				事後学習	総復習			
学習上の留意点	・授業開始までに授業には関係ない物を片付け、必要な物を整えておくこと。 ・ロールプレイングは、積極的な態度で授業に臨むこと。 ・挨拶、ルール、時間管理、期限の徹底 ・授業を妨害する行為をした場合は退出の上、その講義を欠席扱いとする。							
成績評価の方法	授業参加状況・受講態度 30% 実技・ロールプレイング 20% 提出物 20% 試験 30% 以上を総合的に評価				教科書	「これだけは知っておきたい! 面接対策&ビジネスマナー」 「付属ワークブック」 (株)ウィネット		
					参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		日本国憲法				担当教員	松井 幸三郎		
全体目標	日本国憲法の成立過程を知ること。憲法の基本理念である、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を、実際の条文を参照して理解すること。								
一般目標	大日本帝国憲法を改正して成立した現行憲法が、前憲法とどのような違いを有しているのかを把握する。								
到達目標	特に9条、13条、14条、18条～29条を、その判例を通じて理解する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① ガイダンス、日本国憲法の誕生					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
						事後学習	講義内容の復習。		
	② 日本国憲法の理念(国民主権、基本的人権の尊重、平和主義)。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
						事後学習	講義内容の復習。		
	③ 公共の福祉について。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
						事後学習	講義内容の復習。		
	④ 違憲立法審査権について。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
						事後学習	講義内容の復習。		
	⑤ 実際の判例に見る違憲審査。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
						事後学習	講義内容の復習。		
	⑥ 天皇。女性天皇、女系天皇とは。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
						事後学習	講義内容の復習。		
	⑦ 9条。戦争の放棄。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
						事後学習	講義内容の復習。		
	⑧ 自衛隊は9条違反か。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。		
						事後学習	講義内容の復習。		
⑨ 個別的自衛権と集団的自衛権。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。			
					事後学習	講義内容の復習。			
⑩ 13条、14条。幸福追求権と法の下での平等。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。			
					事後学習	講義内容の復習。			
⑪ 宗教と憲法。20条、89条。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。			
					事後学習	講義内容の復習。			
⑫ 自由権について。18～23条。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。			
					事後学習	講義内容の復習。			
⑬ 両性の平等。14条、24条。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。			
					事後学習	講義内容の復習。			
⑭ 社会権について。25～29条。					事前学習	テキストの該当ページを読んでおく。			
					事後学習	講義内容の復習。			
⑮ 試験、まとめ。					事前学習	期末考査範囲の勉強をする。			
					事後学習	講義全体を通しての復習。			
学習上の留意点	われわれの生活や将来に関わってくる事柄については、身近な例を挙げて理解を深める。								
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度 50% 筆記試験 50%					教科書	「図解による憲法のしくみ第2版」 (自由国民社) 神田 将著		
						参考資料	適宜プリントを配布する。		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名	情報機器演習				担当教員	堀田 とも子 宅和 慶子	パソコン教室講師として 実務経験有	
全体目標	情報化社会における一般的な常識としての情報機器(パソコン)の基本操作をマスターし、効率化、簡素化を目的とした文書作成(Word)と表作成および表計算(Excel)、ニーズを把握した効果的なプレゼンテーション資料作成(PowerPoint)の基本操作法を習得する。 また情報収集の手段としてのインターネットを安全かつ、効率よく利用できる技術とマナーを学ぶことを目標とする。							
一般目標	将来保育者として社会に出た時に、社内外の報告書やプレゼン資料等がスムーズに作成できる技術の習得。 インターネットを利用することで便利にかつ安全に情報収集できることを目的とする。							
到達目標	1.パソコンの基本操作(マウスの使い方・文字入力・データーの保存や開き方等)を習得。 2.Word・・・一般的な初級程度の技術を習得し、簡単な文書(園だより等)が作成できる。 3.Excel・・・一般的な初級程度の技術を習得し、簡単な表(会計報告等)が作成できる。 4.PowerPoint・・・一般的な初級程度の技術を習得し、簡単なプレゼン資料が作成できる。 5.インターネットの基本操作							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	コンピューターの基本操作・・・OSとは？APとは？からWINDOWSの基本操作の演習				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	②	コンピューターの基本操作・・・データーの保存方法とマウスの操作、および日本語入力				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	③	コンピューターの基本操作・・・ファイルとフォルダの概念と、拡張子や容量の理解				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	④	インターネット・・・ブラウザ(IE)の操作方法と安全な情報収集方法を演習及びWeb会議ツールの操作方法を学ぶ				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑤	Word2010演習・・・新規文書の作成と管理(文字入力・文書の保存・編集・印刷)				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑥	Word2010演習・・・一般的なビジネス文書(保護者向け)の作成				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑦	Word2010演習・・・シンプルなレポートや報告書の作成				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑧	Word2010演習・・・表・画像・図形を使った文書の作成(園だよりを作ってみよう)				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑨	Excel2010演習・・・表作成の基本操作(新規ブックの作成・数式、関数)				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑩	Excel2010演習・・・表の編集(列幅の調整・セルの結合)				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑪	Excel2010演習・・・数式・関数を活用した集計表の作成(遠足会計報告書を作ってみよう)及びグラフ作成(円・棒グラフ)				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑫	PowerPoint2010演習・・・プレゼンテーションの企画・新規プレゼンテーションの作成(お遊戯会の企画)				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑬	PowerPoint2010演習・・・スライドのデザインの編集とイラストや写真の活用。スライドショーの基本操作				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑭	全体のまとめ・質疑応答、及び試験対策				事前学習 事後学習	教科書読み 理解不足箇所を復習	
	⑮	筆記試験の実施と、総まとめ、および講評				事前学習 事後学習	教科書読み 講評の内容の理解	
学習上の留意点	1.「情報利活用基本演習」の教科書の購入必須 2.授業時のデーター保存用としてUSBメモリ(個々に用意)必須 3.授業時は教科書、筆記用具、ノート、USBメモリを持ってくる							
成績評価の方法	1.課題25% 2.実技試験25% 3.筆記試験50% ※平常点(受講態度、授業参加状況)を勘案する。				教科書	情報利活用基本演習		
					参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名		一般英語				担当教員	米田 充		
全体目標	映画「ハリーポッター」を題材に、基本的な表現、イギリス英語とアメリカ英語の違いを知る。原書を読むための基本的な和訳法を身につける。								
一般目標	各セクションの重要表現を聞き取り、復唱、書き取りをすることで表現に慣れ親しむ。英文の構造を段階を追って学び、和訳法へ適用させる。								
到達目標	テキストのヒントを参考に、ピックアップされた表現を繰り返し聞いてなんとか真似をして復唱する。英文の構造を解析する練習を繰り返し、和訳の準備を整えてから、和訳を実践していく。原書を辞書を引きながら読み進められる自信をつける。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	併行する学習の方法と目標の説明。 Section1のリスニング hope/thinkの違いなど				事前学習	シラバスを読んでおく		
						事後学習	重要表現の復唱練習		
	②	動詞の発見とその周辺の語句				事前学習	テキストの要点の先読み		
						事後学習	練習問題で実践練習		
	③	Section2のリスニング get up/wake upの違い、命令文、数の尋ね方など				事前学習	word listのチェック		
						事後学習	重要表現の復唱練習		
	④	主語の発見、主語の前の余分な語句について				事前学習	テキストの要点の先読み		
						事後学習	練習問題で実践練習		
	⑤	Section3のリスニング Why/Becauseの呼応, too/eitherの使い方				事前学習	word listのチェック		
						事後学習	重要表現の復唱練習		
	⑥	語句のまとめ 修飾語＋名詞、前置詞＋名詞				事前学習	テキストの要点の先読み		
						事後学習	練習問題で実践練習		
	⑦	Section4,5のリスニング Excuse me, but、疑問詞＋不定詞の用法				事前学習	word listのチェック		
						事後学習	重要表現の復唱練習		
	⑧	和訳の順序 基礎和訳と調整和訳の仕方				事前学習	テキストの要点の先読み		
					事後学習	練習問題で実践練習			
⑨	Section6,7のリスニング 大きな数字の読み方、What's ＋場所、Here we are				事前学習	word listのチェック			
					事後学習	重要表現の復唱練習			
⑩	2つ以上の文、つながりの理解 等位接続詞と従位接続詞				事前学習	テキストの要点の先読み			
					事後学習	練習問題で実践練習			
⑪	Section8,9のリスニング 発音練習、Can you/Could youの違いなど				事前学習	word listのチェック			
					事後学習	重要表現の復唱練習			
⑫	つながりの理解2 間接疑問文と関係代名詞				事前学習	テキストの要点の先読み			
					事後学習	練習問題で実践練習			
⑬	Section10のリスニング Do you mind..に対する答え方				事前学習	word listのチェック			
					事後学習	重要表現の復唱練習			
⑭	和訳の実践もしくは園での場面英会話 原書からの英文にもチャレンジ				事前学習	要点の復習			
					事後学習	練習問題で実践練習			
⑮	試験、まとめ				事前学習	教材の見直し			
					事後学習	まとめの理解			
学習上の留意点	リスニングの授業は概ね英語で行いますが、細かなことにとらわれることなく、感覚で理解に努めるように。書き取りの際、スペルチェックできるように、辞書を用意しておくといでしょう。和訳法の授業は日本語で行います。テキストへの書き込みは必ずしてください。その都度提出を求めます。								
成績評価の方法	平常授業での提出プリントの完成度 60% プリント提出できない場合は-5点 プリント書き込みが不十分な場合は-3点 期末定期試験 40% プリントと試験の合計点で最終評価する					教科書	オリジナル教材		
						参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	1単位
科目名	体育講義				担当教員	山内 隆治	幼児体操教室講師として実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。							
一般目標	幼児体育における知識を学び、後期の実技へと繋げる。							
到達目標	幼児体育種目に現場で対応できる知識を習得する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	オリエンテーション (今後の授業の進め方)				事前学習	シラバス下読み	
						事後学習	授業内容の把握	
	②	スポーツ競技人口、ニュースポーツ (日本と世界との違い)				事前学習	ニュースポーツの確認	
						事後学習	競技人口順位把握	
	③	幼児体育と学校体育カリキュラム (幼児体育カリキュラム内容)				事前学習	幼児体育種目の確認	
						事後学習	カリキュラム内容の把握	
	④	運動あそび (運動あそびの種類)				事前学習	運動あそびの種類確認	
						事後学習	運動あそびの内容把握	
	⑤	運動発達と運動あそび (あそびとしての運動の重要性)				事前学習	運動の重要性を確認	
						事後学習	運動発達の環境について把握	
	⑥	運動発達と運動あそび (運動発達の時代変化)				事前学習	運動発達の時代変化を確認	
						事後学習	運動発達の時代変化を把握	
	⑦	運動発達、体力の分類、成就率 (運動発達の段階と年齢区分)				事前学習	運動発達のしくみ確認	
						事後学習	体力の分類の構図を把握	
	⑧	器械体操段階指導 (マット後転、跳び箱開脚跳び、鉄棒逆上がり)				事前学習	器械体操の段階指導法確認	
						事後学習	器械体操の段階指導法把握	
⑨	リーグ戦、トーナメント戦の表の作成 (表の作成方法)				事前学習	リーグ戦、トーナメント戦の違い確認		
					事後学習	表の作成方法の把握		
⑩	器械体操補助法 (マット、跳び箱、鉄棒)				事前学習	器械体操の補助法確認		
					事後学習	器械体操の補助法把握		
⑪	ボール運動 (0～3歳までのボール運動)				事前学習	ボールの運動形態確認		
					事後学習	3歳までのボール運動把握		
⑫	ボール運動、縄運動 (3歳からのボール運動)				事前学習	ボールと縄の運動形態確認		
					事後学習	ボールと縄の段階指導把握		
⑬	運動神経、コーディネーショントレーニング (コーディネーショントレーニングとは)				事前学習	運動の基本を確認		
					事後学習	コーディネーショントレーニングとは		
⑭	運動会種目 (組体操、バルーンの種目)				事前学習	運動会種目の確認		
					事後学習	組体操、バルーンの動き把握		
⑮	定期試験まとめ				事前学習	試験範囲の確認		
					事後学習	評価内容の把握		
学習上の留意点	・プリント教材が中心となるが、自分で講義ノートをつくること。 ・幼児体育という未知の内容に興味をもって臨みましょう。							
成績評価の方法	・定期試験 80% ・平常点(授業態度、授業参加状況) 20%				教科書	なし		
					参考資料	・幼児期における運動発達と運動遊びの指導 ・0歳からのボール遊び運動 ・幼児体育指導経験による幼児体育種目		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	実技		単位数	1単位
科目名	体育実技				担当教員	山内 隆治	幼児体操教室講師として実務経験有	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。							
一般目標	幼児体育における知識、及び器械体操の補助法を学ぶ。							
到達目標	補助法等、現場で対応できる知識を習得する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	バルーン、運動あそび (じゃんけんゲーム)				事前学習	バルーンの動き確認	
						事後学習	じゃんけんゲームの種目習得	
	②	器械体操補助法 (鉄棒)				事前学習	鉄棒の補助法確認	
						事後学習	鉄棒の補助法把握	
	③	マット運動 (開脚前転、後転)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
						事後学習	開脚前転、後転の習得	
	④	器械体操補助法 (マット)				事前学習	マットの補助法再確認	
						事後学習	マットの補助法習得	
	⑤	マット運動 (実技テスト)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
						事後学習	開脚前転、後転の習得	
	⑥	ドッジボール (ノーマルドッジ、王様ドッジ)				事前学習	ドッジボールのルール確認	
						事後学習	ドッジボールの動き取得	
	⑦	ドッジビー (スローイング・ゲーム)				事前学習	ドッジビーのルール確認	
						事後学習	スローイングの習得	
学習上の留意点	⑧	縄跳び (大縄)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
						事後学習	縄に入るタイミングの習得	
	⑨	ポートボール (パス、ゲーム)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
						事後学習	ポートボールルール把握	
	⑩	ポートボール (ドリブル、ゲーム)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
						事後学習	ゲーム内容の確認	
	⑪	バレーボール (オーバー・アンダーパス、ゲーム)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
						事後学習	オーバー・アンダーパス習得	
	⑫	バレーボール (サーブ、ゲーム)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
						事後学習	サーブの打ち方習得	
成績評価の方法	⑬	バレーボール (サーブレシーブ、ゲーム)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
						事後学習	サーブレシーブ習得	
	⑭	講義 (ストレッチ体操図解)				事前学習	ストレッチ体操留意点の確認	
						事後学習	ストレッチ体操種目習得	
	⑮	定期試験まとめ				事前学習	試験範囲の確認	
					事後学習	評価内容の把握		
成績評価の方法	・実技 (50%) ・定期試験 (50%) ・平常点 (授業態度、授業参加状況)				教科書	なし		
					参考資料	・幼児体育指導経験に元づく実技内容		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	集中	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		野外活動			担当教員	森本 浩司		幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	幼児が自然と遊ぶことで育つ感性を、自らの体験を通して学ぶ。また、保育者としてそれぞれの体験を効果的に幼児に支援する具体的方法を学ぶ。 自己のコミュニケーション方法を仲間との共同生活、自然を通じた活動から考え直す。								
一般目標	ありのままの自然(水、光、暑さ、涼しさ等)を体験する楽しさや苦しさ、達成感を味わう。 食事、朗読、クラフトなど自然を利用することで得られる感謝の念や工夫の楽しさを知る。 活動を通じ協力することの具体的な意味を理解する。								
到達目標	自然活動を通して自己の体力や気持ちをコントロールする必要性を学ぶ。 集団生活を通して一人では生きていけないことを自覚する。 幼児の具体的活動方法と援助技術を学ぶ。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	映像や教科書、しおりを通して活動環境、意義、方法を学び準備する。				事前学習	事前配布プリント		
						事後学習	オリエンテーション内容の理解		
	②	集団遊びを通じコミュニケーションの楽しさと大切さを知る。				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	③	テント設営を通し自然の中で寝泊まりする準備と実際の生活を比較し、予測との差異、自己の心の変化を知る。				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	④	野外ゲームを通じ活動環境と幼児の遊び方、危険、導き方を学ぶ。(幼児指導法)				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	⑤	飯盒炊飯を通じ火の扱い、大切さを知る。協力することで得られる食の楽しさややりがいを感じる。				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	⑥	グループで懐中電灯と目印(集魚ライト)を頼りに暗闇を歩くことで夜の自然、協力和仲間の大切さを知る。パネルシアター、朗読などを通じ、夜間のプログラムについて学ぶ。(幼児指導法)				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	⑦	朝の体操で楽しく動くことで得られる爽快感と心と身体を目覚めさせる方法を学ぶ。(幼児指導法)				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
学習上の留意点	⑧	山中をカードやコマ図を利用し楽しみながら歩くことを通し、自然、達成感、協力を学ぶ。(幼児指導法)				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	⑨	自らの手で行燈を作成し、模様や色使いが蠟燭の炎でどのように映るかを知ったり、集団でかざす美しさやわずかな明るさが心に何をもちたらしかを体験する。(火の神秘性、畏敬の念)				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	⑩	キャンプファイヤーを通じ明りの大切さ、仲間、有限な自然を利用することでを生きさせ人間を学ぶ。(幼児指導法、畏敬の念)				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	⑪	自然物を使った制作(クラフト)を通じ工夫することの楽しさ、創意工夫のすばらしさを知る。(幼児指導法)				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	⑫	最終日のカレー炊飯で初日、2日目の学びを生かして活動することを意識して行う。				事前学習	事前配布プリントとオリエンテーション		
						事後学習	実践内容の理解		
	⑬	振り返りレポート作成				事前学習	実践の振り返り		
						事後学習	自己評価		
	⑭								
	⑮								
	成績評価の方法	・事前に教科書の指定されたページ、配布されたプリントを熟読しておく。オリエンテーションに必ず参加する。 ・慣れない生活に備え自己の健康管理に留意する。 ・自然を理解するように努め、積極的に活動に参加する。 ・集団生活の規律を厳守する。				教科書	園外保育・山のくらし		
・授業参加状況や受講態度。(70%) ・活動(事前事後)への取り組み姿勢。(5%) ・事後レポート作成内容。(25%)				参考資料	事前配布プリント				

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		こどもと健康				担当教員	鈴木 恒一		
全体目標	領域「健康」の指導に関する幼児期の身体の発育、及びそれに伴う運動機能の発達などの専門的事項についての知識を身に付ける。								
一般目標	・幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。 ・幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。								
到達目標	・健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。 ・乳幼児期の体の発達の特徴を説明できる ・乳幼児期において多様な動きを獲得することの意義を理解している。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション 1. 健康とは？ (1)健康の定義 (2)健康の捉え方				事前学習	教科書P1～8を熟読し、“健康”とは何か考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	②	2. 乳幼児の身体発育 (1)発育・発達とは？ (2)スキャモンの発育曲線 (3)生理的早産説				事前学習	教科書P39～44を熟読し、「発育」「発達」とは何か考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	③	3. 乳幼児の身体計測及び発育状態 (1)身体計測 (2)乳幼児の発育栄養状態をみる方法				事前学習	教科書P39～44を熟読し、身体計測の方法を調べる		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	④	4. 乳幼児の器官の発育 (1)骨格系の発育 (2)骨の働き (3)頭蓋、脊柱、歯について				事前学習	人間の骨格の種類について調べる		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤	5. 乳幼児の筋肉の発育 (1)筋肉の発育 (2)筋肉の種類				事前学習	虫歯のプロセスについて調べる		
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑥	(3)筋肉の働き (4)ミルキングアクション作用				事前学習	筋肉の働きについて調べる			
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑦	6. 乳幼児の運動機能の発達 (1)運動の発生 (2)運動のメカニズム				事前学習	教科書P45～51を熟読し、運動のメカニズムを調べる			
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑧	試験、まとめ				事前学習	これまでの学びをまとめる			
					事後学習	学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	*授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 *わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 *必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。								
成績評価の方法	・定期試験 100%				教科書	シードブック 保育内容 健康 第3版 (建帛社)			
					参考資料	「幼稚園教育要領」 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	こどもと人間関係				担当教員	北川 順子	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	子どもが身近な人に関わる意義、そして重要性について理解する。							
一般目標	子どもの心身の発達と身近な人的環境との関係性について理解を深める。							
到達目標	・子どもが身近な人に関わる重要性について説明することができる。 ・子どもを取り巻く環境の変化とその課題について、人間関係の視点から自らの考えを発言や文章によって示すことができる。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	オリエンテーション 子どもを取り巻く人間関係				事前学習	現代の幼児教育の課題について調査しておく。	
						事後学習	授業内容の振り返り	
	②	領域「人間関係」とは「ねらい」及び「内容」				事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
						事後学習	授業内容の振り返り	
	③	乳児期の人間関係				事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
						事後学習	授業内容の振り返り	
	④	1歳以上3歳未満児の人間関係				事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
						事後学習	授業内容の振り返り	
	⑤	3歳以上児の人間関係				事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容の振り返り		
⑥	子どもの人間関係と社会性・道徳性 家庭や地域の連携				事前学習	教科書の該当箇所を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返り		
⑦	保育者が紡ぐ『人間関係』				事前学習	教科書の該当箇所を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返り		
⑧	試験及びまとめ				事前学習	授業内容全体の理解を深めておく。		
					事後学習	授業内容全体を振り返り、自分自身の考えをまとめる。		
学習上の留意点	・授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 ・わからないことはそのままにせず積極的に質問する。 ・必要に応じて資料を配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。							
成績評価の方法	・試験 50% ・平常点 50% (提出物、受講態度)				教科書	・ワークで学ぶ保育内容(株)みらい		
					参考資料	・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び解説書 ・必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		こどもと環境				担当教員	鈴木 恒一		
全体目標	幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。								
一般目標	・幼児を取り巻く環境と、幼児の発達についての意義を理解する。 ・幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する。								
到達目標	・幼児を取り巻く環境の諸側面(物的環境、人的環境、社会的環境、自然環境等)と、幼児の発達におけるそれらの重要性について説明できる。 ・乳幼児の認知的発達の特徴と道筋を説明できる。 ・乳幼児の物理的、数量・図形との関わりの事象に対する興味・関心、理解の発達を説明できる。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション 1. 環境とは？ (1)環境とは (2)幼児にとって「身近な環境」とは				事前学習	教科書P1～3を熟読し、“環境”とは何か考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	②	2. 領域「環境」において育むもの (1)保育とは (2)「幼稚園教育要領」等における保育の目標 (3)領域「環境」の「ねらい」と「内容」				事前学習	教科書P3～13を熟読し、保育とは何か考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	③	(4)育みたい資質・能力 (5)保育の特性とは (6)乳児保育と5領域との関係				事前学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等を熟読する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	④	3. 乳幼児の心の発達 (1)感受性とは (2)感受性の発達				事前学習	感受性とは何か考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤	(3)思考の発達 (4)ひとり遊びの意味				事前学習	子どもの思考について考える		
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑥	(5)言葉とは (6)言葉と思考の関係 (7)繰り返しの意味				事前学習	様々な環境に関わることの意味について考える			
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑦	(8)イメージとは (9)模倣とイメージ (10)ごっことイメージ				事前学習	イメージとは何かを考える			
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑧	試験、まとめ				事前学習	これまでの学びをまとめる			
					事後学習	学びの応用のついて考える			
学習上の留意点	*授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 *わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 *必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。								
成績評価の方法	・定期試験 80% ・提出物 20%				教科書	シードブック 保育内容 環境 第3版 (建帛社)			
					参考資料	「幼稚園教育要領」 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		こどもと言葉				担当教員	鈴木照美,和田直子	幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身に付ける。								
一般目標	・人間にとって言葉の意義や機能を理解する。・乳幼児の言葉の発達の過程について理解する。 ・言葉に対する感覚を豊かにする保育実践について理解する。								
到達目標	・領域「言葉」のねらい及び内容について、発達の過程を踏まえたうえで説明することができる。 ・豊かな言葉を育む言葉遊び・児童文化財等の意義や必要性が説明できる。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	言葉とは何か				事前学習	シラバスを読む。		
						事後学習	配付資料読み返す。		
	②	「領域 言葉」のねらい及び内容				事前学習	領域「言葉」のねらい及び内容を読む。		
						事後学習	配付資料を読み返す。		
	③	言葉の発達①乳児期から3歳児の前期ごろまで				事前学習	教育・保育要領の乳児期及び満1歳以上満3歳未満児の基本的事項を読む。		
						事後学習	配付資料を読み返す。		
	④	言葉の発達②3歳児後半から修学前まで				事前学習	要領、教育・保育要領の満3歳以上の園児の基本的事項を読む。		
						事後学習	配付資料を読み返す。		
	⑤	保育の中の言葉(話すことと聞くこと、集団の中で使う言葉)				事前学習	美しい言葉(話し言葉、書き言葉)を見付ける。		
					事後学習	配付資料を読み返す。			
学習上の留意点	⑥	言葉に対する感覚を豊かにする実践(言葉遊びなど)				事前学習	言葉遊びを見付ける。		
						事後学習	配付資料を読み返す。		
	⑦	豊かな言葉を育む児童文化財(絵本・物語・紙芝居など)				事前学習	絵本及び紙芝居を探す。		
					事後学習	授業で取り上げた絵本・児童書及び紙芝居を読む。			
成績評価の方法	⑧	まとめ、課題、試験				事前学習	総復習		
						事後学習	試験内容について振り返り		
成績評価の方法	・定期試験 70% ・課題等提出物 30%					教科書	「幼稚園教育要領解説」(文部科学省)「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(内閣府)		
						参考資料	「幼稚園教育要領」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		こどもと表現				担当教員	堀田 彩乃 浦田 一・永井 弘人	幼稚園教諭、保育教諭、特別支援学校教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。								
一般目標	幼児の表現の姿や、その発達を支援する。 身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。								
到達目標	幼児の遊びや生活における領域「表現」について理解する。 様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにし、幼児の表現活動に活用する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	幼児期の表現の特性やそれを受け止めることの重要性について (担当:堀田)				事前学習	シラバス確認、領域「表現」について要領を読む		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	②	遊びや生活の中の表現(担当:堀田) ・他者や環境との関わりについて				事前学習	領域「表現」について要領を読む		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	③	遊びと創造性(担当:田島、浦田) ・遊びから生まれる表現とは				事前学習	幼児期に好んでいた「遊び」を整理する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	④	表現「造形」における教材例① (担当:永井) ・幼児の創造性と描画能力の発達について				事前学習	必要な道具を準備しておく		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤	表現「造形」における教材例② (担当:永井) ・造形表現を育む環境と援助について				事前学習	必要な道具を準備しておく		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑥	表現遊び、模倣遊び、なりきりの表現(担当:堀田) ・イメージを表現したり演じたりして遊ぶ楽しさ				事前学習	自分が経験したごっこ遊びについて整理する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑦	絵本と表現(担当:堀田) ・発達、経験に合った絵本絵本、イメージの共有について				事前学習	好きな絵本を選び準備しておく		
						事後学習	授業内容を振り返る		
学習上の留意点	⑧	お話ごっこ、手遊び、動きの表現(担当:堀田) ・主体的に思わず動き出す表現とは				事前学習	自分が経験した手遊びについて整理する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑨	歌唱表現(担当:堀田) ・季節、行事、生活、自然などと歌唱表現のつながりについて				事前学習	幼児と一緒に歌いたい歌を考えておく		
						事後学習	授業内容を振り返る		
成績評価の方法	⑩	生活の音探し(担当:堀田) ・言葉と調子、動きと音、リズムについて				事前学習	生活の中で聴こえる音を意識して聴いておく		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑪	楽器と音の表現(担当:堀田) ・簡易的な楽器を使った身近な音の表現				事前学習	必要な楽器を準備しておく		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑫	音楽遊び、廃材を使った簡易楽器作り(担当:堀田) ・廃材を使い楽器を製作し、音を自由に表現する				事前学習	必要な道具を準備しておく		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑬	幼児の表現活動を考える①(担当:堀田) ・発達や経験に合った活動、環境、援助とは				事前学習	幼児と一緒にやりたい表現活動を考える		
					事後学習	これまでの授業の内容をまとめる			
	⑭	幼児の表現活動を考える②(担当:堀田) ・主体的な表現を支える援助について、まとめ				事前学習	これまでの授業の内容をまとめる		
						事後学習	これまでに学んだことや課題を確認する		
	⑮	試験、まとめ (担当:堀田)				事前学習	これまでに学んだことや課題をまとめる		
						事後学習	領域「表現」について理解し、幼児の表現活動に活用する		
・筆記用具を準備して授業に臨むこと ・授業内容に応じて事前に連絡する準備物を用意すること ・課題や授業内では積極的に自分の意見を述べ、表現豊かに取り組むこと ・領域「表現」について幼児との表現活動をイメージしながら参加すること									
成績評価の方法	授業参加状況・課題取り組み	15%				教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)／幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)／保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)／幼児のうたとあそび(株式会社みらい)／『新しい保育講座⑩ 保育内容「表現」』小林紀子・砂上史子・刑部育子編著		
	グループ討議	15%					参考資料	幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 保育所保育指針解説	
	課題	20%							
	試験	50%							

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名		保育指導法総論			担当教員	加藤 由美	保育士として 実務経験有	
全体目標	幼稚園教育及び保育所保育等は、園生活全体を通して総合的に指導するという考え方を理解し、乳幼児教育・保育の環境を構成し実践するために必要な知識を身につける。特に、具体的な乳幼児の姿と関連づけながら遊びの中でどのような経験をしているのかについて学び、5領域のねらい及び内容とのつながりを確認し、遊びを通して育つことを理解する。							
一般目標	・乳幼児教育・保育の基本を踏まえた幼稚園・保育所・認定こども園における指導の考え方を理解する。 ・指導計画の考え方を理解し、乳幼児の発達の過程を見通した指導計画を作成する。 ・乳幼児の興味や関心、発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解する。							
到達目標	・幼児期の教育における見方・考え方や遊びを通しての総合的な指導の意義と保育者の役割を理解し説明できる。 ・具体的な乳幼児の姿を関連づけながら環境を構成し、実践するために必要な知識や技能を身につける。 ・模擬保育を通して、ねらい及び内容に沿って総合的に指導する力をつける。							
授業の なが れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	オリエンテーション 教育要領や保育指針等における「保育内容」			事前学習	教科書を読んでおく(P9～13)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
	②	保育における「ねらい」及び「内容」の考え方 「領域」の理解と保育実践			事前学習	教科書を読んでおく(P14～18)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
	③	社会の変化と「保育内容」の歴史的変遷			事前学習	教科書を読んでおく(P19～23)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
	④	乳児、3歳未満児の遊びの捉え方と保育者の援助			事前学習	教科書を読んでおく(P24～33)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
	⑤	遊びの大切さと遊びを「総合的に捉える」とは 3歳以上児の遊びと環境及び保育者の援助			事前学習	教科書を読んでおく(P34～38)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
	⑥	保育内容としての活動や行事の捉え方 子ども主体の活動の在り方			事前学習	教科書を読んでおく(P54～69)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
	⑦	環境を通して行う保育			事前学習	教科書を読んでおく(P70～85)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
	学習上の留意点	⑧	保育における計画の考え方			事前学習	教科書を読んでおく(P86～101)	
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑨		さまざまな配慮を必要とする子どもの保育			事前学習	教科書を読んでおく(P102～117)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑩		小学校との接続・連携をふまえた保育			事前学習	教科書を読んでおく(P118～128)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑪		保育者の専門性の向上 個と集団の捉えと保育者の役割			事前学習	教科書を読んでおく(P143～156)		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑫		模擬保育(1) 子どもの発達に合った遊びを考える			事前学習	模擬保育について考える		
					事後学習	授業内容を振り返り整理する		
⑬		模擬保育(2) 保育実践の在り方を考える			事前学習	模擬保育にむけて準備する		
					事後学習	指導計画を立案する		
⑭		模擬保育(3) 保育実践を振り返り改善する			事前学習	模擬保育を振り返る		
					事後学習	指導計画を見直し再立案する		
⑮		試験・まとめ			事前学習	学んだことを振り返る		
					事後学習	自分自身の課題を明確にする		
成績評価の方法	・定期試験 ・授業参加状況や受講態度 ・提出物 (授業のプリント内容、課題等)			50% 20% 30%	教科書	新・保育内容総論(教育情報出版)		
				参考資料	幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 その他適宜授業で紹介する			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	健康指導法				担当教員	松葉 百香	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針における「健康」のねらいと内容について理解する。 さらに、子どもたちにふさわしい計画を立案する中で必要な保育者の援助や配慮についての理解が深まるようにする。							
一般目標	領域「健康」のねらいと内容を理解する。 領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育方法を身につける。							
到達目標	領域「健康」にかかわる具体的な遊びや活動場面を想定して計画立案できるようになる。 様々な計画があることを知り、領域「健康」をふまえた上で、より子どもにふさわしい計画を考えられるようになる。。							
授業のながれ	[授 業 内 容]				課外学習			
	① 領域「健康」とは(1) 5領域「健康」「ねらい」と「内容」				事前学習	幼稚園教育要領「健康」の所を読んでおく		
					事後学習	授業内容を復習しておく		
	② 領域「健康」とは(2) 1歳以上3歳未満児 5領域「健康」「ねらい」と「内容」、「養護」				事前学習	保育所保育指針の健康の所を読んでおく		
					事後学習	健康の「ねらい」と「内容」を理解しておく		
	③ 子どもの生活の実態 日本の子ども 海外の子ども				事前学習	教科書P.16～P.27を読んでおく		
					事後学習	現在の子どもたちに必要なことを考察する		
	④ 事例から考察する(1)DVD「この”ワクワクしかけ”がすごい 領域「健康」の視点から考察する				事前学習	領域「健康」を見直しておく		
					事後学習	今まで習ったことを復習しておく		
	⑤ 事例から考察する(2) 領域「健康」の視点から考察する				事前学習	教科書の指定された事例を読んで理解しておく		
					事後学習	事例から学んだことや記録を整理しておく		
	⑥ 子どもの健康と遊び 乳児・ルールのある遊び・道具や素材を使った遊び 等				事前学習	領域「健康」につながる遊び等を書き出しておく		
					事後学習	実習で子どもたちと遊べる遊びをまとめておく		
	⑦ 園生活と生活習慣 基本的な生活習慣・食育・その他				事前学習	一日の流れを書き出しておく		
					事後学習	領域「健康」とむすびつけて理解を深めておく		
	学習上の留意点	⑧ 指導計画の立案(1) 各テーマにわかれて、遊び・活動を決定し計画を作成する				事前学習	テーマ別の遊び・活動を考えておく	
				事後学習	ねらいに対してふさわしい遊びになっているのか見直す			
⑨ 指導計画の立案(2) 計画を仕上げて発表できるようにする				事前学習	導入→内容→まとめの流れで作成する			
				事後学習	発表できるように計画や発表内容をまとめておく			
⑩ 子どもの遊び・活動(1) ルールのある遊び 室内・戸外 テーマに沿った計画の発表と振り返り				事前学習	発表の準備とルールのある遊びについて見直しておく			
				事後学習	発表内容を振り返り、学んだことを復習しておく			
⑪ 子どもの遊び・活動(2) 道具や素材を使った遊び テーマに沿った計画の発表と振り返り				事前学習	発表の準備と道具等を使った遊びについて見直しておく			
				事後学習	発表内容を振り返り、学んだことを復習しておく			
⑫ 子どもの遊び・活動(3) 食育・子どもの健康 テーマに沿った計画の発表と振り返り				事前学習	発表の準備と食育等から考えられる活動を考えておく			
				事後学習	発表内容を振り返り、学んだことを復習しておく			
成績評価の方法	⑬ 子どもの遊び・活動(4) 工作 テーマに沿った計画の発表と振り返り				事前学習	発表の準備と工作を行う上での援助配慮について考える		
					事後学習	必要な援助や配慮について書きだす		
	⑭ 子どもの健康と安全教育 ヒヤリハット・安全に対する意識・災害 等				事前学習	教科書P.161～171を読んでおく		
					事後学習	学んだことを復習して記録にまとめておく		
	⑮ 試験・まとめ これまでの振り返りをする				事前学習	学んだことを復習する		
					事後学習	自分の課題に気づき、今後につなげる		
	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見る習慣にすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること							
	定期試験 40%				教科書	実践例から学びを深める保育内容・領域 健康指導法 わかば社		
	課題 30%					「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
	授業参加状況 30%				参考資料	保育内容 健康 榎沢良彦・入江礼子 編著 建帛社		
(授業での取り組み・レポート作成・グループワーク・発表 等)				領域 健康 無藤隆 監修 萌文書林				
以上を総合的に評価する								

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部1年	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		人間関係指導法			担当教員	北川 順子		幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	幼児が園生活を通して、集団の中で育ち、社会とつながりを持ちながら豊かな人間関係を育てるために、幼児教育においてはぐみ きたい資質・能力を理解し、領域「人間関係」のねらいと内容について理解を深める。幼児の発達に即した主体的・対話的で深い 学びを実現するため、振り返りや見通しを持って、具体的な保育場面をイメージして、実践力を身につける。								
一般目標	・3指針・要領に示された、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ・幼児期の子どもの「人とかかわり」の発達過程を理解し、保育者の援助や環境構成の在り方等、保育現場を想定し た具体的な実践方法を身につける。								
到達目標	・3指針・要領の基本をふまえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を含めた総合的な見方を理解できる。 ・領域「人間関係」の特性や、環境構成などにおける、教材の効果的な活用法を理解し、想定した保育場面に生かすこ とができる。								
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	ガイダンス 領域人間関係が目指す子どもの育ち・保育者の視点				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	②	子どもの生活の中で育まれる人間関係 生活体験				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	③	子どもの生活の中で育まれる人間関係 生活環境				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	④	子どもの遊びの中で育まれる人間関係 遊び体験				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑤	子どもの遊びの中で育まれる人間関係 遊び環境				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑥	保育の展開と指導計画				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑦	指導計画作成の留意点				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑧	指導計画の実践と検討				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑨	多様な配慮と保育構想				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑩	保育の展開と指導計画				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑪	小学校生活への接続				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑫	地域連携と保育の構想				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑬	多世代の人間関係の理解				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 授業内容を振り返る。		
	⑭	保育者が紡ぐ人間関係				事前学習 事後学習	教科書の該当箇所を読む。 指導案を確認する。		
	⑮	試験・まとめ				事前学習 事後学習	これまでの学びの確認。 まとめの内容を把握する。		
学習上の留意点	・意欲的に授業に臨んでください。 ・日々の授業で、子どもの姿をイメージし、実際の場面で生かすことができるように取り組みましょう。								
成績評価の方法	・試験 50% ・平常点50%(提出物、受講態度)				教科書	ワークで学ぶ保育内容「人間関係」(株)みらい			
					参考資料	・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び解説書 ・必要に応じて適宜配布する。			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部2年 長期履修	学期	半期	授業形態	演習	単位数	1単位
科目名	人間関係指導法			担当教員	鈴木 恒一		
全体目標	幼児期を主として育みたい資質・能力を理解し、領域「人間関係」のねらいと内容について理解を深める。幼児の発達に即した主体的・対話的で深い学びを実現するため、振り返りや見通しを持って、具体的な保育場面をイメージして、実践力を身につける。						
一般目標	・幼児教育の特性を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ・乳幼児期の発達過程を理解し、領域「人間関係」に関わる保育者の援助や環境構成の在り方等、保育現場を想定した具体的な実践方法を身につける。						
到達目標	・幼児教育の特性、領域「人間関係」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 ・乳幼児の心情、認識、思考及び動き等を踏まえた環境の重要性を理解し、保育構想に活用することができる。 ・指導計画の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導計画を作成することができる。						
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション Ⅰ. 乳幼児の発達過程と人間関係			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	②	Ⅱ. 乳幼児との信頼関係の構築			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	③	Ⅲ. 乳幼児とのふれあい (1) 3歳未満児とのふれあいと振り返り			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	④	(2) 3歳以上児とのふれあいと振り返り			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑤	(3) 保育施設の環境構成の把握			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑥	Ⅳ. 指導計画作成と保育実践 (1) グループ編成 (2) 指導計画の作成			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑦	(3) グループワーク① 指導計画作成と評価			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
学 習 上 の 留 意 点	⑧	(4) グループワーク② 保育実践の準備			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑨	Ⅴ. 指導計画に基づく保育実践 (1) 3歳未満児クラスでの保育実践			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑩	(2) 3歳以上児クラスでの保育実践			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑪	(3) グループワーク③ 保育実践の振り返りと分かち合い			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑫	Ⅵ. 地域との連携の保育 (1) 園生活と地域の連携			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑬	(2) 園行事と地域の連携			事前学習	教科書の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑭	Ⅶ. 小学校生活との連続性			事前学習	要領・指針の該当箇所を読む。	
					事後学習	授業内容を振り返る。	
	⑮	試験 まとめ			事前学習	これまでの学びの確認。	
					事後学習	まとめの内容を把握する。	
成 績 評 価 の 方 法	* 授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 * わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 * 必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。			・提	教科書	新・保育実践を支える 人間関係 福村出版	
	・定期試験 60% 出物 40%				参考資料	「幼稚園教育要領」 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		環境指導法				担当教員	鈴木 恒一		
全体目標	領域「環境」に示されたねらい及び内容について、関連する専門領域と含め理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、保育を構想する方法を身につける。								
一般目標	・幼稚園教育要領等に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。 ・幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構成する方法を身につける。								
到達目標	1. 幼児期の教育の特性について説明することができる。 2. 領域「環境健康」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。 3. 領域「環境」の視点から、現代社会における子どもの育ちに関する課題を説明することができる。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション 1. 子どもの育ちに関わる現代の社会環境とその課題 (1)超少子化時代				事前学習	教科書P14～31を熟読し、超少子化時代の課題について考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	②	(2)幼児教育と早期教育 DVD ママ 私をどう育てたいのですか？				事前学習	早期教育について調べる		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	③	①早期教育とは ②早期教育の利点 ③早期教育の批判				事前学習	早期教育に対する自分の意見について考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	④	(3)子どもと生活リズム DVD 危ない！子どもの睡眠				事前学習	生活リズムについて調べる		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤	①『幼児健康度調査』の経年的変化 ②生活リズムの重要性とその確立				事前学習	『幼児健康度調査』を調べる		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑥	2. 子どもの育ちを支える保育環境 (1)子どもの育ちを支える人的環境(乳児期)				事前学習	親子の絆の重要性について考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑦	(2)子どもの育ちを支える人的環境(幼児期)				事前学習	保育者の役割について考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
学習上の留意点	⑧	(3)子どもの育ちを支える物的環境(保育施設)				事前学習	教科書P43～55を熟読する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑨	(4)子どもの育ちを支える物的環境(物、自然・生物)				事前学習	教科書P56～108を熟読する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑩	(5)子どもの育ちを支える物的環境(数量、図形、文字標識)				事前学習	教科書P143～177を熟読する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑪	3. 環境と学び (1)3歳児 物、生き物との関わり DVDを通して				事前学習	3歳児の発達特性を考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑫	(2)4歳児 物、自然・生き物との関わり DVDを通して				事前学習	4歳児の発達特性を考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑬	(3)5歳児 人、物、文字との関わり DVDを通して				事前学習	5歳児の発達特性を考える		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑭	4. メディア教材による保育の評価及び課題 (1)3・4・5歳児の保育における評価及び課題 (2)2歳児の保育における評価及び課題				事前学習	メディアを活用した保育教材を調べる		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑮	試験、まとめ				事前学習	これまでの学びをまとめる		
						事後学習	学びの応用のついて考える		
成績評価の方法	*授業は必ず筆記用具を準備して臨む。 *わからないことは、そのままにせず積極的に質問する。 *必要に応じて資料配布する。当日欠席した者は必ず取りに来る。								
	・定期試験 80% ・提出物 20%					教科書	シードブック 保育内容 環境 第3版 建帛社		
						参考資料	「幼稚園教育要領」 「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	言葉指導法				担当教員	荒木 弘子		
全体目標	乳幼児の言葉の発達について理解できるようになる。また、領域「言葉」とその他の領域との関係を理解した上で、ケーススタディを通して指導方法を工夫できるようになる。さらに、乳幼児期に用いる児童文化財(絵本や紙芝居等)の意義について理解し、教材を保育の場で効果的に活用できるようになる。							
一般目標	・乳幼児の言葉の発達過程を理解し、領域「言葉」に関する指導についての基盤を養う。 ・言葉に対する総合的理解を深める。							
到達目標	・保育に関する領域「言葉」の意義・ねらい・内容を理解する。 ・乳幼児の生活を豊かにするための児童文化財の活用及び作成の技術を習得する。 ・乳幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。							
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習			
	①	オリエンテーション 領域の考え方と言葉の育ち			事前学習	シラバスの概要を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	②	領域「言葉」 領域「言葉」のねらいと内容			事前学習	教科書pp.15-23を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	③	子どもの発達と言葉 乳児の発達と言葉			事前学習	教科書pp.26-35を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	④	子どもの発達と言葉 幼児の発達と言葉			事前学習	教科書pp.35-45を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑤	前言語期のコミュニケーションと保育 言語獲得前のコミュニケーション			事前学習	教科書pp.48-57を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑥	前言語期のコミュニケーションと保育 コミュニケーションを育むための働きかけ			事前学習	教科書pp.57-65を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑦	話し言葉の機能と発達 「話す」ということ			事前学習	教科書pp.68-77を読む。		
					事後学習	授業内容の振り返りをする。		
	⑧	話し言葉の機能と発達 園生活で話す力を育てる			事前学習	教科書pp.77-82を読む。		
				事後学習	授業内容の振り返りをする。			
⑨	書き言葉の発達と保育 文字の読み書きと保育			事前学習	教科書pp.86-94を読む。			
				事後学習	授業内容の振り返りをする。			
⑩	書き言葉の発達と保育 文字の読み書きを支援する方法			事前学習	教科書pp.94-100を読む。			
				事後学習	授業内容の振り返りをする。			
⑪	言葉の発達と児童文化財・言葉遊び 領域「言葉」の児童文化財の概要と意味			事前学習	教科書pp.104-116を読む。			
				事後学習	授業内容の振り返りをする。			
⑫	言葉の発達と児童文化財・言葉遊び 領域「言葉」の児童文化財と言葉の発達			事前学習	教科書pp.116-121を読む。			
				事後学習	授業内容の振り返りをする。			
⑬	絵本の読み聞かせ 絵本の選定・指導案の作成・発表の練習			事前学習	グループで協力して読み聞かせで用いる絵本を選ぶ。			
				事後学習	グループで協力して指導案を完成させる。			
⑭	絵本の読み聞かせ 発表・振り返り			事前学習	グループで協力して読み聞かせ発表の練習をする。			
				事後学習	発表の反省をおこない、改善点を把握する。			
⑮	試験・まとめ			事前学習	教科書および配布資料を見直す。			
				事後学習	学修内容を整理し保育の場で活用できるよう見直しておく。			
学習上の留意点	・毎回授業の中で手遊びやわらべ歌の紹介、絵本の読み聞かせを行う。今後の保育や実習に生かせるよう、手遊びやわらべ歌は復習し、絵本も授業で紹介するブックリストを参考に積極的に読むこと。 ・グループでの話し合いには積極的に参加し、他者の意見を参考に自分の保育の振り返りができるよう取り組むこと。							
成績評価の方法	・授業参加状況や受講態度 20% ・小テスト(全4回) 20% ・提出物(絵本ノート) 10% ・発表(第14回授業) 10% ・定期試験 40% 以上を総合的に評価する。				教科書	保育学生のための「幼児と言葉」「言葉指導法」 馬見塚昭久・小倉直子 ミネルヴァ書房		
					参考資料	『保育所保育指針解説』 フレーベル館 2019 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーベル館 2019 『保育内容・言葉』 太田光洋編 同文書院 2018 『保育内容「言葉」指導法』 馬見塚昭久・小倉直子 ミネルヴァ書房		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位			
科目名	表現(音楽)指導法				担当教員	藤田 桂子					
全体目標	領域「表現」のねらい及び内容を、乳幼児の育ちと関連付けて具体的に理解する。様々な音楽表現について学習し、保育における実践能力を養う。										
一般目標	子どもの育ちと音楽との関わりについて理解し、年齢や発達に沿った音楽表現の素材を選択する。幼児の表現の芽生えを受け止めて、幼児が生活の中で幼児らしい様々な表現を楽しむことができるようになるための、伸びやかで創造的な音楽表現の援助をおこなうことができる。										
到達目標	自然の中のさまざまな音や季節の移り変わりなどを感じ、表現活動につなげる。様々な音楽教育について知り、指導案を作成して模擬保育をおこなう。総合的な音楽表現指導の一例として、「ドラムジカ」を制作する。										
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習					
	①	領域「表現」のねらいと内容について乳幼児の育ちと関連付けて理解する。				事前学習	教科書の該当部分を読み込む				
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
	②	乳幼児の具体的な姿を事例と映像から理解し、その表現活動について考える。				事前学習	教科書の該当部分を読み込む				
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
	③	幼児の音楽的表現活動における心情や認識、思考について学び、幼児の表現に対する援助、指導の方法とその留意点を学習する。				事前学習	教科書の該当部分を読み込む				
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
	④	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と小学校教育への関連性について考える。インクルーシブな保育を反映した実践を学習する。				事前学習	教科書の該当部分を読み込む				
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
	⑤	世界の様々な音楽教育について知り、知識を深め、自らの保育に応用するための具体的な方法について学習する。				事前学習	教科書の該当部分を読み込む				
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
	⑥	自然界の様々な音を情報機器を用いて録音したうえでオノマトペに変換し、創造的なリズム遊びを制作する。				事前学習	教科書の該当部分を読み込む				
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
	⑦	創作したリズム遊びをグループごとに発表する。相互評価をおこない、お互いに意見を言い合う。				事前学習	発表準備				
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
	学習上の留意点	⑧	年間の指導案の枠組みを理解したうえで、細案(音楽)の作成方法を学習し、教材研究をおこなう。				事前学習	教科書の該当部分を読み込む			
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
⑨		教材研究を生かし、音楽の細案を作成する。				事前学習	発表準備				
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
⑩		作成した指導案に基づきグループワークによる模擬保育をおこなう。相互評価をして対話による振り返りをおこなう。				事前学習	発表準備				
						事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り				
⑪		総合的な音楽表現指導の一例として、「ドラムジカ」を制作する。				事前学習	資料準備				
						事後学習	個人練習				
⑫		引き続き「ドラムジカ」を制作する。これまでの学習を生かしグループ内で活発に意見交換をしてせりふや動作を考え選曲もおこなう。				事前学習	個人練習				
						事後学習	個人練習				
成績評価の方法	⑬	「ドラムジカ」を完成させ、グループ内でリハーサルをおこなう。				事前学習	個人練習				
						事後学習	個人練習				
	⑭	グループごとに「ドラムジカ」を発表する。相互評価をおこない、制作の目的を捉えることができていたかを振り返る。				事前学習	発表準備				
					事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り					
	⑮				学びの総体的なまとめをおこない、自己評価により、幼児の表現活動の理解、適切な援助方法について学習できていたかを振り返る。				事前学習	学習してきた単元についての確認	
					事後学習	学習ポートフォリオによる振り返り					
成績評価の方法	グループ活動を多くおこなうため、他の学生に迷惑になることを考え、授業を欠席しないこと。授業に必要な楽譜等の資料準備は、授業時間外でおこなうこと。										
	受講態度30% グループワークにおける貢献度20% 提出物20% 発表30%				教科書	幼稚園教育要領(最新版)、保育所保育指針(最新版)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版) 一人一人を大切にユニバーサルデザインの音楽表現/萌文書林 幼児のうたとあそび/みらい					
					参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」					

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		表現(造形)指導法			担当教員	永井 弘人	特別支援学校教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを目ざす「表現」について、その内容と背景となる専門領域と関連させた理解を深める。 また、幼児の発達に即して主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえた指導場面を想定した知識・技能・表現力を身に付ける。							
一般目標	幼稚園教育要領等 に示された幼児教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容を理解する。 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「表現」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。							
到達目標	幼稚園教育要領等 における幼稚園教育の基本、領域「表現」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむことを通してイメージを豊かにすることができる。							
授業のながれ	回数	〔 授 業 内 容 〕			課外学習			
	①	幼稚園教育要領等 に示された領域「表現」のねらい及び内容の理解と具体的指導の理解について 変遷と改定趣旨(絵画制作から表現へ)			事前学習	シラバスを確認し、幼稚園教育要領等 に示された領域「表現」のねらい及び内容を読む。		
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。		
	②	紙で作るおもちゃ(厚紙)① 制作と指導における安全配慮と評価			事前学習	基礎的な知識を確認し、まとめる。		
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。		
	③	紙で作るおもちゃ(紙パック他)② 制作と指導における安全配慮と評価			事前学習	作品のアイデアをまとめる。		
					事後学習	重要事項について復習し理解を深める。		
	④	アニメーションについて① アニメーションの表現と制作指導(パラパラ漫画)			事前学習	作品のアイデアをまとめる。		
					事後学習	製作について復習し理解を深める。		
	⑤	アニメーションについて② アニメーションの表現と制作指導・作品鑑賞			事前学習	作品のアイデアをスケッチする。		
					事後学習	作品の動きを鑑賞する。		
	⑥	表現材料(水彩絵の具)の理解① 「友達の顔」の構想・下絵制作から展示までの指導			事前学習	表現材料に関するテキストを読んでおく		
					事後学習	テーマに応じた構成をまとめる。		
	⑦	表現材料(水彩絵の具)の理解② 表現と幼児の主体的な活動を促す言葉かけ			事前学習	教材活用のアイデアをまとめる。		
					事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
	学習上の留意点	⑧	こすりだし等の技法修得と制作指導について 表現と幼児の主体的な活動を促す言葉かけ			事前学習	こすりだし等の教材活用のアイデアをまとめる。	
					事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑨		ICTの教材理解と指導について 表現と幼児の主体的な活動を促す言葉かけ			事前学習	ICTの教材活用のアイデアをまとめる。		
					事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑩		幼児の鑑賞(日本の絵画・彫刻) 幼児の興味関心を促す言葉かけ			事前学習	鑑賞教材のアイデアをまとめる。		
					事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑪		幼児の鑑賞(西洋の絵画・彫刻) 表現と幼児の興味関心を促す言葉かけ			事前学習	鑑賞教材のアイデアをまとめる		
					事後学習	作品に対する感想や評価の言葉を考える。		
⑫		模擬保育の構想と指導案の立て方や評価について 指導案例やICTの活用事例			事前学習	指導案に関するテキストを読んでおく。		
					事後学習	模擬保育に関する指導案(略案)をたてる。		
⑬		造形に関する模擬保育(個別制作)Ⅰ 実践と振り返り 季節(夏)を感じる題材による指導計画の立案と実践			事前学習	造形模擬保育の指導案の立案をする。		
					事後学習	課題と成果をまとめる。		
⑭		造形に関する模擬保育(壁面制作)Ⅱ 実践と振り返り 季節(冬)を感じる題材による指導計画の立案と実践			事前学習	造形指導案の立案する。		
					事後学習	課題と成果をまとめる。		
⑮		試験・講評 領域「表現」に関するまとめ			事前学習	今までに学んだことや課題等をまとめておく		
					事後学習	知識や技能の整理と確認する。		
学習上の留意点	・表現(造形)に関する知識に基づく指導場面を意識しその理論的背景の認識を深める。 ・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なう。 ・課題や授業内で自分の考えを述べられるようにする。 ・制作に関する作品は、授業時間内に提出できるようにする。							
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度 20%			教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)			
	提出課題(制作物を含む) 40%				参考資料	「保育をひらく造形表現」 横 英子 「幼児造形の研究」 辻 泰秀		
	試験 40%					「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	通年	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名		表現(音楽)指導法Ⅱ			担当教員	今泉 増美	声楽教室講師として 実務経験有	
全体目標	簡単なオペレッタ作品の制作を通じ、幼児の感性や創造性を豊かにする表現を専門的に身につけ、指導法を学ぶ。保育現場にて必要とされる“創る側”“観る側”の二つの視点も同時に養う。							
一般目標	表現内容(身体表現・音楽表現・造形表現・言語表現)を作品(楽譜・台本)から読み解き、具体的に「伝えたいこと」の有無を紐解いた上、制作を行う。また、指導方法を習得し、模擬保育を実践する。							
到達目標	1)歌唱法、伴奏法、演技法、演出法、舞台道具の制作法を学習し、他者との共通理解によって、集団での個人スケールを超えた作品創りが可能であること(学び・気づき)も発表で実践する。 2)幼児が表現することをイメージし、具体的な指導場面を想定しながら制作する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	概要説明。班、曲、役割決め。幼稚園教育要領における表現。			事前／事後 班分け人数調査/台本読み			
	②	台本読み、役割決め決定(キャスト/ピアニスト)			事前／事後 台本読み/台本読み、譜読み			
	③	台本読み、譜読み開始			事前／事後 台本読み、譜読み/譜読み			
	④	譜読み、制作(大道具・小道具・衣装)プラン立て開始			事前／事後 譜読み/制作プランの把握			
	⑤	譜読み終了、制作プラン決定・材料等確認			事前／事後 プラン把握/暗譜、プラン確認			
	⑥	暗譜練習、道具等製作開始(造形表現)			事前／事後 暗譜、プラン確認/暗譜			
	⑦	暗譜練習終了、道具等製作(造形知識)			事前／事後 暗譜/あら立ち(演出)プラン			
	⑧	立ち稽古(あら立ち)開始、道具等製作(造形技術)			事前／事後 あら立ちプラン/演出プラン把握			
	⑨	あら立ち(身体表現)―幼児の発達を踏まえる―			事前／事後 あら立ち稽古/立ち稽古			
	⑩	あら立ち(音楽表現)―指導計画の作成―			事前／事後 立ち稽古/稽古、制作最終確認			
	⑪	あら立ち(言葉表現)―模擬保育の実践―			事前／事後 稽古、制作最終確認/立ち稽古			
	⑫	通し稽古(道具等使用)			事前／事後 稽古/稽古、道具位置等の把握			
	⑬	通し稽古(作品に込められた“伝えたい”ことを確認)			事前／事後 稽古、道具位置把握/最終確認			
	⑭	発表準備(全体の流れを把握する)			事前／事後 最終確認/教室発表流れ確認			
	⑮	試験・まとめ(教室発表)―小学校の表現活動とのつながり―			事前／事後 教室発表流れ確認/授業まとめ			
	⑯	発表会までの流れ説明、曲決め、役割決め			事前／事後 振り分け人数確認/台本読み			
	⑰	台本読み、役割(キャスト/スタッフ“音・大・小・衣”)決め			事前／事後 台本読み/台本読み、譜読み			
	⑱	台本・譜読み(全員)、制作プラン表作成開始(形状)			事前／事後 台本読み、譜読み/譜読み			
	⑲	譜読み(全員)、制作プラン表作成(材料)			事前／事後 譜読み/暗譜、制作プラン把握			
	⑳	暗譜練習(全員)、制作プラン表・教室発表までの計画			事前／事後 暗譜、プラン把握/暗譜、把握			
	㉑	暗譜練習(全員)、制作プラン表①(スタッフ別)提出			事前／事後 暗譜、暗譜、制作計画確認			
	㉒	暗譜(キャ・音)、演出プラン(キャ)、制作スタッフ作業開始			事前／事後 暗譜、制作確認/暗譜、把握			
	㉓	あら立ち、音楽アレンジプラン、制作プラン表②提出(大)			事前／事後 演出、制作確認/暗譜、確認			
	㉔	稽古、制作、音楽・照明(照明係決定)プラン作成開始			事前／事後 あら立ち、制作物確認/稽古			
	㉕	稽古、制作、最終プラン表提出(大)、舞監決定(大道具)			事前／事後 稽古/稽古、照明・制作物確認			
	㉖	通し稽古、制作、音楽・照明おおよそプラン表提出			事前／事後 稽古/稽古、発表の流れ確認			
	㉗	教室発表、音楽・照明プラン決定			事前／事後 稽古、流れ確認/直し箇所把握			
	㉘	通し稽古、道具・音楽・照明最終確認、全体流れ把握			事前／事後 稽古/発表会の流れ把握			
	㉙	試験(ホール発表)			事前／事後 当日の流れ把握/片付け			
	㉚	講評(「1年間のふり返り」と「今後の保育に生かせるもの」)			事前／事後 授業内容の把握/まとめ			
学習上の留意点	教員が必要とする総合的な表現指導法を身につけられるよう、身体・造形・音楽・言葉表現等に対し、普段から自他とともに注目しながら生活すること。また、クラス全体での作品制作プロセスにて、他者から「伝えたいこと」、自ら「伝えること」、お互い「伝え合うこと」の大切さ、難しさを一人一人が実感すること。 期限・制限があるものに対し、計画性をもって限られた環境の中で行動・練習等が出来ること。							
成績評価の方法	平常点 < 学ぼうとする前向きな姿勢 > 40% (授業参加状況 20% 受講態度 20%)			教科書	表現(音楽)指導法Ⅱ『オペレッタ楽譜集』 学校教材			
	発表 < トライ精神と行動 > 60%			参考資料	『幼稚園教育要領』(平成30年3月告示 文部科学省)『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』(平成30年3月告示 厚生労働省)『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 (平成30年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		教育原理				担当教員	菊地原 守		
全体目標	(1)教育の基本的概念や理念について、教育(学校)の歴史や思想を学ぶことで理解する。 (2)現代の学校教育に関する社会的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。また、学校と家庭・地域との連携や学校安全への対応といった現代的課題に関する基礎的知識も身に付ける。								
一般目標	(1)教育の本質及び目標と、教育を成り立たせる諸要因とそれらの相互関係を理解する。 (2)教育や学校の変遷、その背後にある教育に関する様々な思想について理解する。 (3)社会の状況変化による学校教育への影響並びにそれに対応するための教育政策の動向や、学校における具体的取り組みを学ぶ。								
到達目標	(1)教育の基本的概念に関する代表的な考え方や、子ども・教師・家庭・学校といった諸要因について学習する。 (2)西洋と日本における子ども観や教育・学校の変遷と、代表的な教育家の思想について学習する。 (3)学校や子どもをめぐる近年の状況変化について理解し、それに対応する日本や海外の教育政策の動向を学習する。とりわけ、学校と家庭・地域との連携や学校安全への対応に関しては、学校における具体的事例をもとに実践的に学ぶ。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① ガイダンス					事前学習	学校体験の振り返り		
						事後学習	講義内容の復習		
	② 教育・保育のしくみ(1)目的・意義から考える					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	③ 教育・保育のしくみ(2)政策・制度から考える					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	④ 子ども観と教育思想(1)子どもとはどのような存在か					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	⑤ 子ども観と教育思想(2)教育はどう考えられてきたか					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	⑥ 子ども観と教育思想(3)教育の理念と実態					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	⑦ 中間テスト					事前学習	これまでの学習内容の確認		
						事後学習	解答内容の振り返り		
	学習上の留意点	⑧ 教育と学校の歴史(1)近代教育制度の成立					事前学習	配布資料に目を通す	
						事後学習	講義内容の確認		
⑨ 教育と学校の歴史(2)戦後日本の学校教育						事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
⑩ 教育と学校の歴史(3)学校・家族・社会の役割						事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
⑪ 教育・保育の課題(1)現代の課題を発見する						事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
⑫ 教育・保育の課題(2)現代の課題を分析する						事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	講義内容の確認			
成績評価の方法	⑬ 教育・保育の課題(3)現代の課題をまとめ、表現する					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	⑭ 教育・保育の課題(4)これからの教育・保育を考える					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	⑮ 試験・まとめ					事前学習	これまでの学習内容の確認		
					事後学習	回答内容の確認			
成績評価の方法	・定期試験 50% ・中間テスト 30% ・提出物・受講態度 20%					教科書	なし		
						参考資料	沙見裕幸・伊藤毅・高田文子・東宏行・増田修治(編)『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房、2011年 木村元・沙見裕幸(編)『アクティベート教育学① 教育原理』ミネルヴァ書房、2020年 木村元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ[改訂版]』有斐閣、2019年 戸江茂博(編)『保育原理』ミネルヴァ書房、2019年 沙見裕幸・武藤隆・大豆生田啓友(編)『アクティベート保育学① 保育原理』ミネルヴァ書房、2019年		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		教職概論				担当教員	菊地原 守		
全体目標	現代社会における教職(保育職)の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について理解を深めながら、保育者になることへの意欲を高める。また、保育者を目指す自らの適性を見直し、今後の自己課題を見出す。								
一般目標	(1)日本における学校・幼児教育や教職の社会的意義、今日求められる教職の役割や資質能力について理解する。 (2)学校や園内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解する。 (3)教職の専門職的成長と自己分析・自己管理の手法を理解する。								
到達目標	(1)教職の存在意義や教職の職業的特徴とともに、教職観の変遷について理解する。 (2)教職の職務の全体像を理解するために、職務内容やチームとしての学校運営などについて理解する。 (3)教職のキャリア形成について学習し、現在の自己課題を明確化する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① ガイダンス					事前学習	学校体験の振り返り		
						事後学習	講義内容の復習		
	② 保育者をめざす”私”を分析する					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	③ 保育者の仕事と一日					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	④ 保育者の労働環境と実態					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	⑤ 保育者の意義と特徴(1)教育・保育をするということ					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	⑥ 保育者の意義と特徴(2)職業的特徴とサービス・権利					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	⑦ 中間テスト					事前学習	これまでの学習内容の確認		
						事後学習	解答内容の振り返り		
	学習上の留意点	⑧ 現代の課題と保育者(1)課題を探究する					事前学習	配布資料に目を通す	
						事後学習	講義内容の確認		
⑨ 現代の課題と保育者(2)事例を通して分析する						事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
⑩ 現代の課題と保育者(3)保育者の関わりを考える						事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
⑪ 現代の課題と保育者(4)保育者の専門性を問い直す						事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
⑫ チームでの連携(1)同僚・他職種との連携						事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
成績評価の方法	⑬ チームでの連携(2)家庭・地域との連携					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
	⑭ 保育者をめざす”私”を振り返る					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	講義内容の確認		
成績評価の方法	⑮ 試験・まとめ					事前学習	これまでの学習内容の確認		
						事後学習	解答内容の確認		
成績評価の方法	・定期試験 50% ・中間テスト 30% ・提出物・受講態度 20%				教科書	なし			
					参考資料	油布佐和子『現代日本の教師—仕事と役割—』NHK出版、2015年 佐久間亜紀・佐伯祥(編)『アクティベート教育学② 現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年 大豆生田啓友・秋田喜代美・沙見裕幸(編)『アクティベート保育学② 保育者論』ミネルヴァ書房、2019年 沙見裕幸・武藤隆・大豆生田啓友(編)『アクティベート保育学① 保育原理』ミネルヴァ書房、2019年			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		教育心理学				担当教員	姚 静雅(ヨウ セイガ)		
全体目標	子どもたちの学習について焦点を当て、他者がどのように支えていけばいいのかについて考えることを目的とする。また、子どもへの理解を深めるため、生涯発達の視点の重要性を理解し、子どもが人との関わりや学びを通して発達することを学ぶ。教育心理学で取り上げられている「学び」について知識を得ることで、子どもの発達や学習に関する理解を深め、保育(教育)実践に対する基本的態度を養うことをねらいとする。								
一般目標	①対象となる幼児の心身の発達過程およびその特徴を理解する。 ②幼児、児童の学習に関する基礎的知識を理解する。 ③発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。								
到達目標	①発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念および教育における発達の意義を理解している。 ②学習の形態や概念およびその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 ③動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連づけて理解している。 ④発達に応じた、学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション 保育と教育心理学				事前学習	シラバスを確認する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	②	発達と教育(1)発達とは				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	③	発達と教育(2)発達の理論と課題				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	④	学習のしくみ(1)学習とは				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤	学習のしくみ(1)記憶とは				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑥	やる気を育てる(1)「やる気」とは				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑦	やる気を育てる(2)内からのやる気について				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	学習上の留意点	⑧	個人差の理解(1)性格とは				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を振り返る		
⑨		個人差の理解(1)性格の形成について				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
⑩		人間関係と社会化(1)人間関係とは				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
⑪		人間関係と社会化(2)人間関係の理論と課題				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
⑫		愛着の発達と愛着の個人差				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
⑬		特別な支援を要する子どもたち				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
⑭		親の理解と子育て支援				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を振り返る		
⑮		まとめと試験				事前学習	これまでの学びを確認する		
						事後学習	解答内容を振り返る		
成績評価の方法	定期試験				80%	教科書	「教育心理学—保育者をめざす人へ—」石井正子・松尾直博(編) 樹村房		
	平常点 (受講態度・授業参加状況)				20%	参考資料	配布プリント		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位	
科目名	幼児の特別支援教育				担当教員	永井 弘人	特別支援学校教諭(美術)として実務経験有		
全体目標	特別の支援を必要とする子どもや教育的ニーズのある子どもの特性および生活上の困難さを理解する。 実習で出会った子どもたちについて検討し考察することで、個別支援計画を作成できるようになる。 他の教員間や関係機関と連携し、協働するために必要な知識や支援方法を理解する。								
一般目標	特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。 教育課程(全体的な計画)から特別な支援を必要とする子どもに対する支援の方法を理解し計画を作成する。 障害はないが特別の教育的ニーズのある子どもの生活上の困難とその対応を理解する。								
到達目標	インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する。 教育課程の枠組みを踏まえ、個別の支援計画及び個別的教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。 特別な支援を必要とする子どもの特性や生活上の困難さや組織的な連携の必要性について理解する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	特別支援教育に関する理念や制度 インクルーシブ教育				事前学習	支援を必要とする子のエピソードをまとめる。		
						事後学習	重要事項を確認する。		
	②	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援① 発達障害等(知的障害のない発達障害…ADHD 等)				事前学習	実習で出会った子のエピソード等を準備する。		
						事後学習	発達障害のある子どもについて理解を深める。		
	③	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援② 知的障害及び知的障害を伴う発達障害				事前学習	話し合いの為にエピソードを準備しておく。		
						事後学習	知的障害の有る子どもについて理解を深める。		
	④	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援③ 視覚障害・聴覚障害及び盲聾重複障害				事前学習	生活する上での困難さや特性を理解しておく。		
						事後学習	重要事項を確認する。		
	⑤	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援④ 肢体不自由・病弱・重度・重複障害等を含む様々な障害				事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。		
						事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。		
	⑥	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑤ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(母国語や貧困等)				事前学習	特別な支援が必要な幼児について整理する。		
						事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。		
	⑦	特別な支援を必要とする子どもの理解と支援⑥ 障害はないが教育的ニーズのある子ども(発達障害といじめ)				事前学習	特別な支援が必要な幼児のエピソードや支援をまとめる。		
						事後学習	特別な支援を必要とする子どもの理解を深める。		
学習上の留意点	⑧	支援計画の意義と方法① 個別指導計画の理解 事例をもとに個別支援計画の検討				事前学習	どのような個別支援計画があるのか調べる。		
						事後学習	「気になる子」の事例をもとに計画をまとめる。		
	⑨	支援計画の意義と方法② 事例をもとに個別の支援方法の検討・作成 グループ発表				事前学習	グループで計画を発表できるよう準備する。		
						事後学習	自分や他のグループの発表内容を振り返る。		
	⑩	支援計画の意義と方法③ 個別支援計画の完成 教育課程・全体的な計画				事前学習	計画立案に関する配付資料を読んでおく。		
						事後学習	個別支援計画を作成する。		
	⑪	支援計画の意義と方法④ 障害を有する幼児の保育計画について				事前学習	事前配布資料を読んで理解する。		
						事後学習	保育計画についての理解を深める。		
成績評価の方法	⑫	支援体制の連携① 障害の受容 障害に対する保護者の心理				事前学習	事前配布資料の障害受容について理解する。		
						事後学習	実習で経験したり学んだことを整理する。		
	⑬	支援体制の連携② 幼稚園・専門関係機関・家庭との連携と支援体制				事前学習	家庭との連携の必要性について考察する。		
						事後学習	連携する上での課題や必要性について理解する。		
	⑭	支援体制の連携③ 幼稚園と小学校・特別支援学校(小学部)との連携 就学に向けて				事前学習	就学に向けた支援方法についてまとめる。		
						事後学習	様々な連携についての理解を深める。		
	⑮	試験・講評 幼児の特別支援教育に関する知識の整理				事前学習	今までに学んだことや課題等をまとめる。		
					事後学習	知識を整理するとともに支援方法を理解する。			
成績評価の方法	・今までの実習で出会った「特別な支援を必要とする子ども」についてのエピソードや支援方法についてまとめておくこと。 ・事前準備を入念に行った上で、積極的に事例検討やグループ討議を行なうこと。 ・課題や授業内での取り組みはしっかりと自分の考えを述べられるようにすること。				教科書	幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省) 及び各解説書			
	授業参加状況・課題取り組み 30% グループ討議 10%					参考資料	障害のある子どもへのサポートナビ 松浦俊弥 角田哲哉 新・障害のある子どもの保育 伊藤健次 編 保育者のための障害児保育―理解と実践― 尾野明美 はじめての特別支援教育[改訂版] 柘植雅義他		
	試験 60%								

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		教育課程総論			担当教員	松葉 百香		幼稚園教諭・保育士として実務経験有
全体目標	様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解する これまでの幼稚園教育要領・保育指針等の変遷について理解する 幼児教育の制度や内容について学ぶ							
一般目標	教育課程や全体的な計画を考える上で必要なことや計画の大切さについて総合的に学ぶ 部分や一日の指導計画を作成し実践する中で自己課題を見つける。 幼児教育施設に求められることについて学ぶ							
到達目標	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」を理解する。 保育現場で必要とされている計画について作成・実施・振り返りながら次につなげていくことができる 様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解して、それをもとに計画が作成できる							
授業のながれ	[授 業 内 容]				課外学習			
	① 保育における計画の意義 計画作成の基本 PDCAサイクル				事前学習	幼い頃の園での活動を思い出しておく		
					事後学習	PDCAサイクルに当てはめて考える		
	② 歴史(1) 日本 幼稚園教育要領と保育所保育指針の変遷 法令				事前学習	教科書P.14～17を読んでおく		
					事後学習	学んだことを復習しておく		
	③ 歴史(2) 日本と海外の様々な教育課程 DVD「レッジョ・エミリアの幼児教育」				事前学習	教科書P.18～23を読んでおく		
					事後学習	学んだことを復習しておく		
	④ 三法令について 内容・位置づけ・改定内容 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領				事前学習	様々な教科で学んできたことを復習する		
					事後学習	3法令の共通の内容について復習をする		
	⑤ 子ども理解に基づく保育 アクティブラーニング カリキュラムマネジメント				事前学習	5領域を見直しておく		
					事後学習	子どもの発達について調べる		
	⑥ 教育課程・全体的な計画とは 編成の基本原理と方法				事前学習	幼い頃体験した行事や遊びを思い出す		
					事後学習	今の自分にとって理想の教育課程を考える		
	⑦ 指導計画とは 長期指導計画と短期指導計画 記録の意義・目的等				事前学習	教科書P.118～127まで読んでくる		
					事後学習	教育実習とつなげて理解しておく		
学習上の留意点	⑧ 幼児の指導計画(1) 幼児の遊び・子ども理解				事前学習	幼児期の子どものについて調べておく		
					事後学習	幼児期の子どもの理解を深める		
	⑨ 幼児の指導計画(2) 指導計画を作成する				事前学習	計画を作成する年齢や遊びを決めておく		
					事後学習	指導計画を作成する		
	⑩ 保育の評価 留意点・書き方 等				事前学習	自分の書いた指導計画を見直しておく		
					事後学習	自分の書いた指導計画を評価する		
	⑪ 指導計画作成の復習 子どもにふさわしい記録作成とは 指導計画の発表				事前学習	子どもにふさわしい指導計画を作成する		
					事後学習	教育実習1で使用できる計画に修正する		
	⑫ 乳児の指導計画(1) 乳児の発達特徴と配慮 個人差を考慮した計画を作成する				事前学習	乳児の発達特徴と遊びを調べておく		
					事後学習	乳児の発達特徴と遊びを調べておく		
成績評価の方法	⑬ 乳児の指導計画(2) 指導計画の作成・評価				事前学習	乳児の指導計画を作成する		
					事後学習	作成した指導計画の評価をする		
	⑭ 教育課程・全体的な計画を振り返る 指導計画の発表 小学校への接続 指導要録・保育要録				事前学習	小学校との接続について考えてくる		
					事後学習	これまでに学んだことを復習する		
	⑮ 試験・まとめ これまでの振り返りをする				事前学習	学んだことを復習する		
				事後学習	自分の課題に気づき、今後につなげる			
授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見る習慣にすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること								
定期試験 40%					教科書	「教育・保育カリキュラム論」千葉武夫著 中央法規		
課題 30%						「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
授業参加状況 30%					参考資料	就学前教育の計画を学ぶ 松村和子著 ななみ書房		
(授業での取り組み・レポート作成・グループワーク・発表 等)						イラストで読む！幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領はやわかりBOOK 無藤隆 編 学陽書房		
以上を総合的に評価する								

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		教育方法論			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器の活用に関する基礎的な知識・技能を身につける。							
一般目標	子どもたちを教育するために必要な教育の方法、教育の目的に適した指導技術、情報機器の活用を理解する。							
到達目標	理論編では、優れた教育実践をするために必要な教育方法学の理論を理解する。 実践編では、保育現場で用いられるさまざまな教育方法の概要を理解する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① オリエンテーション				事前学習	本授業に期待することを考えてくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	② 理論編(1) 教育・保育の基礎知識①:学校について				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	③ 理論編(2) 教育・保育の基礎知識②:幼稚園について(DVDを含む)				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	④ 理論編(3) これからの時代の教師像・保育者像としての「反省的実践家」				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑤ 理論編(4) これからの時代の学習形態としての「アクティブラーニング」①: DVD				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑥ 理論編(5) これからの時代の学習形態としての「アクティブラーニング」②: 解説				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑦ 理論編(6) 「形式陶冶と実質陶冶」、「ヒドゥンカリキュラム」				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
学習上の留意点	⑧ 実践編(1) 絵本、紙芝居、手遊び、ペープサート				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑨ 実践編(2) エプロンシアター、ゲーム、折り紙、手作りおもちゃ				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑩ 実践編(3) お話				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑪ 実践編(4) パネルシアター①: 構想				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑫ 実践編(5) パネルシアター②: 作成				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
成績評価の方法	⑬ 実践編(6) 行事と保育				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑭ 教育方法論のまとめ				事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑮ 試験・講評				事前学習	試験対策をやってくる		
					事後学習	試験の振り返りをする		
学習上の留意点	・「授業のながれ」の順番は変更することがある。 ・本授業は講義であるが、「聴く」活動のみならず、「書く」、「話し合う」、「発表する」などの活動を非常に多く含む。成績評価が平常点重視なことからもわかるように、特に授業中は能動的・積極的な参加が求められる。							
成績評価の方法	・試験 50% ・授業参加状況 50%			教科書				
				参考資料	『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	通年	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名		教育相談				担当教員	出口 亨子		学校カウンセラーとして実務経験有
全体目標	心理学的知見の学習をとおして、保育士・幼稚園教諭の立場から子ども支援・保護者支援に対応できる知識・態度・スキルを身につける。								
一般目標	1.子ども一人一人の育ちを保障し支援するために必要な知識とスキルを学習する。 2.家庭の状況、保護者の事情に配慮した子育て支援を実践するための基礎知識や態度を学習する。 3.必要に応じて外部の専門機関と有意義な連携をはかることができるための知識や態度を学習する。								
到達目標	1.教科書・配布資料の講読により、心理学的視点をを用いて子ども・保護者への理解を深める。 2.クラスメイトとの意見交換やワークショップでの参加を通して、子ども・保護者支援の多様なアプローチに気づくことができる。 3.外部の専門機関の機能を知り、そこからの助言を実践に生かすための基礎知識を習得する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	0～3歳の心の育て方				事前／事後 1～3章読む／配布資料読み込み			
	②	甘えの重要性と基本的信頼感の構築				事前／事後 4. 5章読む／配布資料読み込み			
	③	甘えと自立の関係／生活面の相談①睡眠				事前／事後 6～8章読む／配布資料読み込み			
	④	子どもの「泣き」について／生活面の相談②食事				事前／事後 9～12章読む／配布資料読み込み			
	⑤	イヤイヤ期の子育て／生活面の相談③排泄				事前／事後 13～15章読む／イヤイヤ期の背景まとめ			
	⑥	保護者支援の重要性と様々な支援機関				事前／事後 16～19章読む／保健C・医療機関の機能			
	⑦	中間試験				事前／事後 ①～⑥復習／わからないところ復習			
	⑧	中間試験返却・解説／妊娠・出産と家族の変化				事前／事後 20～22章下読み／産後うつが起きる理由			
	⑨	言葉遅れの相談(1)「ことば遅れ」とは				事前／事後 Q1-3下読み／配布資料読み込み			
	⑩	言葉遅れの相談(2)言葉の発達を促す				事前／事後 Q10-11下読み／配布資料読み込み			
	⑪	子どもの気質と保護者の養育困難感				事前／事後 Q13下読み／育てにくさの要因について			
	⑫	相談場面のロールプレイ・振り返りレポート				事前／事後 役つくりのための情報収集／配布資料講読			
	⑬	保健所・保健センターの乳幼児健康診査				事前／事後 Q12下読み／乳幼児健診の項目について			
	⑭	子育て支援機関、医療機関との連携				事前／事後 配布資料講読／専門機関の特徴について			
	⑮	前期試験・まとめ				事前／事後 ①～⑭復習／不明箇所の確認			
	⑯	3～6歳の心の育て方				事前／事後 1～6章読む／幼児期の発達課題まとめ			
	⑰	子どものほめ方・叱り方(1)行動を3つにわけ				事前／事後 7章読む／「ほめる」が「叱る」に先立つ理由			
	⑱	子どものほめ方・叱り方(2)肯定的注目とPRIDEスキル				事前／事後 8章読む／手本や手がかりの重要性			
	⑲	子どものほめ方・叱り方(3)PRIDEスキル実践				事前／事後 9、10章読む／PRIDEスキルを試す			
	⑳	子どものほめ方・叱り方(4)計画的無視について				事前／事後 19～22章読む／配布資料を読み込む			
	㉑	子どものほめ方・叱り方(5)効果的な指示				事前／事後 配布資料講読／配布資料を読み込む			
	㉒	子どものほめ方・叱り方(6)まとめ				事前／事後 ⑯～㉒復習／不明箇所の確認			
	㉓	聴くことから始める関係づくり～ペアワークを通して				事前／事後 配布資料講読／配布資料講読			
	㉔	注意・集中のコントロールが難しい子どもの理解と対応				事前／事後 配布資料講読／配布資料講読			
	㉕	不安・緊張のコントロールが難しい子の理解と対応				事前／事後 16～18章読む／配布資料講読			
	㉖	神経発達症(1)障害か個性か				事前／事後 配布資料講読／配布資料講読			
	㉗	神経発達症(2)コミュニケーションの受信を促す				事前／事後 配布資料講読／配布資料講読			
	㉘	神経発達症(3)コミュニケーションの発信を促す				事前／事後 配布資料講読／配布資料講読			
	㉙	神経発達症(4)社会的イメージネーションの障害				事前／事後 配布資料講読／配布資料講読			
㉚	後期試験・まとめ				事前／事後 ⑯～㉚復習／不明箇所の確認				
学習上の留意点	・実習で出会った子ども達や対応している先生の姿を思い浮かべながら学びましょう。 ・意見交換やペア・グループワークに積極的に参加し多様な見方・考え方に会いましょう。 ・教科書や配布資料は2～3回読んで、内容理解を深めましょう。 ・授業内容は様々な事情により変更することがありますのでご了承ください。								
成績評価の方法	前期定期試験 30%				教科書	【前期】 0～3歳のこれで安心 子育てハッピーアドバイス			
	前期中間試験・レポート課題など 20%					【後期】 3～6歳のこれで安心 子育てハッピーアドバイス			
	後期定期試験 35%								
	後期中間試験・レポート課題など 15%				参考資料				
	＊平常点(受講態度・授業参加状況)も勘案し、総合的に評価する。								

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	集中	授業形態	実習		単位数	1単位
科目名		基礎実習			担当教員	北川 順子・浦田 一 村上 友香		幼稚園教諭・保育教諭 として実務経験有	
全体目標	保育者の第一歩を踏み出すために、社会的マナーを含む保育者の心構えと、実習の基礎的な事項を習得する。								
一般目標	附属幼稚園での観察・参加・指導(部分)実習、行事参加・見学実習などとおして、園児や幼稚園の役割を理解する。								
到達目標	部分実習の指導案を作成し、実践することで、学外実習に向けての基礎を培い、不安を解消し自身に繋げる。								
授業内容	[授 業 内 容]								
	・おはよう実習 :登園前に必要な準備および登園時の子どもの受け入れ方を知る ・観察実習 :園生活の午前中の流れを理解する ・参加実習(午前) :子どもと積極的にかかわり子どもの特徴を把握する ・指導(部分)実習 :計画した手遊びなどを子どもたちと楽しむ ・給食実習 :子どもと食事をしながら会話を楽しみ、コミュニケーションを図る ・運動会観察・参加実習 :子どもの発達段階や達成感を感じている姿を観察するとともに、保育者の視点で子どもにかかわる ・参加実習(午後) :午後の子どもの生活・遊びを知る、降園時の様子を知る、降園後の保育者の職務内容を理解する ・マジックミラー実習 :子どもたちの遊びを観察し、保育者の援助、配慮点を理解する ・遊戯会観察実習 :見学を通して遊戯会の進め方や保育者の動きなどを理解し、近い将来に役立てる								
学習上の留意点	・実習生(保育者)としてのあるべき態度に自ら気づき、身につくように努力すること。 ・観察する力をつけ、見たことを考察できるよう能動的に取り組むこと。 ・記録の提出期限を守ること。 ・行事や状況によっては2年次に行う場合がある。								
成績評価の方法	平常点(授業参加状況と取り組み姿勢)と提出物100%				教科書	・「教育・保育実習テキスト」 ・「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 ・「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			
					参考資料				

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	集中	授業形態	実習		単位数	2単位
科目名	教育実習Ⅰ				担当教員	村上 友香・北川 順子		幼稚園教諭として 実務経験有
全体目標	・幼稚園での体験的な学びの中で、幼児を理解し、実践的な保育を意識的に学ぶ。							
一般目標	・幼稚園での役割や保育者の職務を知る。							
到達目標	・実習に積極的に取り組む中で、自分の課題を見つける。							
授業のながれ	[授 業 内 容]							
	・実習の期間 後期11～12月に2週間実施。 ・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて指導実習(部分)を行うこともある。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前に実施する。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と、園長・実習担当者教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後、すみやかに実施する。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 ・実習園で知りえた個人情報の守秘義務を遵守する。 注:本校の実習検討委員会の判断により履修の可否を判断する。							
成績評価の方法	・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する。 ・最終的には教育実習Ⅰ・Ⅱおよび教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する。				教科書	・「教育・保育実習テキスト」 ・「幼稚園教育要領」 ・「幼稚園教育要領解説」		
					参考資料	・「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 ・実習関係書類		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	実習		単位数	0.5単位
科目名		教育実習事前事後指導Ⅰ			担当教員	村上 友香・北川 順子	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	教育実習事前事後指導とは、幼稚園での教育実習が一人一人の学生にとってより有意義な経験となる事を 目指し、実習に必要な基礎的事項について学ぶものである。							
一般目標	講義や事前準備、実習での経験を通し、教育実習の全体構造を具体的に理解する。							
到達目標	保育の知識と情報機器を利用した技術、保育観察の記録・指導案作成の方法を培う。 各実習への自己学習課題を明確化していく。							
授業の なが れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	オリエンテーション(教育実習とは) 実習生に求められる姿勢や態度			事前学習	これまでの学習の振り返り		
					事後学習	教育実習までの流れを確認する		
	②	教育実習Ⅰの目標を立てる 「私の心構え」の作成			事前学習	教育実習Ⅰのねらいを理解する		
					事後学習	「私の心構え」の下書きをする		
	③	教育実習Ⅰに向けて (1)教育実習の流れ、実習先について			事前学習	実習先を調べる		
					事後学習	教育実習の流れ、実習先について確認する		
	④	教育実習Ⅰに向けて (2)事前訪問について			事前学習	個人個票・誓約書の下書き		
					事後学習	事前訪問について確認する		
	⑤	教育実習Ⅰに向けて (3)実習記録について			事前学習	実習記録の内容を把握する		
					事後学習	実習記録の書き方を理解する		
	⑥	絵本・手遊びの演習 (1)計画・準備			事前学習	絵本、手遊び等について調べる		
					事後学習	調べた絵本、手遊び等の展開を考える		
	⑦	絵本・手遊びの演習 (2)発表・振り返り			事前学習	指導計画を立てる		
					事後学習	発表を振り返り、計画を改善する		
	⑧	幼稚園・認定こども園の概要			事前学習	幼稚園・認定こども園について調べる		
					事後学習	幼稚園・認定こども園について理解する		
学習上の 留意点	⑨	園の一日の流れ (1)主活動(製作・集団遊び)			事前学習	主活動について理解する		
					事後学習	実習で実施できる製作・集団遊びを考える		
	⑩	園の一日の流れ (2)朝の会・給食・帰りの会			事前学習	朝の会・給食・帰りの会について理解する		
					事後学習	それぞれの生活の場面を実施するイメージをもつ		
	⑪	教育実習の流れの確認 事後訪問・お礼状について			事前学習	実習中から実習後の流れを確認する		
					事後学習	事後訪問・お礼状の内容を把握する		
	⑫	教育実習の省察 (1)振り返り用紙の記入			事前学習	実習での経験を整理する		
					事後学習	実習中に印象に残ったエピソードを記録する		
	⑬	教育実習の省察 (2)経験交流、自己評価			事前学習	実習での経験を整理する		
					事後学習	他の学生との交流を踏まえ、自己評価を行う		
成績評価の方法	⑭	授業内容の振り返り 教育実習Ⅱに向けて			事前学習	これまでの学習の振り返り		
					事後学習	教育実習Ⅱに向けての課題を明確にする		
	⑮	試験・まとめ			事前学習	これまでの学習の振り返り		
					事後学習	自己課題を明確にし、改善の見通しを立てる		
成績評価の方法	実習生(保育者)としての在るべき態度に自ら気づき、身につくように努力すること。 主体的に取り組み、欠席・遅刻をしないこと。 板書した内容だけでなく、関心のある事や必要と思うことを積極的に書き留める。 ※尚、授業の内容は附属幼稚園での実習指導に合わせて適宜変更される。				教科書	「教育・保育実習テキスト」 「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子編著、萌文書林 「保育実技」久富陽子編著、萌文書林		
	試験・・・60% 提出物・平常点(授業参加状況・参加態度) ・・・40%				参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」		
	以上を総合的に評価する							

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	集中	授業形態	実習		単位数	2単位
科目名	教育実習Ⅱ				担当教員	加藤 由美	保育士として 実務経験有	
全体目標	・教育実習Ⅰでの課題を改善し、授業と実習とを関連付けて知識・技術を深める。 ・指導案作成、教材研究、ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気付き、積極的に実践する。							
一般目標	・教育実習事前事後指導や保育内容等の授業で学んだことを反映させて、意欲的に取り組む中で保育の質を高める。 ・子どもの姿を丁寧に観察したことに基づいて、ねらいを設定し、「指導計画」を作成する。							
到達目標	・自分の反省点や課題を見つけて、今後の保育につながるようにする。 ・PDCAサイクルにより、毎日の実習記録や指導計画を振り返る。							
授業のながれ	[授 業 内 容]							
	・ 実習の期間 前期 2週間実施。 ・ 実習の内容 実習園の指示に従い、指導計画を作成しない参加（部分）実習に加え、指導実習（一日・半日・部分）を行う。 状況に応じて指導実習は、半日・部分を複数回行うこともある。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノの伴奏については、積極的に随時行う。 ・ 事前訪問 実習開始の約3週間前までに実施。 実習園の概要及び実習方針や実習クラスの子どもの様子を知る。 実習に臨むうえで必要なことや準備することについて学ぶ。 ・ 実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・ 事後訪問 実習終了後速やかに実施。（実習園の指示に従う） 最終日の実習記録や実習を終えて等を記載し持参する。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身共に健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としてふさわしい態度で臨む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 ・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守すること。 ・指導案作成、教材研究、保育方法、ピアノ等の事前準備を行ったうえで積極的に実習に臨むこと。 ・事後訪問終了後、速やかに「実習記録」や指示された書類を提出すること。 注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や未提出課題等の事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。							
成績評価の方法	・実習園からの評価をもとに、実習前や実習後に指示された課題や提出すべき書類等、実習前後の内容や取り組みを総合的に勘案して評価する。 ・最終的には教育実習Ⅰ・Ⅱ及び教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する。				教科書	「教育・保育実習テキスト」 「保育実技」久富陽子 萌文書林 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子（編著）萌文書林		
					参考資料	実習関係書類 幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部2年	学期	半期	授業形態	実習		単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導Ⅱ				担当教員	加藤 由美	保育士として実務経験有	
全体目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める。 情報機器や教材を活用し、実践力を身につけられるようにする。 実習の計画、観察、記録の内奥や方法について具体的に理解して実践する。							
一般目標	・保育者に求められる資質や専門性について学ぶ。 ・実習の計画、実践、評価、改善(PDCAサイクル)の流れで進めて次につなげていく。 ・指導実習に向けて、「指導計画」立案や活動に対しての実践力を身につける。							
到達目標	・「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める。 ・子どもの見方や関わり方など、様々な視点から考えられるようになる。 ・保育者に求められる資質や専門性について学び、自己課題を明確にする。							
授業のながれ	回数	〔 授 業 内 容 〕			課外学習			
	①	教育実習Ⅱオリエンテーション(心構えと事前訪問準備) 実習記録用紙の書き方・データ化について			事前学習	教育実習Ⅰの記録や書類を見直す		
					事後学習	教育実習を終えてを見直し課題を明確にする		
	②	事前訪問について(書類・事前訪問内容の確認) 実習書類の準備 私の心構え(実習目標・実習課題)・誓約書・個人票			事前学習	実習で学びたいことを明確にして心構えを作成する		
					事後学習	書類を整えて事前訪問の準備をする		
	③	子どもの遊び・保育方法(1)保育技術 主体的な遊びについて考える 保育者の役割			事前学習	子どもの主体性について考える		
					事後学習	主体的な遊びについて理解を深める		
	④	子どもの遊び・保育方法(2)指導実習について DVD「続保育者を目指すあなたへ第2巻」			事前学習	「指導実習」で行う活動を調べておく		
					事後学習	「指導実習」に向けての準備をする		
	⑤	記録の記入(1)実習記録 教育実習Ⅰの反省をふまえ、実習記録の確認及び課題			事前学習	教育実習Ⅰ実習記録を見直す		
					事後学習	指導実習の内容について考える		
	⑥	記録の記入(2)指導計画 子どもの姿から「ねらい」を考えて指導計画を作成する			事前学習	「指導計画」を作成する		
					事後学習	作成した「指導計画」の内容を省察する		
	⑦	記録の記入(3)子どもの観察記録(エピソード) 子どもの活動(姿)からエピソード記録を作成する			事前学習	実習で特に観察したいことを明確にする		
					事後学習	絵本や手遊び、シアターなどの練習をする		
学習上の留意点	⑧	記録の記入(4)子ども理解(教育要領等) 記録から子どもの育ちや思いを読み取る			事前学習	実習で子どもたちの前で披露できるものを準備する		
					事後学習	実習の事前準備をする		
	⑨	実習直前指導 最終確認(実習記録・お礼状・事後訪問) 事後訪問への臨み方			事前学習	実習に臨む心構えを再確認しておく		
					事後学習	実習の事前準備をする		
	⑩	事後指導(1) 事後訪問・お礼状・実習を終えて 事後訪問の確認			事前学習	事後訪問に向けて「実習記録」を整える		
					事後学習	「実習を終えて」を記入する		
	⑪	事後指導(2) 振り返りに基づく自己評価 「教育実習を終えて」 経験交流			事前学習	経験交流ができるように意見をまとめておく		
					事後学習	PDCAサイクルをもとに振り返る		
	⑫	保育の専門性・子ども理解 グループワーク DVD「遊んでぼくらは人間になる」			事前学習	主体的な遊びについて理解を深める		
					事後学習	様々な保育観を知る		
	⑬	保育の専門性・子ども理解 グループワーク DVD「21世紀型の保育実践 第3巻 協働する保育～生活編～」			事前学習	幼稚園教育要領等を読んでおく		
					事後学習	子ども主体の保育について理解を深める		
	⑭	教育実習のまとめ・今後の実習に向けて 今後の課題と改善方法を明確にする 乳幼児の子ども理解			事前学習	実習での自分の課題を明確にする		
					事後学習	3法令の共通するところやポイントを理解する		
	成績評価の方法	⑮	試験・まとめ 振り返り			事前学習	教育実習Ⅱ実習記録を見直す	
					事後学習	今後の課題を見つけ次につなげるようにする		
成績評価の方法	・定期試験	30%			教科書	「教育・保育実習テキスト」 「保育実技」久富陽子 萌文書林 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子(編著) 萌文書林 幼稚園教育要領解説 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説		
	・課題等の提出	40%				参考資料	「イラストで読む! 幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK」 無藤隆 編 学陽書房	
	・授業参加状況	30%						
	(授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)							
	以上を総合的に評価する							

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部2年 長期履修生	学期	半期	授業形態	実習		単位数	0.5単位
科目名		教育実習事前事後指導Ⅱ			担当教員	加藤 由美		保育士として 実務経験有	
全体 目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める。 情報機器や教材を活用し、実践力を身につけられるようにする。 実習の計画、観察、記録の内奥や方法について具体的に理解して実践する。								
一般 目標	・保育者に求められる資質や専門性について学ぶ。 ・実習の計画、実践、評価、改善(PDCAサイクル)の流れで進めて次につなげていく。 ・指導実習に向けて、「指導計画」立案や活動に対しての実践力を身につける。								
到達 目標	・「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める。 ・子どもの見方や関わり方など、様々な視点から考えられるようになる。 ・保育者に求められる資質や専門性について学び、自己課題を明確にする。								
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	教育実習Ⅱオリエンテーション(心構えと事前訪問準備) 実習記録用紙の書き方・データ化について				事前学習	教育実習Ⅰの記録や書類を見直す		
						事後学習	教育実習を終えてを見直し課題を明確にする		
	②	事前訪問について(書類・事前訪問内容の確認) 実習書類の準備 私心構え(実習目標・実習課題)・誓約書・個人票				事前学習	実習で学びたいことを明確にして心構えを作成する		
						事後学習	書類を整えて事前訪問の準備をする		
	③	子どもの遊び・保育方法(1)保育技術 主体的な遊びについて考える 保育者の役割				事前学習	子どもの主体性について考える		
						事後学習	主体的な遊びについて理解を深める		
	④	子どもの遊び・保育方法(2)指導実習について DVD「続保育者を目指すあなたへ第2巻」				事前学習	「指導実習」で行う活動を調べておく		
						事後学習	「指導実習」に向けての準備をする		
	⑤	記録の記入(1)実習記録 教育実習Ⅰの反省をふまえ、実習記録の確認及び課題				事前学習	教育実習Ⅰ実習記録を見直す		
						事後学習	指導実習の内容について考える		
	⑥	記録の記入(2)指導計画 子どもの姿から「ねらい」を考えて指導計画を作成する				事前学習	「指導計画」を作成する		
						事後学習	作成した「指導計画」の内容を省察する		
	⑦	記録の記入(3)子どもの観察記録(エピソード) 子どもの活動(姿)からエピソード記録を作成する				事前学習	実習で特に観察したいことを明確にする		
						事後学習	絵本や手遊び、シアターなどの練習をする		
学 習 上 の 留 意 点	⑧	記録の記入(4)子ども理解(教育要領等) 記録から子どもの育ちや思いを読み取る				事前学習	実習で子どもたちの前で披露できるものを準備する		
						事後学習	実習の事前準備をする		
	⑨	実習直前指導 最終確認(実習記録・お礼状・事後訪問) 事後訪問への臨み方				事前学習	実習に臨む心構えを再確認しておく		
						事後学習	実習の事前準備をする		
	⑩	事後指導(1) 事後訪問・お礼状・実習を終えて 事後訪問の確認				事前学習	事後訪問に向けて「実習記録」を整える		
						事後学習	「実習を終えて」を記入する		
	⑪	事後指導(2) 振り返りに基づく自己評価 「教育実習を終えて」 経験交流				事前学習	経験交流ができるように意見をまとめておく		
						事後学習	PDCAサイクルをもとに振り返る		
	⑫	保育の専門性・子ども理解 グループワーク DVD「遊んでぼくらは人間になる」				事前学習	主体的な遊びについて理解を深める		
						事後学習	様々な保育観を知る		
成 績 評 価 の 方 法	⑬	保育の専門性・子ども理解 グループワーク DVD「21世紀型の保育実践 第3巻 協働する保育～生活編～」				事前学習	幼稚園教育要領等を読んでおく		
						事後学習	子ども主体の保育について理解を深める		
	⑭	教育実習のまとめ・今後の実習に向けて 今後の課題と改善方法を明確にする 乳幼児の子ども理解				事前学習	実習での自分の課題を明確にする		
						事後学習	3法令の共通するところやポイントを理解する		
	⑮	試験・まとめ 振り返り				事前学習	教育実習Ⅱ実習記録を見直す		
					事後学習	今後の課題を見つけ次につなげるようにする			
成 績 評 価 の 方 法	・授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること					教 科 書	「教育・保育実習テキスト」		
	・子どもや幼児教育に関心をもって、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと						「保育実技」久富陽子 萌文書林		
	・日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること						「実習における遊びの援助と展開」久富陽子(編著)萌文書林		
成 績 評 価 の 方 法	・提出物は丁寧に記述し、見直したうえで必ず期限内に提出すること					参 考 資 料	幼稚園教育要領解説		
	・定期試験 30%						幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説		
	・課題等の提出 40%						「イラストで読む！幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK」		
成 績 評 価 の 方 法	・授業参加状況 30%					参 考 資 料	無藤隆 編 学陽書房		
	(授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)						以上を総合的に評価する		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名	教職実践演習				担当教員	須田昂宏・村上友香 林幸・瀬木ゆかり		幼稚園教諭・保育士 として実務経験有
全体目標	教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動で学んだことを振り返り、教員としての資質・能力として統合し、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」をする。							
一般目標	模擬保育を通じて、教職課程の学びの集大成をはかる。							
到達目標	① 使命感・責任感・豊かな感性を持ち、愛情豊かに子どもに接することができる ② 社会性や対人関係能力を身につけ、子ども・保護者・職員などと信頼関係を築くことができる ③ 子どもを理解し、意欲的で活気のあるクラス運営・集団づくりをする力をつける ④ 図画工作、ピアノ伴奏などの保育の表現技術や、保育内容の指導力、計画立案や説明する力をつける							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① ガイダンス(教職実践演習とは、オリエンテーション)				事前学習	シラバスを確認する		
					事後学習	授業内容を復習する		
	② 模擬保育を実施するにあたって(構想)				事前学習	実習を振り返る		
					事後学習	授業内容を復習する		
	③ 模擬保育を実施するにあたって(指導案作成)				事前学習	実習を振り返る		
					事後学習	授業内容を復習する		
	④ 模擬保育を実施するにあたって(リハーサル)				事前学習	実習を振り返る		
					事後学習	授業内容を復習する		
	⑤ 模擬保育1(日常保育)－国語に関するもの－				事前学習	模擬保育の準備をする		
					事後学習	授業内容を復習する		
	⑥ 模擬保育2(日常保育)－算数に関するもの－				事前学習	模擬保育の準備をする		
					事後学習	授業内容を復習する		
	⑦ 模擬保育3(日常保育)－生活に関するもの－				事前学習	模擬保育の準備をする		
					事後学習	授業内容を復習する		
	⑧ 模擬保育4(日常保育)－音楽に関するもの－				事前学習	模擬保育の準備をする		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑨ 模擬保育5(日常保育)－図画工作に関するもの－				事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑩ 模擬保育6(日常保育)－体育に関するもの－				事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑪ 模擬保育7(行事)－誕生日会－				事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑫ 模擬保育8(行事)－クリスマス会－				事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑬ 模擬保育9(行事)－正月－				事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑭ 模擬保育10(行事)－節分－				事前学習	模擬保育の準備をする			
				事後学習	授業内容を復習する			
⑮ 総まとめ(自己課題についてまとめ、試験)				事前学習	授業内容を振り返る			
				事後学習	学びの振り返りをする			
学習上の留意点	・授業(演習)には積極的に取り組むこと。 ・実習での取り組みや気づきは実習中の記録とは別に、各自、振り返ることができるようにしておくこと。 ・進んで意見を述べたり、講評をしたりするように心がけること。 ・模擬保育の対象(年少・年中・年長)はくじで決定する。							
成績評価の方法	試験(総復習) 40% 模擬保育の発表 30% 提出物 30% ※履修カルテの提出がない場合はD評価				教科書	特に指定しない		
					参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		保育原理Ⅰ				担当教員	牛田 弓子	幼稚園教諭として実務経験有	
全体目標	保育の意義を理解したり、保育所保育指針や幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本について学んだりする。また、保育の基盤としての子ども観・保育観を身につけたり、実践における知識・技能の習得とともに子どもの内面理解等保育の専門性を学んだりする。保育の歴史の変遷や思想について学びを深める。								
一般目標	・保育所保育指針、幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本を理解する。 ・実践例等から自分の持つ子ども観や保育観を知り、保育の専門性とは何かを考え理解する。 ・今日に至るまでの欧米や日本の保育の歴史と思想の流れや、日本における保育内容の歴史の変遷について学ぶ。								
到達目標	・保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園における保育の基本や保育の意義が理解できる。 ・実践例、事例等から子どもの内面理解の仕方を学び、保育の専門性を身につけることができる。 ・欧米や日本の保育の歴史や思想及び日本の保育内容の変遷について理解できる。								
授業のながれ	回数	〔 授 業 内 容 〕				課外学習			
	①	保育とは何か、保育原理とは何かを学ぶ。				事前学習 (教)3～15Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	②	保育の基盤としての「子ども観」「保育観」について考える。				事前学習 (教)19～32Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	③	子ども理解(Ⅰ)子どもの「行為」の意味について考える。				事前学習 (教)37～43Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	④	子ども理解(Ⅱ)子どもの「発達」の見方について学ぶ。				事前学習 (教)44～51Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	⑤	子ども理解(Ⅲ)子どもが育つ「環境」とは何かを考える。				事前学習 (教)53～66Pを読み復習しておく。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	⑥	保育の専門性について考える。 (Ⅰ)カウンセリングマインドの意義				事前学習 (教)40～43Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	⑦	保育の専門性について考える。 (Ⅱ)カウンセリングマインドの進め方				事前学習 配布プリントを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	⑧	保育所保育指針の基本的理解をする。				事前学習 保育指針4～12Pの総則を読み内容を把握する。 事後学習 授業内容プリントを見直し要点を確認する。			
	⑨	幼稚園教育要領の基本的理解をする。				事前学習 教育要領5～13Pの総則を読み内容を把握する。 事後学習 授業内容プリントを見直し要点を確認する。			
	⑩	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本的理解をする。				事前学習 教育・保育要領4～16P総則を読み内容の把握。 事後学習 授業内容プリントを見直し要点を確認する。			
	⑪	保育の歴史と思想を学ぶ。(1)西洋とアメリカ				事前学習 (教)145～153Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	⑫	保育の歴史と思想を学ぶ。(2)日本				事前学習 (教)153～158Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	⑬	保育内容の歴史の変遷を学ぶ。(1)幼稚園				事前学習 (教)158～160Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	⑭	保育内容の歴史の変遷を学ぶ。(2)保育所				事前学習 (教)160～162Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。			
	⑮	試験、講評				事前学習 これまでの学びとまとめプリントを確認する。 事後学習 講評の内容を把握する。			
学習上の留意点	◎日頃から保育関連の事柄に関心を持って新聞やテレビ、ネット等を見ておくこと。また、実際の子ども様子をよく見たり、ボランティアに参加したりする等、保育への理解に努めてほしい。 ◎授業中は私語・私事を慎み、将来の保育者としての自覚を持って授業に臨むこと。授業で出された課題を調べたり、話し合ったり、発表したりする等、自ら学ぶ姿勢を持つ。								
成績評価の方法	定期試験 50% レポート 30% 授業参加状況や受講態度 20%					教科書	『保育原理(新しい保育講座)』渡邊英則他(編)ミネルヴァ書房 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』及び各解説書		
						参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義	単位数	2単位
科目名		保育原理Ⅱ			担当教員	牛田 弓子	幼稚園教諭として 実務経験有
全体目標	保育における計画の意義・位置づけや全体的な計画や指導計画とは何かを学ぶ。また、幼児期に育みたい資質・能力を「遊び」を通しての総合的な指導」の中で、どのように捉え育てていくのか、保育内容・方法・環境や保育者のあり方等から考える。諸外国の保育理念について学び、理解を深める。						
一般目標	・全体的な計画や指導計画にはどのようなものがあるかを知り、実践例を通して計画の作成・実践・記録・省察・評価の関係を理解する。 ・保育の基本である「環境を通して行う」中で子どもが育つ環境(特に人的環境)の重要性を学ぶ。 ・子どもが遊びや生活の中で豊かな体験を通じて資質・能力を身につけていく保育の内容・方法について理解する。 ・フレーベル・モンテッソーリ等の保育理念に学ぶ。						
到達目標	・全体的な計画(教育課程、長期・短期指導計画等)の意味や作成・実践・記録・省察・評価の関係を理解できる。 ・子どもが育つ環境(特に保育者の環境構成や言葉かけ等)の重要性が理解できると共に教材の工夫ができる。 ・豊かな体験を通じて一人一人の資質・能力を育んでいくための見通しを持った保育内容や方法、保育者のあり方を理解できる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	保育の計画と実践の原理を考える。 (Ⅰ)教育課程・全体的な計画等			事前学習 (教)91～96Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	②	保育の計画と実践の原理を考える。 (Ⅱ)長期指導計画のたて方と実践・評価等			事前学習 (教)97～102Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	③	保育の計画と実践の原理を考える。 (Ⅲ)短期指導計画のたて方と実践・評価等			事前学習 (教)102～107Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	④	子どもが育つ環境を理解する。 (Ⅰ)物的環境と人的環境の関連について			事前学習 (教)55～59Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑤	子どもが育つ環境を理解する。 (Ⅱ)環境を通しての保育について(保育所保育指針)			事前学習 保育所保育指針5・6Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑥	DVD「光れどろだんご」を視聴して子どもにとっての環境と保育者の関わり方を学ぶ。			事前学習 前回までの子どもの育つ環境を見直しておく。 事後学習 DVDの内容を振り返り要点をレポートにまとめる。		
	⑦	保育内容・方法の原理を考える。 (Ⅰ)保育の基本と保育内容・方法について			事前学習 (教)71～75Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑧	保育内容・方法の原理を考える。 (Ⅱ)子どものための保育内容とは			事前学習 (教)76～83Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑨	保育内容・方法の原理を考える。 (Ⅲ)子どものための保育方法とは			事前学習 (教)84～88Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑩	保育者のあり方を学ぶ。 (Ⅰ)子どもとの関わりの中で求められるもの			事前学習 (教)165～173Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑪	保育者のあり方を学ぶ。 (Ⅱ)保護者との関わりの中で求められるもの			事前学習 (教)174～179Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑫	諸外国の保育理念を考える。(Ⅰ)フレーベル教育			事前学習 フレーベル教育についてネット等で調べておく。 事後学習 DVDの内容を振り返り要点をレポートにまとめる。		
	⑬	諸外国の保育理念を考える。(Ⅱ)モンテッソーリ教育			事前学習 モンテッソーリ教育についてネット等で調べておく。 事後学習 DVDの内容を振り返り要点をレポートにまとめる。		
	⑭	保育の課題と現状を理解する。			事前学習 新聞、ネット等で今の保育の問題点を見つけておく。 事後学習 友達の発表等を振り返りまとめておく。		
	⑮	試験、講評			事前学習 これまでの学びとまとめプリントを確認する。 事後学習 講評の内容を把握する。		
学習上の留意点	◎実習での学びを生かし、子どもが何に気付いたり、どう考えたり、表現したりしているか、また、どんな情緒的な力が育っているかを常にキャッチできる保育者を目ざしてほしい。保育を含めた社会状況に関心をもち、自ら調べる姿勢をもって授業に臨むこと。 ◎グループの話し合いには積極的に参加し、友達の意見を聞いたり、自分の意見をまとめたり、発表したりするように努力すること。						
成績評価の方法	定期試験 50% レポート 30% 授業参加状況や受講態度 20%			教科書	『保育原理(新しい保育講座)』渡邊英則他(編)ミネルヴァ書房 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』及び各解説書		
				参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名	子ども家庭福祉				担当教員	川上 恭代	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	・子ども及び家庭の生活実態及びそれらを取り巻く社会の状況を学び、福祉ニーズ、福祉サービスについて理解を深める。 ・子どもの権利を擁護する視点を確かなものとする。							
一般目標	・子ども家庭福祉に関する制度や法律の成り立ちを社会状況と照らし合わせながら学ぶと共に、体系的に子ども家庭福祉サービスの基礎理論を理解する。							
到達目標	・子どもと家庭に関する福祉サービスの実践等の現状と課題について考え、福祉の専門職としての保育者の役割や専門性について考える。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	子ども家庭福祉の理念と概念			事前学習	教科書P.2～P.10 予習		
					事後学習	理念と概念復習		
	②	子ども家庭福祉の歴史的変遷			事前学習	教科書P.11～P.15 予習		
					事後学習	歴史的変遷の復習		
	③	現代社会と子ども家庭福祉			事前学習	教科書P.16～P.24 予習		
					事後学習	現代社会を取り巻く状況の復習		
	④	子ども家庭福祉の一分野としての保育			事前学習	教科書P.34～P.39 予習		
					事後学習	保育とソーシャルワークの復習		
	⑤	児童の人権擁護と子ども家庭福祉			事前学習	教科書P.39～P.46 予習		
					事後学習	人権擁護の復習		
	⑥	子ども家庭福祉の制度と法体系			事前学習	教科書P.48～P.54 予習		
					事後学習	制度と法体系の復習		
	⑦	子ども家庭福祉行財政と実施機関			事前学習	教科書P.55～P.64 予習		
					事後学習	行財政と実施機関の復習		
	⑧	児童福祉施設等			事前学習	教科書P.65～P.81 予習		
					事後学習	児童福祉施設・専門職の復習		
⑨	少子化と子育て支援サービス			事前学習	教科書P.84～P.91 予習			
				事後学習	子育て支援サービスの復習			
⑩	母子保健と児童の健全育成			事前学習	教科書P.92～P.99 予習			
				事後学習	母子保健と児童の健全育成のしくみの復習			
⑪	多様な保育へのニーズ			事前学習	教科書P.100～P.112 予習			
				事後学習	ニーズへの背景の復習			
⑫	児童虐待防止・ドメスティックバイオレンス			事前学習	教科書P.113～P.121 予習			
				事後学習	児童虐待・DVにおける現状・予防の復習			
⑬	障がいのある子どもと家庭への支援			事前学習	教科書P.129～P.137 予習			
				事後学習	障がいの分類及び支援の復習			
⑭	関係諸機関との連携とネットワーク			事前学習	教科書P.158～P.163 予習			
				事後学習	ネットワークの必要性・構造の復習			
⑮	試験・まとめ			事前学習	試験出題箇所の学習			
				事後学習	試験内容の把握			
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布物はファイルに綴じましょう ・保育者を志す者として、主体的且つ積極的に授業に臨みましょう							
成績評価の方法	・定期試験 70% ・提出物 30%				教科書	『子ども家庭福祉』 澁谷昌史・加藤洋子(編著) 光生館		
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。				参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名	社会福祉				担当教員	横井 直子	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	社会福祉の意義や現状を学び、子ども家庭支援の理解を深める							
一般目標	保育を必要とする子どもとその家庭が置かれている環境（社会）を理解する為、社会福祉の各分野の制度や仕組み、利用者保護について学ぶ							
到達目標	社会福祉の基本理念と動向、課題を学ぶことにより、社会の中で子どもを育てる為に必要な視点を学ぶ。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① 社会福祉とは何か	事前学習 事後学習			自分の身近にある「社会福祉」には何があるのか考えておく 保育領域に近接する社会福祉を覚える			
	② 社会福祉に携わる人々・専門職	事前学習 事後学習			保育士資格とはどのようなものか調べておく 専門職とは何か意見をまとめておく			
	③ 社会福祉の歴史	事前学習 事後学習			保育において功績のある人物を調べる 歴史が現在に与える影響を整理する			
	④ 社会福祉の制度(法律など基本となる制度)	事前学習 事後学習			児童福祉に関わる法律を調べる この回で学んだ主要な法律を覚える			
	⑤ 子ども・家庭に関わる福祉	事前学習 事後学習			児童福祉の抱える時事問題を調べる 家庭の役割とは何か整理する			
	⑥ 障害児・者に関わる福祉	事前学習 事後学習			発達障害についての予習 この回で学んだ概念を整理する			
	⑦ 高齢者福祉	事前学習 事後学習			年金とは何か調べる 年金制度の復習			
	⑧ 中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)	事前学習 事後学習			7回までの内容を見直す 理解できていなかった項目の復習			
	⑨ 地域福祉	事前学習 事後学習			自分の地域にある福祉サービスを調べる 要保護対策協議会について復習			
	⑩ 貧困と社会福祉	事前学習 事後学習			子どもの貧困とは何か調べる 生活保護制度について復習			
	⑪ 社会福祉援助技術(ケースワーク)	事前学習 事後学習			相談とは何か考えておく 相談援助の視点の復習			
	⑫ 社会福祉援助技術(グループワーク等)	事前学習 事後学習			自分の周りの「集団」には何があるか考える 各援助技術の整理			
	⑬ 社会福祉援助技術(連携・虐待防止等)	事前学習 事後学習			虐待とは何か予習 虐待防止の為にできることをまとめる			
	⑭ 保育と社会福祉	事前学習 事後学習			13回目までの内容を振り返る 社会における保育の役割について考える			
	⑮ 試験とまとめ	事前学習 事後学習			各分野の重要項目を説明できるよう整理する 理解不足箇所の確認と復習			
学習上の留意点	知識は、生活の中で考えて場面に応じて使用することにより始めて活かされます。 関心を持ち、積極的に考え、自分の意見を述べてください。							
成績評価の方法	定期試験 60% 中間学習確認 30% 受講態度 10%				教科書	志濃原亜美・編集 「みらい×子どもの福祉ブックス 社会福祉」 株式会社みらい		
					参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		子ども家庭支援論			担当教員	榊原 とよ	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	現代の家族の社会的状況や子育てについての適切な支援のあり方を理解し、地域や関係機関と連携し、子どものための家庭支援の充実について理解する。							
一般目標	①家庭の意義とその機能について理解する。 ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解できる				③子育て家庭の支援体制について理解する ④子育て家庭への支援の展開と関係機関との連携について理解する			
到達目標	①家庭の意義とその機能について理解できる ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解できる				③子育て家庭への支援体制について理解できる ④他機関等の連携について理解できる			
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習	※指針:保育所保育指針		
	①	子どもと家庭を取り巻く環境 「家族構造・家族規模の変化」			事前学習	テキストP11「なぜ子ども家庭支援が求められるようになったか」予習		
					事後学習	演習課題を行い授業を振り返る		
	②	保育者が実践する子ども家庭支援とは 「子ども家庭支援の基本的な考え方」			事前学習	「子ども家庭支援の目的」について予習		
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする		
	③	子育て家庭を支える法・制度及び社会資源			事前学習	「子育て家庭を支えるサービス」について予習		
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする		
	④	保育者に求められる基本的態度及び技術(1) 「相談を受けるときの原則」			事前学習	P63「保育者が心がけるべき基本的態度」について予習		
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする		
	⑤	保育者に求められる基本的態度及び技術(2) 「地域の社会資源との連携」			事前学習	「保育者が知っておくべき地域の社会資源」の予習		
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする		
	⑥	保育者が行う子ども家庭支援の実際 「保育場面における具体的な子育て支援の方法」			事前学習	指針 第4章「子育て支援」について予習		
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする		
	⑦	地域の子育て家庭への支援 「保育所等が行う地域子育て支援」			事前学習	指針「地域の保護者に対する子育て支援」を予習		
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする		
学習上の留意点	⑧	さまざまな子ども家庭の理解と支援 「さまざまな形の家庭と保育士の支援」			事前学習	テキストP103「いろいろな親子と家庭のカタチ」を予習		
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする		
	⑨	さまざまな子ども家庭の理解と支援 「外国とつながりのある子どもの保育と支援」			事前学習	指針 子育て支援 第4章 該当部分を予習		
					事後学習	演習課題を行い授業を振り返る		
	⑩	不適切な養育環境の子どもやその家庭への支援(1) 「保護者のSOS 不適切な養育環境への気づき」			事前学習	テキストP125「子ども虐待に対して保育者としてできることは」予習		
					事後学習	演習課題を行い授業を振り返る		
	⑪	不適切な養育環境の子どもやその家庭への支援(2) 「不適切な養育環境の子どもや家庭における支援の展開」			事前学習	テキストP130「社会資源の活用と連携の必要性」を予習		
					事後学習	演習課題を行い授業を振り返る		
	⑫	発達症障がい児等の理解と家庭への支援			事前学習	テキストP139「障がいとその親子を理解し、どう支援するのか」を予習		
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする		
成績評価の方法	⑬	子どもの貧困の理解と家庭への支援 「子どもの貧困問題における支援の展開」			事前学習	テキストP149「子どもの貧困はなぜ問題なのか」を予習		
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする		
	⑭	保育と家庭支援 「保育が子ども家庭支援に果たす役割」			事前学習	テキストP165～175「保育士が子ども家庭支援に果たす役割」を予習		
				事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする			
	⑮	試験・まとめ			事前学習	テキストまた課題等で学習内容を見直す		
					事後学習	保護者へどのような支援ができるか振り返る		
成績評価の方法	・平常点(受講態度) 20% ・提出物 20% ・定期試験 60% 以上を総合的に評価する。			教科書	『保育と子ども家庭支援』 石動 瑞代 株式会社みらい			
				参考資料	保育所保育指針 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『最新保育士養成講座 子ども家庭支援』 柏女 霊峰 社会福祉法人 全国社会福祉協議会			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名	社会的養護Ⅰ				担当教員	柴田 瞳	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	保育士にとって必要な社会的養護の知識を身につける。							
一般目標	社会的養護を必要とする子どもたちの背景、社会的養護の法制度や体系、援助を行う機関や施設、社会的養護における人権擁護と自立支援、専門職の役割と意義、援助者として必要な視点などについて理解を深める。							
到達目標	1, 社会的養護について学び、用語等を覚える。 2, 学習を通して、自己覚知を行う。 3, 事例などを通して児童養護施設について理解する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	社会的養護とは何か オリエンテーション				事前学習 事後学習	「はじめに」読んでおく 板書内容の確認	
	②	社会的養護とは何か				事前学習 事後学習	p1～11読んでおく 社会的養護とは何か説明できるようにする	
	③	現代社会に暮らす子どもと家庭				事前学習 事後学習	p12～29読んでおく 現代社会の特徴を理解する	
	④	子どもの権利				事前学習 事後学習	p30～44読んでおく 子どもの権利の特徴を理解する	
	⑤	子どもの養護の歴史				事前学習 事後学習	p45～55読んでおく 養護問題の質の変化について理解する	
	⑥	社会的養護の体系:家庭養護と施設養護				事前学習 事後学習	p56～64読んでおく 社会的養護の体系図を頭に入れる	
	⑦	社会的養護の制度				事前学習 事後学習	p65～77読んでおく それぞれの機関の名称・特徴を頭に入れる	
	⑧	施設養護の特質				事前学習 事後学習	p78～87読んでおく 施設養護の役割を理解する	
	⑨	施設養護の基本原則				事前学習 事後学習	p88～97読んでおく 社会的養護の基本理念・原理を理解する	
	⑩	施設養護の実際:日常生活および自立支援				事前学習 事後学習	p98～110読んでおく 生活支援・自立支援について理解する	
	⑪	施設養護の実際:治療的・支援的援助				事前学習 事後学習	p111～120読んでおく 治療的・支援的援助について理解する	
	⑫	施設養護の実際:親子・地域との関係調整				事前学習 事後学習	p121～133読んでおく 家族支援について理解する	
	⑬	事例検討(子どもの自立)				事前学習 事後学習	用語の復習をする 事例について自宅学習する	
	⑭	事例検討(ためし行動)				事前学習 事後学習	プリントの復習をする 事例について自宅学習する	
	⑮	試験・まとめ				事前学習 事後学習	試験出題箇所の学習 試験内容の把握	
	学習上の留意点	・授業に合わせて教科書に目を通すことで、各章の全体を把握しましょう。 ・必ず教科書を持参してください。 ・プリントの記入が十分でない場合は、自宅学習してください。						
成績評価の方法	50% 定期試験	・持ち込み不可			教科書	「社会的養護」 小池由佳／山縣文治(編著) ミネルヴァ書房		
	50% 平常点	・授業参加状況や受講態度等 ・プリント提出の状況と内容						
					参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		子ども家庭支援の心理学Ⅰ				担当教員	近藤 万莉		
全体目標	生涯発達に関する心理学の基礎を踏まえ、家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、子育て家庭をめぐる現状と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する。								
一般目標	子どもの育ちに関する発達心理学的視点、および家族・家庭に関する社会学的視点を学ぶ。 保育者として子どもとその家庭を支援する際の基礎的な知識を習得する。								
到達目標	①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を獲得し、初期経験の重要性、発達課題等を理解する。 ②家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション 発達理論とは				事前学習	シラバスを読む		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	②	生涯発達（１） 乳児期の発達				事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	③	生涯発達（２） 幼児期の発達				事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	④	生涯発達（３） 学童期・青年期の発達				事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	⑤	生涯発達（４） 成人期・老年期の発達				事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	⑥	家族・家庭の理解（１） 家族・家庭の意義と機能				事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	⑦	家族・家庭の理解（２） 親子関係・家族関係の理解				事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	⑧	家族・家庭の理解（３） 子育て経験と親としての育ち				事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑨	子育て家庭に関する現状と課題（１） 子育てを取り巻く社会的状況				事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑩	子育て家庭に関する現状と課題（２） ライフコースと仕事・子育て				事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑪	子育て家庭に関する現状と課題（３） 多様な家族とその理解				事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑫	子育て家庭に関する現状と課題（４） 特別な配慮を要する家庭				事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑬	子どもの精神保健とその課題（１） 子どもの生活・生育環境とその影響				事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑭	子どもの精神保健とその課題（２） 子どもの心の健康に関わる問題				事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑮	試験、まとめ				事前学習	これまでの学びの確認			
					事後学習	試験及び授業全体の振り返り			
学習上の留意点	・ 配布するプリントに授業内容を書き込み、自分なりに授業内容を整理すること。 ・ 日頃から新聞・ニュースなどで子どもを取り巻く社会情勢について関心をもち、知識を蓄え、自分なりの考えや意見を持てるよう心がけること。								
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度	20%	教科書	なし					
	提出物	20%	教科書	プリント資料を配布する。					
	定期試験	60%	参考資料	子ども家庭支援の心理学 子どもの未来を支える家庭支援のあり方を探る ひとなる書房					

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		子ども家庭支援の心理学Ⅱ				担当教員	近藤 万莉		
全体目標	生涯発達、家族・家庭の理解、子育て家庭をめぐる現状と課題、子どもの精神保健とその課題という4つの視点から子どもとその家庭を理解・支援するための学びを深める。								
一般目標	子ども家庭支援の心理学での学びを土台に、保育者として子どもとその家庭を包括的に支援していくための視点を養う。								
到達目標	①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を獲得し、初期経験の重要性、発達課題等を理解する。 ②家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ③子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ④子どもの精神保健とその課題について理解する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① オリエンテーション					事前学習	シラバスを読む		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	② 保育から支援を考える（1） 保育における子育て支援					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	③ 保育から支援を考える（2） 子育て支援センター、地域子育て支援拠点					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	④ 生涯発達から支援を考える（1） 乳児期					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	⑤ 生涯発達から支援を考える（2） 幼児期					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	⑥ 生涯発達から支援を考える（3） 学童期・青年期					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	⑦ 生涯発達から支援を考える（4） 成人期・老年期					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
	⑧ 家族・家庭の理解から支援を考える（1） 親子関係・家族関係					事前学習	配布資料に目を通す		
						事後学習	授業内容の振り返り		
⑨ 家族・家庭の理解から支援を考える（2） 子育ての経験と親としての育ち					事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑩ 子育て家庭をめぐる現状と課題から支援を考える（1） 子育てを取り巻く社会的状況					事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑪ 子育て家庭をめぐる現状と課題から支援を考える（2） 多様な子育て家庭					事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑫ 子育て家庭をめぐる現状と課題から支援を考える（3） 特別な配慮を必要とする家庭					事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑬ 子どもの精神保健とその課題から支援を考える（1） 子どもの心の健康					事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑭ 子どもの精神保健とその課題から支援を考える（2） 発達支援を必要とする子ども					事前学習	配布資料に目を通す			
					事後学習	授業内容の振り返り			
⑮ 試験、まとめ					事前学習	これまでの学びの確認			
					事後学習	試験及び授業全体の振り返り			
学習上の留意点	・授業内でのディスカッションやグループワークに積極的に参加すること。 ・日頃から新聞・ニュースなどで子どもを取り巻く社会情勢について関心をもち、知識を蓄え、自分なりの考えや意見を持てるよう心がけること。								
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度 （グループワークへの取り組み）	30%	教科書	なし プリント資料を配布する。					
	提出物	20%	参考資料						
	定期試験	50%		スギ先生と考える 子ども家庭支援の心理学 萌文書林					

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名		子どもの保健				担当教員	森 美香	看護師・保健師として実務経験有	
全体目標 一般目標 到達目標	・ 子どもの健康増進を図る保健活動の意義と他職種間との連携・協働を理解する。 ・ 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 ・ 子どもの心身の健康状態とその把握方法について理解する。								
	・ 保育場面での保健活動と他職種との連携・協働を知る。 ・ 子どもの心身の特徴と発育・発達を理解する。 ・ 子どもの疾病の予防及び適切な対応ができる。								
	・ 子どもの心身の健康に関わる保健活動の意義と目的が理解できる。 ・ 子どもの生理機能、運動機能を理解する。 ・ 子どもにみられる主な疾患を理解する。								
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	生命保持と情緒安定に関わる保健活動の意義と目的 健康の概念と健康指標				事前学習 事後学習	教科書p9～p13を確認 教科書で復習する		
	②	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題				事前学習 事後学習	教科書p13～p18を確認 教科書で復習する		
	③	生物としての人の成り立ち 乳幼児期の身体発育の概要				事前学習 事後学習	教科書p19～p27を確認 教科書で復習する		
	④	運動機能の発達				事前学習 事後学習	教科書p27～p29を確認 教科書で復習する		
	⑤	呼吸機能・循環機能・免疫機能の発達				事前学習 事後学習	教科書p30～p32を確認 教科書で復習する		
	⑥	消化機能・尿排泄・体温調節機能の発達				事前学習 事後学習	教科書p32～p35を確認 教科書で復習する		
	⑦	内分泌機能・感覚機能・神経機能の発達				事前学習 事後学習	教科書p35～p40を確認 教科書で復習する		
	⑧	発達に即応した基本的生活習慣の形成				事前学習 事後学習	教科書p41～p58を確認 教科書で復習する		
	⑨	健康状態の観察 心身の不調等の早期発見 発育・発達の把握と健康診断 身体発育の評価				事前学習 事後学習	教科書p59～p71を確認 教科書で復習する		
	⑩	子どもの疾病の特徴 感染症と予防接種				事前学習 事後学習	教科書p73～p79を確認 教科書で復習する		
	⑪	感染症 先天異常 アレルギー疾患				事前学習 事後学習	教科書p80～p89を確認 教科書で復習する		
	⑫	消化器疾患 呼吸器疾患 循環器疾患 血液疾患				事前学習 事後学習	教科書p89～p92を確認 教科書で復習する		
	⑬	神経系疾患 腎泌尿生殖器疾患 皮膚疾患				事前学習 事後学習	教科書p92～p95を確認 教科書で復習する		
	⑭	整形外科疾患 内分泌・代謝疾患 SIDS				事前学習 事後学習	教科書p95～p100を確認 教科書で復習する		
	⑮	定期試験 まとめ				事前学習 事後学習	授業で話すポイントを押さえ学習しておく 総復習		
学習上の留意点	・ 初日に話す授業マナーを守りましょう。 ・ 積極的に授業に参加しましょう。								
成績評価の方法	定期試験100%				教科書	『子どもの保健』 中根淳子他編 ななみ書房			
					参考資料	必要に応じて適宜配布する。			

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	通年	授業形態	演習	単位数	2単位	
科目名	子どもの食と栄養				担当教員	加藤 美紀子	栄養士として 実務経験有	
全体目標	乳幼児を健康でたくましく育てるために、保育者として食と栄養についての幅広い知識と実践を身に付け、一人ひとりの「食べる力」を支援できる保育士の養成をめざす。							
一般目標	1 基礎的な栄養知識を身に付け、実際に調理技術を身に付け、食を提供できるようにする。 2 子どもの食生活の問題点や、食の安全性、現代の小児を持つ家庭の食生活の現状を把握し子どもへの食の提供を考えられるようにする。							
到達目標	1 人間の身体と栄養のつながりをしっかり学習をする。 2 自分自身の食生活の状態を顧みて、普段の食を大切にする。 3 子どもや、保護者へ適切な食育ができるように、「子どもの食と栄養」を学ぶ。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	人と食べ物の関係				事前／事後	自分と食を考える/再度食を考える	
	②	子どもの食生活の特徴と現状と課題				事前／事後	テキストP2～9予習/食生活の課題	
	③	環境がもたらす子どもの身体への影響				事前／事後	テキスト9～10予習/環境汚染の復習	
	④	食物中の栄養素の役割				事前／事後	テキストP12～15予習/栄養素の働き復習	
	⑤	炭水化物 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP16～22予習/機能と摂り方復習	
	⑥	脂質 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP22～27予習/機能と摂り方復習	
	⑦	たんぱく質 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP27～31予習/機能と摂り方復習	
	⑧	ミネラル 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP32～36予習/機能と摂り方復習	
	⑨	ビタミン 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP37～41予習/機能と摂り方復習	
	⑩	水分の機能・食べ物の消化と吸収・栄養素の代謝				事前／事後	テキストP42～48予習/消化・吸収復習	
	⑪	献立の立て方				事前／事後	テキストP49～55予習/献立作成をする	
	⑫	調理の基本 調理法・調味料の役割				事前／事後	テキストP56～62/料理体験をしてみる	
	⑬	衛生管理 食中毒と予防・食品の表示制度				事前／事後	テキストP62～65予習/食中毒の種類復習	
	⑭	子どもの食行動の発達				事前／事後	テキストP68～77/食行動の変化復習	
	⑮	前期定期試験・講評				事前／事後	試験の勉強/講評の内容の把握	
	⑯	胎児期(妊娠期)の食生活				事前／事後	テキストP78～90予習/母体の変化復習	
	⑰	乳児期の食生活 母乳栄養法				事前／事後	テキストP91～101予習/母乳の利点復習	
	⑱	乳児期の食生活 人工栄養法・混合栄養法				事前／事後	テキストP102～113予習/調乳の注意点復習	
	⑲	離乳の必要性和進め方				事前／事後	テキストP114～117予習/必要性復習	
	⑳	離乳食の食品と調理方法				事前／事後	テキストP117～121予習/幼児の食行動復習	
	㉑	幼児期の食生活の特徴				事前／事後	テキストP122～130予習/食生活の問題点復習	
	㉒	幼児期の間食				事前／事後	テキストP129～131/適切な間食を調べる	
	㉓	幼児期の食生活の問題点				事前／事後	テキストP131～135予習/問題点の復習	
	㉔	学童期の食生活 特徴と問題点				事前／事後	テキストP136～143予習/問題点の復習	
	㉕	生涯発達と食生活 思春期・成人期・高齢期				事前／事後	テキストP144～152予習/問題点復習	
	㉖	食育の基本と内容 保育所における食育				事前／事後	テキストP154～163予習/保育所における食育	
	㉗	家庭や児童福祉施設における食事と栄養				事前／事後	テキストP1170～188予習/問題点と課題	
	㉘	特別な配慮を要する子どもの食と栄養				事前／事後	テキストP190～200予習/体調不良対応復習	
	㉙	食物アレルギー・障害のある子どもへの対応				事前／事後	テキストP200～218予習/アレルギー対応復習	
	㉚	後期定期試験・講評				事前／事後	試験の勉強/講評の内容の把握	
	学習上の留意点	・ 普段の自らの食生活を子どもの食と栄養を学びながら考え直して行く。 ・ 「食べる」ということを正しい関心を持つために意欲的に基礎知識を習得し、さらに調理技術を身に付けるよう努力をする。 ・ 課題の提出を必ず守る。						
	成績評価の方法	定期試験 70% 提出物 30% 平常点（授業参加状況や受講態度など）勘案する。	教科書	前期・後期 最新子どもの食と栄養 学建書院				
		参考資料	「家族の勝手にしょ！」 岩村暢子 新潮社 五訂 日本食品成分表					

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	講義		単位数	2単位
科目名	乳児保育Ⅰ				担当教員	川合 真由美 吉村 壽子	保育士として 実務経験有	
全体目標	「乳児保育」の意義・目的と歴史的変遷及び役割について理解する。保育所・乳児院など多様な保育の場における「乳児保育」の現状と課題について理解する							
一般目標	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制について把握する。「乳児保育」における職員間の連携・協働及び保護者・地域の関係機関との連携について理解する							
到達目標	「乳児保育」の意義・目的を理解し、「乳児保育」の現状と課題について理解する							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① 「乳児保育」の意義・目的と歴史的変遷				事前学習	「乳児保育」について問題意識を持つ		
					事後学習	授業の進め方を確認する		
	② 3歳未満児の育ちと家庭を取りまく環境と子育て支援				事前学習	3歳未満児の育つ環境に関心を持つ		
					事後学習	「乳児保育」の現状や課題を理解する		
	③ 保育所における「乳児保育」・小規模保育・その他の乳児の保育				事前学習	保育所や小規模保育などに関心を持つ		
					事後学習	保育所や小規模保育の現状を理解する		
	④ 0・1・2歳児の発達と保育内容				事前学習	0・1・2歳児の発達と保育内容に関心を持つ		
					事後学習	0・1・2歳児の発達と保育内容を理解する		
	⑤ 0・1・2歳児の生活と環境(育児担当制と食事)				事前学習	乳児クラスの生活の場としての環境に興味を持つ		
					事後学習	乳児クラスの生活の場としての環境を理解する		
	⑥ 0・1・2歳児の生活と環境(流れる日課と睡眠)				事前学習	乳児クラスの生活の場としての環境に興味を持つ		
					事後学習	乳児クラスの生活の場としての環境を理解する		
	⑦ 0・1・2歳児の生活と環境(排泄と着脱)				事前学習	乳児クラスの生活の場としての環境に興味を持つ		
					事後学習	乳児クラスの生活の場としての環境を理解する		
	⑧ 0歳児の遊びと環境				事前学習	0歳児の遊びと環境について興味を持つ		
				事後学習	0歳児の遊びと環境について理解する			
⑨ 1歳児の遊びと環境				事前学習	1歳児の遊びと環境について興味を持つ			
				事後学習	1歳児の遊びと環境について理解する			
⑩ 2歳児の遊びと環境				事前学習	2歳児の遊びと環境について興味を持つ			
				事後学習	2歳児の遊びと環境について理解する			
⑪ 乳児にとっての遊びとおもちゃの役割				事前学習	乳児にとってのおもちゃを把握しておく			
				事後学習	乳児にとっての遊びやおもちゃの役割を理解する			
⑫ 健康および安全				事前学習	「乳児保育」における危機管理の情報を把握しておく			
				事後学習	健康・安全に対する重要性を理解し知識を身に着ける			
⑬ 職員間の連携・協働				事前学習	複数担任で保育をすることの意味を考える			
				事後学習	職員間の連携・協働の重要性を理解する			
⑭ 乳児保育における全体的な計画				事前学習	保育計画と記録の必要性に関心を持つ			
				事後学習	保育記録の重要性を理解する			
⑮ 試験、講評				事前学習	授業の復習をしておく			
				事後学習	試験内容について振り返る			
学習上の留意点	時間を守る・提出物は速やかに出す・人の話には耳を傾ける ・プリントは1冊のファイルにまとめる							
成績評価の方法	授業参加状況・受講態度 30% 試験成績 70%				教科書	講義で学ぶ乳児保育 小山朝子 わかば社 2021		
					参考資料	平成30年保育所保育指針解説書		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		乳児保育Ⅱ			担当教員	森 節子		保育士として 実務経験有	
全体目標	3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について学ぶ。								
一般目標	養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する。								
到達目標	乳児保育における配慮の実践について具体的に理解する								
授業の ながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習				
	①	乳児保育Ⅰの振り返り 乳児保育における保育者の専門性			事前学習	乳児保育Ⅰの振り返りをしておく			
					事後学習	乳児保育の保育者の専門性について理解をする			
	②	乳児保育の育児担当制			事前学習	育児担当制について調べる			
					事後学習	育児担当制について理解する			
	③	3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実践①(おむつ替え、おんぶ・着替え)			事前学習	着替えとおむつ替えの復習、おんぶの仕方を調べておく			
					事後学習	着替えとおむつ替え、おんぶのポイントの理解をする			
	④	3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実践②(ミルクと離乳食の援助・睡眠)			事前学習	授乳、離乳食の援助の復習			
					事後学習	授乳、離乳食の援助のポイントについて理解する			
	⑤	家庭との連携・連絡帳の書き方			事前学習	連絡帳について調べる			
					事後学習	連絡帳の書き方のポイントを把握する			
	⑥	保護者との相互理解と連携 ドキュメンテーション作成の意義			事前学習	ドキュメンテーションについて調べる			
					事後学習	視聴したDVDの中の、子どもの育ちについて考える			
	⑦	ドキュメンテーション作成			事前学習	視聴したDVDの中の、子どもの育ちをまとめておく			
					事後学習	他者のドキュメンテーションから学ぶ			
学習上の 留意点	⑧	個別の計画と集団の計画			事前学習	指導計画について調べる			
					事後学習	個別の指導計画について理解する			
	⑨	人形・絵本を使った保育場面・保育内容を計画する			事前学習	指導計画の書き方について調べておく			
					事後学習	指導計画の書き方について理解をする			
	⑩	指導計画の模擬保育			事前学習	模擬保育の準備			
					事後学習	模擬保育についての評価・反省			
	⑪	保育に役立つ手作り玩具づくり			事前学習	3歳未満児の発達について復習しておく			
					事後学習	手作り玩具を完成、教材研究をする			
	⑫	手作りおもちゃの発表			事前学習	作成した玩具を発表する準備をする			
					事後学習	他者の玩具から学び、3歳未満児との発達について振り返る			
成績評価の方法	⑬	子育て支援			事前学習	子育て支援の復習			
					事後学習	子育て支援の重要性について理解する			
	⑭	子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮			事前学習	乳児保育における危機管理について調べる			
				事後学習	乳児保育における危機管理について理解する				
	⑮	試験・まとめ			事前学習	授業の復習をしておく			
					事後学習	試験内容について振り返る			
成績評価の方法	・定期試験60% ・平常点 40% 受講態度 グループワークや演習活動参加姿勢・態度 提出物				教科書	講義で学ぶ乳児保育 わかば社			
					参考資料	保育所保育指針 「乳児保育Ⅰ・Ⅱ」児童育成協会監修 中央法規 乳児保育Ⅰ・Ⅱ児童育成協会監修 中央法規			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		子どもの健康と安全				担当教員	森 美香	看護師・保健師として実務経験有	
全体目標	- 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 - 子どもの体調不良等に対する適切な対応について理解する。 - 子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画や評価について理解する。								
一般目標	- 保育における保健活動の内容を理解する。 - 保育における保健的対応に関連する各種ガイドラインを理解する。								
到達目標	- 心身の健康に関する保健活動や環境を理解する。 - 体調不良などに対する適切な対応を理解する。 - 感染症対策、衛生管理、および安全管理・教育についての取り組みを理解する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	子どもの健康と保育環境 オリエンテーション				事前学習	教科書p1～p2を確認		
						事後学習	教科書で復習する		
	②	子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康および安全の管理				事前学習	教科書p2～p10を確認		
						事後学習	教科書で復習する		
	③	衛生管理				事前学習	教科書p11～p22を確認		
						事後学習	教科書で復習する		
	④	事故防止および安全対策				事前学習	教科書p23～p36を確認		
						事後学習	教科書で復習する		
	⑤	危機管理と災害への備え				事前学習	教科書p37～p46を確認		
						事後学習	教科書で復習する		
	⑥	体調不良や傷害が発生した場合の対応				事前学習	教科書p47～p72を確認		
						事後学習	教科書で復習する		
	⑦	子どもと薬				事前学習	教科書p73～p77を確認		
						事後学習	教科書で復習する		
	⑧	応急手当と一次救命処置				事前学習	教科書p78～p113を確認		
					事後学習	教科書で復習する			
⑨	感染症の集団発生の予防 予防接種				事前学習	教科書p114～p137を確認			
					事後学習	教科書で復習する			
⑩	感染症発生時と罹患後の対応				事前学習	教科書p138～p143を確認			
					事後学習	教科書で復習する			
⑪	保育における保健的対応の基本的な考え方				事前学習	教科書p144～p175を確認			
					事後学習	教科書で復習する			
⑫	3歳未満児への対応				事前学習	教科書p175～p207を確認			
					事後学習	教科書で復習する			
⑬	個別的な配慮を要する子どもへの対応 障害をもつ子への対応				事前学習	教科書p207～p236を確認			
					事後学習	教科書で復習する			
⑭	健康および安全の管理の実施体制				事前学習	教科書p238～p250を確認			
					事後学習	教科書で復習する			
⑮	定期試験 まとめ				事前学習	授業で話すポイントを押さえ学習しておく			
					事後学習	総復習			
学習上の留意点	・演習の内容によりエプロン・タオル、のり、ハサミ等を持参していただくことがあります。 ・持ち物は授業時に伝達いたします。 ・積極的な態度で演習に臨んでください。								
成績評価の方法	・定期試験50% ・受講態度(演習に臨む姿勢・準備・取組・片付け・振返り)50%				教科書	『これだけはおさえて!保育者のための子どもの健康と安全』 鈴木美枝子編 創成社			
					参考資料	必要に応じて適宜配布する。			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		障がい児保育				担当教員	小川 潤子	保育士として実務経験有	
全体目標	障がいのある子どもへの理解を深めるために、障がいをどのように捉えるのかについて学ぶ、また、幼稚園・認定こども園・保育所等で共に過ごす集団生活の中で、障がい特性を理解する。								
一般目標	障がいのある子の障がいの特性および心身の発達の理解をする。								
到達目標	・インクルーシブ保育を含む障がい児保育に関する制度や理念のしくみを理解している。 ・発達障害や知的障がいをはじめとする障害のある子特性およびの心身の発達の理解している。 ・さまざまな障害のある子の発達、生活上の困難について、基礎的な知識を身につけている。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション 障がいのある子どもの保育の考え方(概要と歴史)				事前学習	シラバスを確認する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	②	「障がい」の概念・障がい児保育の基本				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	③	発達とは・脳の構造と発達及び障がい				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	④	障がい児保育における発達の援助				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	⑤	感覚統合の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	⑥	視覚・聴覚障がい・言語障がい児の理解と援助				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	⑦	肢体不自由児の理解と援助				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	⑧	知的障がい児の理解と援助				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する			
⑨	発達障がいの理解 (自閉スペクトラム症)DVD「星の国から孫二人」視聴				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	DVDの中の子どもの特徴・援助を記入			
⑩	発達障がいの理解と援助 DVD視聴の中の特徴・援助等記入				事前学習	DVDの復習し援助の方法を振り返る			
					事後学習	援助や保護者支援について理解する			
⑪	発達障がい児の理解と援助 DSM5の理解と具体的な援助方法				事前学習	DVDの復習を援助の方法を振り返る			
					事後学習	援助の方法等を復習する			
⑫	気になる子のエピソード記録と経験交流 気になる子の様子と保育者の関り(事例理解)				事前学習	実習で気になる子のエピソードを準備する			
					事後学習	経験交流から学ぶ			
⑬	発達障がい児の理解と援助 ADHD/SLDの理解と具体的な援助方法				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	授業内容を復習する			
⑭	インクルーシブ保育の理解 重症心身障がい児、医療ケア児の理解と援助				事前学習	医療的ケア児・重症心身障がい児について調べる			
					事後学習	授業内容を復習する			
⑮	試験・まとめ				事前学習	授業の復習			
					事後学習	試験の内容を振り返る			
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所自分で線で引いたり、追記したりすること。 ・話し合いには積極的に参加し、自分の意見を持つこと。								
成績評価の方法	・定期試験70% ・平常点 30% 受講態度 グループワークや演習活動参加姿勢・態度 提出物					教科書	「障がい児保育」 小橋明子監修 中山書店		
						参考資料	「実践に生かす障がい児保育」 前田 泰弘 編 萌文書林 「自閉症児のための絵で見る構造化」佐々木正美 「特別支援教育・保育概論」 尾野明美・小湊真衣・奥田訓子 編著 萌文書林 他		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		障がい児保育				担当教員	小川 潤子	保育士として 実務経験有	
全体目標	障がいのある子の遊び及び生活上の困難を理解し、個別のニーズに対して、他の職員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくための必要な知識や援助方法を理解する。								
一般目標	・障がいのある子の支援方法について、簡単な例示することができる。 ・障がいのある子の計画及び援助の方法を理解する。 ・様々な配慮を必要とする子の遊び又は生活上の困難と対応を理解する。								
到達目標	・個別の指導計画及び支援計画を作成する意義と方法を理解している。 ・関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解している。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	※保育所保育指針		
	①⑬	オリエンテーション バリアフリーとユニバーサルデザイン				事前学習	シラバスを読む・1年の復習		
						事後学習	生活の中のユニバーサルデザインを見つける		
	①⑭	障がい児保育の実際 (疑似体験をする)				事前学習	1年の復習		
						事後学習	障がいのある子の気持ちを考え援助方法を考える		
	①⑮	障がい児保育の実際 全体的な計画から指導計画及び個別の支援計画				事前学習	全体的な計画について※指針を読む		
						事後学習	計画の重要性を理解する		
	①⑯	障がい児保育の実際 個別の指導計画について				事前学習	指導計画の立案について予習する		
						事後学習	指導計画の立案について理解する		
	②⑰	障がい児保育の実際 事例から指導計画をグループで作成				事前学習	支援の方法を考える		
						事後学習	グループで計画に必要なものを準備する		
	②⑱	障がい児保育の実際 指導計画をグループで発表				事前学習	グループ発表に必要なものを準備する		
						事後学習	他グループから学ぶ		
	②⑲	実習で出会った配慮を必要とする子の意見交流及びエピソード記述記入				事前学習	エピソードの準備		
						事後学習	他学生の発表から学ぶ		
	②⑳	エピソード記述より事例検討・発表				事前学習	支援について復習しておく		
						事後学習	他学生から学んだことを復習する		
	③⑰	障がい児保育の実際 個々の発達を促す生活や遊びの環境				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	③⑱	保育実習で出会った配慮を必要とする子のエピソード記述 グループワーク				事前学習	エピソードの準備		
					事後学習	他学生から学んだことを復習する			
③㉑	障がい児保育の実際 子ども同士の関わりと育ち合い				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	授業内容を復習する			
③㉒	障がい児保育の実際 職員間の連携				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	授業内容を復習する			
③㉓	保護者や家族に対する理解と支援				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	授業内容を復習する			
③㉔	小学校・地域における自治体や関係機関との連携 障がい児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	授業内容を復習する			
③㉕	試験・まとめ				事前学習	1. 2年の復習			
					事後学習	試験の内容を振り返る			
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。 ・話し合いには積極的に参加し、自分の意見を持つこと。								
成績評価の方法	・定期試験50% ・平常点 50% 受講態度 グループワークや演習活動参加姿勢・態度 提出物					教科書	「障がい児保育」 小橋明子監修 中山書店		
						参考資料	『実践に生かす障がい児保育』 前田 泰弘 編 萌文書林 「自閉症児のための絵で見る構造化」佐々木正美 「特別支援教育・保育概論」 尾野明美・小湊真衣・奥田訓子 編著 萌文書林 他		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		社会的養護Ⅱ				担当教員	寺井 陽一		児童養護施設職員として実務経験有
全体目標	保育士は、保育所以外にも乳児院、児童養護施設、障害児施設などさまざまな施設で必要とされている。そこで働く上で必要な専門性を身につけてほしい。								
一般目標	①施設に対する基礎的な知識を学ぶ。 ②児童養護施設に入所する児童の入所経緯や家族背景の理解を深める。 ③子どもの自立に向けての援助のあり方、親に対するアプローチを通しての支援のあり方を学ぶ。								
到達目標	施設に対する基礎的な理解や職場での人間関係のあり方の理解を深め、社会人に向けての自覚を高めていきたい。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① 自己紹介 社会的子育てを考える					事前学習	自己PRを考える		
						事後学習	配布プリント確認		
	② 自己紹介 保育所以外で保育士が活躍する現場					事前学習	自己PRを考える		
						事後学習	配布プリント確認		
	③ 児童養護施設で生活する子どもたち 児童養護施設のDVDを見る					事前学習	児童養護施設を調べる		
						事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	④ 虐待を受けた子どもたち 小規模児童養護施設・ファミリーホームのDVDを見る					事前学習	配布プリント下読み		
						事後学習	DVDを見た感想・意見を書く		
	⑤ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース1、ケース2) 名古屋市名東区中2男子暴行死事件の検証					事前学習	配布プリント下読み		
						事後学習	中2男子暴行死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑥ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース3、ケース4) 大阪2幼児放置死事件の検証					事前学習	配布プリント下読み		
						事後学習	2幼児放置死事件を読んだ感想・意見を書く		
	⑦ 職員に求められる援助技術 乳児院のDVDを見る					事前学習	配布プリント下読み		
						事後学習	乳児院のDVDを見た感想・意見を書く		
	⑧ 施設内での子どもへの援助のあり方 アドミッションケアとインケアの基礎理解					事前学習	配布プリント下読み		
						事後学習	配布プリント確認		
	⑨ 子どもの自立に向けての援助のあり方 リービングケアとアフターケアの基礎理解					事前学習	配布プリント下読み		
					事後学習	配布プリント確認			
⑩ 問題行動への対応 児童養護施設のDVDを見る事例を通して理解を深める(教科書P118～122)					事前学習	問題行動の実例の例を考える			
					事後学習	問題行動の実例の対応策を考える			
⑪ 性と生についての取り組み 性の関するQ&A					事前学習	配布プリント下読み			
					事後学習	性に関するQ&Aの復習			
⑫ 愛着障害について、愛着障害児との治療的な関わり					事前学習	配布プリント下読み			
					事後学習	愛着障害についてまとめる			
⑬ 施設と地域社会との関わり(ボランティア)活動を通して考える 自立支援計画の作成例を考える					事前学習	配布プリント下読み			
					事後学習	自立支援計画を作成する			
⑭ 自立支援計画を発表する 施設実習に向けて・・・施設職員とは、職場の人間関係のあり方					事前学習	実習の抱負を箇条書きにする			
					事後学習	実習の課題をまとめる			
⑮ 試験、まとめ					事前学習	テスト(小論文)を考える			
					事後学習	総復習			
学習上の留意点	授業は、虐待を受けた子ども達が施設に入所してどんな生活をしていくのか、入所後どのように自立に向けてステップを踏んでいくのかを中心に進めていきます。それに合わせて、職員の援助・支援の在り方や子どもの理解を深めていってほしいと思っています。 *授業中に知り得た児童・家族等に関する情報は、守秘すること								
成績評価の方法	定期試験の結果				60%	教科書	『児童の社会的養護内容』 神戸賢次・喜多一憲編		
	小レポート				20%				
	授業参加状況・受講態度				20%	参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		児童文化			担当教員	桃乃 カナコ		保育士として実務経験有	
全体目標	様々な児童文化財に触れ、実践を通して子どもたちの心身の成長に大切な役割を果たすことを知る。								
一般目標	伝承遊び・絵本・紙芝居・パネルシアター・人形劇など具体的な遊びや演出法を習得する。								
到達目標	①伝統的な遊びを学び、習得する。 ②児童文化財の必要性について理解し、積極的に保育に生かす姿勢を持つ。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① わらべ歌・手遊びの魅力・実技					事前学習	わらべ歌・手遊びを練習する		
						事後学習	実技を確認・復習をする		
	② 伝承遊び(折り紙等)					事前学習	折り紙を準備、練習をする		
						事後学習	実技を確認・復習をする		
	③ 伝承遊び(あやとり、けん玉等)					事前学習	あやとり等を準備・練習をする		
						事後学習	実技を確認・復習をする		
	④ 絵本・紙芝居の選び方・読み聞かせ実技					事前学習	絵本・紙芝居を準備、練習をする		
						事後学習	実技を確認・復習をする		
	⑤ 紙芝居制作					事前学習	紙芝居の材料を準備する		
						事後学習	紙芝居の制作をする		
	⑥ 紙芝居発表					事前学習	紙芝居の読み聞かせを練習する		
						事後学習	指摘箇所の確認をする		
	⑦ 紙芝居発表・大型かるた制作					事前学習	どんな絵柄を描くか決めておく		
						事後学習	かるたの絵札を完成させる		
	学習上の留意点	⑧ パネルシアター制作・実技					事前学習	パネルシアターの材料を準備する	
						事後学習	実技を確認・復習をする		
⑨ パペット制作						事前学習	パペットの材料を準備する		
						事後学習	パペットを制作する		
⑩ かるた大会						事前学習	絵札を提出する		
						事後学習	実技を確認・復習をする		
⑪ お楽しみ会(内容話し合い)						事前学習	出し物を調べておく		
						事後学習	台本を確認し配役を決めておく		
⑫ お楽しみ会(制作)						事前学習	出し物の展開を確認しておく		
						事後学習	制作の材料を準備する		
成績評価の方法	⑬ お楽しみ会(制作仕上げ)					事前学習	制作を進めておく		
						事後学習	制作を仕上げる		
	⑭ お楽しみ会(演習)					事前学習	発表の準備をする		
						事後学習	細かい部分の確認をする		
		授業参加状況や受講態度 50%、定期試験(実技) 50%				教科書			
					参考資料	演習 児童文化 萌文書林			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		子育て支援			担当教員	榊原 とよ		幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	社会の変化に伴い孤立し、不安を抱える保護者が増加している昨今、幼稚園、保育所の役割として子どもの保育に加え、保護者支援も求められるようになった。保育現場における子どもの問題の捉え方を理解し、保護者からの相談に応じるために必要となる相談に関する基本的な知識と技能を習得することを目標とする。								
一般目標	・子どもの育ちにつながる子育て支援のあり方とその意義について理解する。 ・子育て支援における保育者の役割と職務内容について把握する。 ・さまざまな人と連携した支援方法の基礎を習得する。								
到達目標	・子育て支援の概要と意義について理解できる。 ・子育て支援のプロセスについて事例を参考にしながら自分なりに理解することができる。 ・事例を分析することで保護者支援への理解を深める。 ・子育て支援の方法・技術について知識を深める。								
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習	※指針とは、保育所保育指針のこと。			
	①	子育て支援とは 子育て支援の制度的な基盤について理解する			事前学習 事後学習	シラバスの概要を読む。 授業内容の振り返りを行う。			
	②	子育て支援の意義 子育て支援が求められる社会的背景を把握する			事前学習 事後学習	指針「保育士の専門性」を読んでくこと。 保育士の専門性を生かした支援とは何かについてまとめる。			
	③	子育て支援の基本 信頼関係を築くための心構えや態度を習得する			事前学習 事後学習	配布資料に目を通し予習のこと。 「児童の権利に関する条約」を読み内容を整理する。			
	④	子育て支援の基本的姿勢 保指に示された支援を行うための姿勢を習得する			事前学習 事後学習	指針「保護者に対する支援」を読んでくこと。 演習課題を行い授業内容の振り返りを行う。			
	⑤	子育て支援の基本的技術 支援に必要なコミュニケーション技法を理解する			事前学習 事後学習	指針「保育所における保護者に対する支援の基本」を読む。 演習課題を行い授業内容の振り返りを行う。			
	⑥	園内・園外の連携と社会資源 事例：虐待傾向にある母子家庭			事前学習 事後学習	指針「相談助言におけるソーシャルワークの機能」を読む。 演習課題を行い授業内容の振り返りを行う。			
	⑦	記録・評価・研修 事例：ステップファミリー			事前学習 事後学習	指針「関係機関との連携・協力」を予習する。 社会資源に関する情報提供ができるようまとめておく。			
	⑧	日常会話を活用した子育て支援 事例：かみつきによるトラブルと対応			事前学習 事後学習	指針「保護者に対する支援」を読む。 演習課題を行い授業内容の振り返りを行う。			
	⑨	文書を活用した子育て支援 事例：アレルギーのある子どもとその家庭			事前学習 事後学習	子どもの保育に関連した支援とはどのような内容か考えてくる。 演習課題を行い授業内容の振り返りを行う。			
	⑩	行事などを活用した子育て支援 保護者参加行事等の意義について理解する			事前学習 事後学習	保針・幼保教保育要領「保護者に対する子育ての支援」を読む。 演習課題を行い授業内容の振り返りを行う。			
	⑪	環境を活用した子育て支援 環境を通した子育て支援の方法の基本を理解する			事前学習 事後学習	前回の授業内容の振り返りをしておく。 保護者支援のプロセスを振り返り理解を深めておく。			
	⑫	地域子育て支援拠点における支援 事例：地域とのつながりが 薄い若い保護者			事前学習 事後学習	指針「障害や発達に課題がみられる保護者への支援」を読む。 演習課題を行い授業内容の振り返りを行う。			
	⑬	入所施設における子育て支援 事例：精神的な疾患をかかえる保護者			事前学習 事後学習	指針「保護者に倒れる個別支援」を読む。 演習課題を行い授業内容の振り返りを行う。			
	⑭	通所施設における子育て支援 事例：障がいのある子どもとその家庭			事前学習 事後学習	指針「不適切な養育が疑われる場合の支援」を読む。 事例を振り返り授業内容をまとめる。			
	⑮	試験・まとめ			事前学習 事後学習	配布資料また復習で提示した学習内容を見直す。 資料を整理し保護者への支援ができるよう見直しておく。			
学習上の留意点	・子どもを取り巻く社会の動きに関心をもつ。 ・保育者として子育て支援ができるよう、授業に積極的に臨むこと。 ・演習には積極的に参加し、他者の意見や自分の意見をまとめる力がつくよう取り組むこと。								
成績評価の方法	・平常点(受講態度) 20% ・提出物 20% ・定期試験 60% 以上を総合的に評価する。				教科書	なし プリント資料を配布する。			
					参考資料	『保育所保育指針解説』 フレーベル館 2018 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館 2018 『子育て支援』 二宮裕子 萌文書林 『保育相談支援』 吉田眞理 青踏社			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		音楽基礎			担当教員	藤田 桂子			
全体目標	子どもの音楽的表現を援助し、引き出すための、音楽全般における基礎的な知識を習得する。 子どもの歌を伸びやかに歌唱するために必要な発声、発音、表現を学習する。								
一般目標	音楽についての基礎的な知識を習得し、自身の演奏に生かすことができる。 子どもの歌の歌唱表現について学習し、子どもにとって心地よい発声、正しい日本語の発音、生き生きとした表現など、子どもの感性の芽生えを支えることのできる歌唱の力を身に着ける。								
到達目標	楽典の基礎について理解し、演奏に反映できる。 子どもの歌を表情豊かにのびのびと歌唱できる。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① 保育者と音楽 子どもの音楽表現を引き出すために必要な学習とは					事前学習 事後学習	自身の音楽経験について確認しておく 配布課題		
	② 楽典(1)譜表と音名 歌唱の基礎(1)呼吸と姿勢・生活の歌					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	③ 楽典(2)音符と休符 歌唱の基礎(2)季節の歌「春1」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	④ 楽典(3)リズムと拍子 歌唱の基礎(3)季節の歌「春2」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑤ 楽典(4) 記号、用語 歌唱の基礎(4)季節の歌「夏1」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑥ 楽典(5)音程1 歌唱の基礎(5)季節の歌「夏2」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑦ 楽典(6) 音程2 歌唱の基礎(6)季節の歌「秋1」					事前学習 事後学習	テスト準備 設問部分の回答・歌の復習		
	⑧ 楽典(7)確認テスト 歌唱の基礎(7)季節の歌「秋2」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑨ 楽典(8)音階1 歌唱の基礎(8)季節の歌「冬1」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑩ 楽典(9)音階2 歌唱の基礎(9)季節の歌「冬2」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑪ 楽典(10)調1 歌唱の基礎「行事の歌1」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑫ 楽典(11)調2 歌唱の基礎(11)「行事の歌2」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑬ 楽典(12)和音とコードネーム1 歌唱の基礎(12)「そのほかの歌」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑭ 楽典(13)和音とコードネーム2 歌唱の基礎(13)「課題曲」					事前学習 事後学習	教科書の該当部分を読み込む 設問部分の回答・歌の復習		
	⑮ 楽典(14)模擬試験 歌唱の基礎(14)「試験」					事前学習 事後学習	テスト準備 模擬試験プリントの復習		
学習上の留意点	保育者にとって必要な音楽の知識を確実に習得するために、毎回の復習を欠かさないこと。 楽典の知識を演奏に生かすことができているかを常に意識すること。 子どもの歌の歌唱については、自身の歌唱が子どもにとってどのように聞こえているかを常に意識し、レパートリーを増やすこと。								
成績評価の方法	授業に対する意欲、受講態度20% 授業内試験30% 筆記試験50% 以上の総合的評価とする				教科書	音楽の基礎と表現～楽典とソルフェージュ～/楠井淳子/ふくろう出版 幼児のうたとあそび/桐生敬子・若原真由子/みらい			
					参考資料	幼稚園教育要領・幼稚園教育要領解説(最新版) 保育所保育指針・保育所保育指針解説(最新版) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(最新版)			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		ピアノ実技Ⅰ			担当教員	桐生・卯野・笠木・守屋他		ピアノ講師として 実務経験有	
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の一つである、ピアノ演奏の基礎技術力と知識を身につける。								
一般目標	ピアノの基本的な奏法を習得するとともに、読譜力を中心とした音楽理論を理解する。								
到達目標	個人レッスンでは習熟度別にピアノ演奏の基礎技術を身につけ、向上させる。 グループ授業では音楽基礎で学んだ理論の知識を深める。								
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	全体ガイダンス・楽器の取り扱い方・練習開始曲の決定				事前学習	シラバスの確認・器楽学習歴調査		
						事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(StepⅠA-1、StepⅡB-1など) グループ授業(譜表と音名)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(StepⅠA-2、StepⅡB-2など) グループ授業(音符と休符)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(StepⅠA-3、StepⅡB-3など) グループ授業(リズムと拍子)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(StepⅠA-4、StepⅡB-4など) グループ授業(記号・用語)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(StepⅠA-5、StepⅡB-5など) グループ授業(音程1)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(StepⅠA-6、StepⅡB-6など) グループ授業(音程2)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑧	個人レッスン(StepⅠA-7、StepⅡB-7など) グループ授業(前半のまとめ)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑨	個人レッスン(StepⅠA-8、StepⅡB-8など) グループ授業(音階1)				事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
⑩	個人レッスン(StepⅠA-9、StepⅡB-9など) グループ授業(音階2)				事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
⑪	個人レッスン(StepⅠA-10、StepⅡB-10など) グループ授業(調1)				事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
⑫	個人レッスン(StepⅠA-11、StepⅡB-11など) グループ授業(調2)				事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	指摘箇所の確認			
⑬	個人レッスン(StepⅠA-12、StepⅡB-12など) グループ授業(コードネーム)				事前学習	曲の譜読み・練習			
					事後学習	試験曲の把握			
⑭	試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(模擬試験)				事前学習	試験曲の練習			
					事後学習	指摘箇所の練習			
⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ				事前学習	試験曲の練習			
					事後学習	講評内容の把握			
学習上の留意点	・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。								
成績評価の方法	ピアノ実技試験 70% ※記録票の提出必須 平常点 30% (グループ授業評価、授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)				教科書	「ピアノへのアプローチ4Steps」音楽之友社 「保育士、幼稚園教諭を目指す人たちのための音楽基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」ふくろう出版 適宜プリント教材を使用			
	以上を総合的に評価する				参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		ピアノ実技Ⅱ				担当教員	桐生・卯野・笠木・守屋他	ピアノ講師として実務経験有	
全体目標	ピアノ実技Ⅰと音楽基礎で学習した技術と知識を基に、ピアノ演奏技術を向上させる。								
一般目標	保育現場で使用される、生活のうたや行進曲を通して応用的な奏法を習得する。歌唱を通じた音楽表現を学ぶ。								
到達目標	個人レッスンの前半は教育実習に向けて生活のうた、後半はさまざまな行進曲や標題音楽を習得する。グループ授業ではさまざまな歌唱法について学ぶ。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	全体ガイダンス・生活のうたの位置づけ・個人レッスン開始 グループ授業(生活のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(おはようなど) グループ授業(春のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(おべんとうなど) グループ授業(夏のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(おかえりのうたなど) グループ授業(秋のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(おはようのうたなど) グループ授業(冬のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(さよならのうたなど) グループ授業(行事のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	試験曲の把握		
	⑦	中間試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(その他のうた)				事前学習	試験曲の練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	学習上の留意点	⑧	ピアノ実技中間試験・講評				事前学習	試験曲の練習	
						事後学習	講評内容の把握		
⑨		個人レッスン(聖者の行進など) グループ授業(その他のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑩		個人レッスン(ルイヴィル・マーチなど) グループ授業(合唱1)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑪		個人レッスン(グランド・マーチなど) グループ授業(合唱2)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑫		個人レッスン(ジョン・ブラウنز・ボディなど) グループ授業(合唱3)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑬		個人レッスン(大雷雨など) グループ授業(合唱4)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	試験曲の把握		
⑭		試験曲レッスン・リハーサル・試験の諸注意 グループ授業(合唱5)				事前学習	試験曲の練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑮		ピアノ実技期末試験・講評・まとめ				事前学習	試験曲の練習		
						事後学習	講評内容の把握		
成績評価の方法	ピアノ実技試験 70% ※記録票の提出必須 平常点 30% (グループ授業評価、授業参加状況、受講態度、合格曲の難易度と曲数)					教科書	「幼児のうたとあそび」みらい 「保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集第2巻改訂版」学研プラス 「ピアノへのアプローチ4Steps」音楽之友社 適宜プリント教材を使用		
	以上を総合的に評価する						参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説	

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		基礎造形				担当教員	桑原 恒和	芸術系教員として 実務経験有	
全体目標	各学生が図画工作に於ける基礎的な造形・絵画表現についての知識を、実際の制作と各指導を基に習得する事を目標とする。								
一般目標	各学生が制作に専念し、各課題を楽しみながら自発的に工夫を加えつつ発展させて行く事を目標とする。								
到達目標	各学生が身近な素材を基に将来、指導する事を念頭に効果的な教育活動を行なえる様、体験を通して知識を習得する事を目標とする。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	自分の体から(1)手を描く				事前学習 事後学習	各部分の向きや厚みを意識する 指摘箇所の確認		
	②	自分の体から(2)耳を描く				事前学習 事後学習	不思議な形を描く 指摘箇所の確認		
	③	自分の体から(3)頭部を描く				事前学習 事後学習	左右非対称を意識する 指摘箇所の確認		
	④	音楽による想像画(1)イメージを描く				事前学習 事後学習	頭に浮かんだものを描く 指摘箇所の確認		
	⑤	音楽による想像画(2)仕上げる				事前学習 事後学習	説得力を持つ様、細部を仕上げる 指摘箇所の確認		
	⑥	個別指導、採点、講評、お面作りの下絵制作				事前学習 事後学習	どんなお面を作るのかを考える 指摘箇所の確認		
	⑦	紙粘土によるお面制作(1)面芯の準備と土台作り				事前学習 事後学習	全体の大きさやボリュームを考える 指摘箇所の確認		
	⑧	紙粘土によるお面制作(2)バランスを考え、盛る				事前学習 事後学習	立体感を意識して制作する 指摘箇所の確認		
	⑨	紙粘土によるお面制作(3)各部分の制作				事前学習 事後学習	細部を工夫する 指摘箇所の確認		
	⑩	紙粘土によるお面制作(4)修正				事前学習 事後学習	丁寧にひび割れた所を修正する 指摘箇所の確認		
	⑪	紙粘土によるお面制作(5)着色				事前学習 事後学習	色の組み合わせに注意する 指摘箇所の確認		
	⑫	紙粘土によるお面制作(6)仕上げ				事前学習 事後学習	違う素材との組み合わせを考える 指摘箇所の確認		
	⑬	画面に楽器全体を閉じ込める(1)ギター				事前学習 事後学習	膨らませる、曲げるのデフォルメ 指摘箇所の確認		
	⑭	画面に楽器全体を閉じ込める(2)サクソフォン				事前学習 事後学習	引き延ばす、丸めるのデフォルメ 指摘箇所の確認		
		⑮ 試験、まとめ				事前学習 事後学習	登校時に形の面白いものを見つけ、モデルとし、デッサンする 指摘箇所の確認		
学習上の留意点	美術が出来ない、苦手という思い込みやコンプレックスを乗り越え、自分は他人とどう違い、どんな個性を持っているのかを認識し、各制作を通して自信を付けて行く事を目指します。								
成績評価の方法	通常の各課題 70%				教科書	無し、必要に応じて資料を配布します。			
	定期試験 20%				参考資料	「絵画制作・造形」 東京書籍 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 及び各解説書			
授業参加状況や受講態度(提出期限の厳守、画材、材料を忘れない事も含む) 10%									

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		あそびと造形				担当教員	豎山 真由子	中学校教諭(美術)として実務経験有	
全体目標	子どもにとっての最初の先生となる保育者となるために、絵を描いたり造形したりする楽しさや喜びを本授業において身につけることをねらいとします。								
一般目標	幼児の絵や造形についての理解を深め、現場で使うことができる様々な技法や、廃材を使用した立体制作などをおこないます。								
到達目標	卒業後、保育現場で子どもたちに表現することの楽しさを伝えることができるような保育者を目指します。また、そのために必要な技術の習得や発想力を養います。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション、道具類の説明、材料や技法について知ろう。				事前学習	シラバスの確認をしておく		
						事後学習	道具の用意		
	②	イラストを描くコツを掴もう。				事前学習	初回に説明した道具を持参		
						事後学習	資料に目を通し内容を把握する		
	③	壁面構成(計画・制作)				事前学習	事前に伝えた自分の担当について計画を立てる		
						事後学習	グループごとで次回の内容確認		
	④	壁面構成(完成・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
						事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
	⑤	手形・足形アートを作ろう。(計画・制作)				事前学習	事前に伝えたテーマについて計画を立てる		
						事後学習	制作するための素材集め		
	⑥	手形・足形アートを作ろう。(完成・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
						事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
	⑦	廃材を使った工作、季節の掲示編(計画)				事前学習	事前に伝えた自分の担当について計画を立てる		
						事後学習	制作するための素材集め		
学習上の留意点	⑧	廃材を使った工作、季節の掲示編(制作)				事前学習	素材を持参		
						事後学習	制作するための素材集め		
	⑨	廃材を使った工作、季節の掲示編(完成・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
						事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
	⑩	廃材を使った工作、おもちゃ編(計画)				事前学習	事前に伝えたテーマについて計画を立てる		
						事後学習	制作するための素材集め		
	⑪	廃材を使った工作、おもちゃ編(制作)				事前学習	素材を持参		
						事後学習	制作するための素材集め		
	⑫	廃材を使った工作、おもちゃ編(完成・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
						事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
成績評価の方法	⑬	なりきり帽子づくり(練習)				事前学習	事前に伝えたテーマについて計画を立てる		
						事後学習	制作するための素材集め		
	⑭	なりきり衣装づくり(制作・鑑賞会)				事前学習	前回の制作状況の振り返り、今後の課題把握		
						事後学習	鑑賞した内容の振り返り・まとめ		
	⑮	試験、まとめ				事前学習	これまでの内容の復習		
					事後学習	講評のフィードバック			
学習上の留意点	全課題提出を目標とし、授業に臨む姿勢を大切にする。 グループ制作や作品鑑賞会等をおこなうため、コミュニケーションを大切にする。 日常から、造形あそびや制作のヒントになる素材やテーマを見つける習慣をつけると良い。								
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度(忘れ物等)	25%	教科書	無し(必要に応じて資料を配布します。)					
	作品、提出物	50%							
	試験	25%	参考資料	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示 文部科学省)「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」(平成29年3月告示 厚生労働省)「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」					
	2回以上の欠席や、準備物の忘れ、課題未提出がある場合は厳しい評価となります。								

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		あそびと運動Ⅰ			担当教員	田島 宗忠		幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	幼児教育における「あそびと運動」についてその意義を理解する。								
一般目標	保育における「集団遊び」について、幼児の発達を踏まえた指導の基礎を学ぶ。								
到達目標	・ 集団遊びの意義を理解する。 ・ 集団遊びの立案及び指導法を理解する。 ・ 保育者としての心構えを身につける。								
授業の ながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① オリエンテーション					事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	授業内容の理解		
	② 集団遊び①(コミュニケーション)					事前学習	事前配布資料下読み		
						事後学習	指導内容の確認		
	③ 集団遊び②(園での遊びを中心に)					事前学習	事前配布資料下読み		
						事後学習	指導内容の確認		
	④ ダンス①(コミュニケーション)					事前学習	事前配布資料下読み		
						事後学習	指導内容の確認		
	⑤ ダンス②(フォークダンス)					事前学習	事前配布資料下読み		
						事後学習	指導内容の確認		
	⑥ 素材遊び①(ボール)					事前学習	事前配布資料下読み		
						事後学習	指導内容の確認		
	⑦ 素材遊び②(身近な素材を使って)					事前学習	事前配布資料下読み		
						事後学習	指導内容の確認		
	⑧ 鬼遊び					事前学習	事前配布資料下読み		
					事後学習	指導内容の確認			
⑨ 実践研究①(計画作成・グループワーク)					事前学習	事前配布資料下読み			
					事後学習	計画内容の検討			
⑩ 実践研究②(3歳児)					事前学習	指導計画確認			
					事後学習	実践内容の検討			
⑪ 実践研究③(4歳児)					事前学習	指導計画確認			
					事後学習	実践内容の検討			
⑫ 実践研究④(5歳児)					事前学習	指導計画確認			
					事後学習	実践内容の検討			
⑬ 実践研究⑤(振り返り・自己評価)					事前学習	指導計画確認			
					事後学習	実践内容の検討			
⑭ まとめ					事前学習	授業内容の確認			
					事後学習	授業内容の確認			
⑮ 試験・講評					事前学習	試験内容の確認			
					事後学習	講評内容の確認			
学習上の留意点	以下の点に留意して、講義に望むこと。 ・コミュニケーション活動への積極的な参加 ・立場による視点の理解(保育者・幼児)								
成績評価の方法	平常点(授業参加状況、受講態度)				教科書	プリント配布			
	実践研究、定期試験				参考資料	『続・幼児が熱中するゲーム 5歳児編』、「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説書			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位	
科目名		あそびと運動Ⅱ			担当教員	浦田 一		幼稚園教諭・保育士として実務経験有		
全体目標	幼児期における発達の違い、遊びの重要性を理解する。									
一般目標	集団遊びを通じ、遊びの楽しさと運営方法を具体的に学ぶ。									
到達目標	・個々の能力や体力の違いを理解する。 ・子どもたちの遊びの中における保育者の役割を学ぶ。 ・保育現場で実際に使える力を身につける。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	① オリエンテーション					事前学習	シラバスの考察			
						事後学習	事例の検討			
	② 遊びを通じたコミュニケーション①					事前学習	プリント学習			
	【実技】					事後学習	実践内容のまとめ			
	③ 遊びを通じたコミュニケーション② (ダンス)					事前学習	プリント学習			
	【実技】					事後学習	実践内容のまとめ			
	④ 子どもの遊びを考える(遊びとは)					事前学習	プリント学習			
	【講義】					事後学習	講義内容の確認			
	⑤ 手遊び・指遊び・じゃんけん遊び					事前学習	プリント学習			
	【実技】					事後学習	実践内容のまとめ			
	⑥ 伝承遊び					事前学習	プリント学習			
	【実技】					事後学習	実践内容のまとめ			
	⑦ 器械体操とごっこ遊びの関係					事前学習	プリント学習			
	【実技】					事後学習	実践内容のまとめ			
	⑧ 子どもの遊びを考える(集団ゲームとは)					事前学習	プリント学習			
【講義】					事後学習	講義内容の確認				
⑨ 集団ゲーム(仲間との交流)					事前学習	プリント学習				
【実技】					事後学習	実践内容のまとめ				
⑩ 集団ゲーム(ルール工夫と発展)					事前学習	プリント学習				
【実技】					事後学習	実践内容のまとめ				
⑪ 子どもの遊びを考える(集団ゲームの価値)					事前学習	プリント学習				
【講義】					事後学習	講義内容の確認				
⑫ 集団ゲーム(数量・時間・空間)					事前学習	プリント学習				
【実技】					事後学習	実践内容のまとめ				
⑬ 集団ゲーム(脱中心化)					事前学習	プリント学習				
【実技】					事後学習	実践内容のまとめ				
⑭ まとめ・遊び集作成					事前学習	ゲームを一つ創作してくる				
【講義】					事後学習	講義内容の確認				
⑮ 試験・講評					事前学習	試験内容の確認				
					事後学習	講評内容の確認				
学習上の留意点	以下の点に留意して、授業に臨んでください。 ・コミュニケーション活動に積極的に参加してください。 ・現場に出たときの、自分の姿を想像しながら参加してください。 *授業は実技を中心に行う為、運動着・運動靴を着用ください。									
成績評価の方法	定期試験	50%			教科書	配布プリント				
	授業参加状況	30%			参考資料	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」各解説書 「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 「新訂 のびのび遊べる子に」				
	授業態度	20%								

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		こどもと音楽Ⅰ				担当教員	桐生・卯野・守屋・奥野他	ピアノ講師として 実務経験有	
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。								
一般目標	1年生で履修したピアノ実技Ⅰ・Ⅱの演奏技術から更に高い技能を習得する。 幼児の感性、表現する力、創造性を育む伴奏を理解し、より音楽的な演奏力と表現力を向上させる。								
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。 グループ授業ではさまざまな歌唱法について学ぶ。								
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	全体ガイダンス・記録票と曲目リストの配布・個人レッスン開始 グループ授業(生活のうた)				事前学習	シラバスの確認		
						事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(生活のうた おはようなど) グループ授業(春のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(生活のうた おべんとうなど) グループ授業(夏のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(生活のうた おかえりのうたなど) グループ授業(秋のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(春のうた 春が来たなど) グループ授業(冬のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(春のうた ちょうちょうなど) グループ授業(行事のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(春のうた ぶんぶんぶんなど) グループ授業(その他のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
学 習 上 の 留 意 点	⑧	個人レッスン(春のうた めだかのがっこうなど) グループ授業(その他のうた)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑨	個人レッスン(夏のうた はをみがきましょうなど) グループ授業(合唱1)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑩	個人レッスン(夏のうた あめふりくまのこなど) グループ授業(合唱2)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑪	個人レッスン(夏のうた しゃぼん玉など) グループ授業(合唱3)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑫	個人レッスン(夏のうた ありさんのおはなしなど) グループ授業(合唱4)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
成 績 評 価 の 方 法	⑬	個人レッスン(夏のうた たなばたさまなど) グループ授業(合唱5)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	試験曲の把握		
	⑭	試験曲レッスン・リハーサル・記録票の提出 グループ授業(合唱6)				事前学習	器楽記録票の点検		
						事後学習	試験曲の練習		
	⑮	ピアノ実技試験・講評・まとめ				事前学習	試験曲の練習		
					事後学習	講評内容の把握			
学 習 上 の 留 意 点	・毎時間、個人レッスンとグループ授業を受講する。礼節をわきまえ、速やかに移動すること。 ・教員の助言したポイントに気をつけ、毎日の練習を欠かさないこと。特に自宅に鍵盤楽器を所有しない学生は、学校のピアノを朝、昼、帰りなどの空き時間に有効利用すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。								
	ピアノ実技試験 70% ※記録票の提出必須 グループ授業評価 20% 平常点 10% (授業参加状況、受講態度、弾き歌い発表)					教科書	「幼児のうたとあそび」みらい 「保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集第2巻改訂版」学研プラス 適宜プリント教材を使用		
成 績 評 価 の 方 法	以上を総合的に評価する					参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		こどもと音楽Ⅱ				担当教員	桐生・卯野・守屋・奥野他	ピアノ講師として 実務経験有	
全体目標	こどものうたを中心とした、弾き歌い演奏の知識・技術と表現力を身につける。								
一般目標	より保育現場に即した伴奏方法やレパートリーを習得する。(こどもと音楽Ⅰの合格曲を除く)								
到達目標	個人レッスンでは各曲の適切な伴奏法を考察しながら、弾き歌いのレパートリーを1曲でも多く習得する。 グループ授業ではコードネームを理解し、簡易伴奏法を身につける。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	全体ガイダンス・記録票と曲目リストの配布・個人レッスン開始 グループ授業(コードネームとは)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	説明内容の把握		
	②	個人レッスン(秋のうた タヤけこやけなど) グループ授業(コードネームの種類)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	③	個人レッスン(秋のうた きのこなど) グループ授業(メジャーコード)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	④	個人レッスン(秋のうた どんぐりころころなど) グループ授業(マイナーコード)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑤	個人レッスン(秋のうた 小ぎつねなど) グループ授業(オーギュメントコード)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑥	個人レッスン(冬のうた 赤鼻のトナカイなど) グループ授業(ディミニッシュコード)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑦	個人レッスン(冬のうた お正月など) グループ授業(セブンスコード)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	学習上の留意点	⑧	個人レッスン(冬のうた 雪など) グループ授業(コードの転回)				事前学習	曲の譜読み・練習	
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑨		個人レッスン(冬のうた たき火など) グループ授業(ハ長調のコード)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑩		個人レッスン(卒園のうた 思い出のアルバムなど) グループ授業(ヘ長調のコード)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑪		個人レッスン(卒園のうた 一ねんせいになったらなど) グループ授業(ト長調のコード)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑫		個人レッスン(みんなのうた にじなど) グループ授業(カデンツ)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
⑬		個人レッスン(みんなのうた さんぽなど) グループ授業(伴奏形)				事前学習	曲の譜読み・練習		
						事後学習	試験曲の把握		
⑭		試験曲リハーサル、器楽記録票の提出 グループ授業(まとめ)				事前学習	器楽記録票の点検		
						事後学習	試験曲の練習		
⑮		ピアノ実技試験・講評・まとめ				事前学習	試験曲の練習		
						事後学習	講評内容の把握		
成績評価の方法	ピアノ実技試験 70% ※記録票の提出必須 グループ授業評価 20% 平常点 10% (授業参加状況、受講態度、弾き歌い発表)				教科書	「幼児のうたとあそび」みらい 「保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集第2巻改訂版」学研プラス 「保育士、幼稚園教諭を目指す人たちのための音楽基礎と表現～楽典とソルフェージュ～改訂版」ふくろう出版 適宜プリント教材を使用			
	以上を総合的に評価する				参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説			

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		こどもと音楽Ⅲ				担当教員	堀田 彩乃	幼稚園教諭として 実務経験有	
全体目標	幼児の音楽について理解を深め、幼児教育者としての音楽的能力と感性を磨き、創造性を豊かにする。 幼児の発達を踏まえた音楽表現や、場面に合わせた指導法を考察する。								
一般目標	他者と協調して音楽活動に取り組み、音楽の楽しさや喜びを共有する。								
到達目標	様々な楽器の特性を理解した上で、各楽器の扱い方、正しい奏法を習得し演奏技術を身につける。 幼児教育実践の場を想定した音楽発表会を制作し、発表できる。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	カリキュラムの説明、楽器の奏法、楽譜について				事前学習	シラバス確認		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	②	発達段階に合わせた合奏(2、3歳児)				事前学習	配布プリントの確認		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	③	2、3歳児に合った合奏曲作り				事前学習	2、3歳児に合った合奏曲の選曲		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	④	発達段階に合わせた合奏(4歳児)				事前学習	配布プリントの確認		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑤	4歳児に合った合奏曲作り				事前学習	4歳児に合った合奏曲の選曲		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑥	発達段階に合わせた合奏(5歳児)				事前学習	配布プリントの確認		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑦	様々な曲の合奏(導入、楽器決め、配置等)				事前学習	配布プリントの確認		
						事後学習	授業内容を振り返る		
	⑧	合奏曲 合わせ 発表				事前学習	発表に向けた練習		
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑨	音楽発表会の事例、プログラム作成について				事前学習	配布プリントの確認			
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑩	音楽発表会の制作① (グループ決め、選曲、楽器決め等)				事前学習	発表に向けた準備、練習			
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑪	音楽発表会の制作② (楽譜作成、パート・全体練習等)				事前学習	発表に向けた準備、練習			
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑫	音楽発表会の制作③ (通して練習、しあげ)				事前学習	発表に向けた準備、練習			
					事後学習	授業内容を振り返る			
⑬	グループごとの発表、リハーサル				事前学習	発表に向けた準備、練習			
					事後学習	発表に向けた準備、練習			
⑭	発表				事前学習	発表に向けた準備、練習			
					事後学習	発表の感想、これまでの授業内容を確認する			
⑮	まとめ、振り返り				事前学習	発表の感想、これまでの授業内容をまとめる			
					事後学習	授業内容を生かし、幼児の音楽活動へ活用する			
学習上の留意点	・筆記用具を準備して授業に臨むこと ・授業内や発表準備では、積極的に自分の意見を述べ、グループや他者とのコミュニケーションを大切にすること ・幼児との音楽活動をイメージしながら参加すること								
成績評価の方法	演奏発表 70% (演奏基礎能力、アンサンブル能力、協調性等) 平常点 30% (授業参加状況、受講態度、提出物)					教科書	「幼児のうたとあそび」株式会社みらい 「保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集 第2巻 改訂版」株式会社学研プラス 適宜プリント教材を使用		
						参考資料	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	表現技術演習(身体) I				担当教員	浦田 一	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	音楽を身体で表現することから、器用性の発達、表現の自由、踊ることの楽しさを感じる。							
一般目標	子どもの発達に応じた音楽表現と保育者の指導・援助方法を習得する。							
到達目標	・領域「表現」における子どもの音楽表現について理解する。 ・保育者としての表現力を身につける。 ・リズム遊戯の創作を通し、保育者としての指導・援助法を学ぶ。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	オリエンテーション				事前学習	シラバスの考察	
		【実技】				事後学習	授業内容の検討	
	②	幼児向けダンス				事前学習	プリント学習	
		【実技】				事後学習	実践内容のまとめ	
	③	フォークダンス				事前学習	プリント学習	
		【実技】				事後学習	実践内容のまとめ	
	④	うたあそび				事前学習	プリント学習	
		【実技】				事後学習	実践内容のまとめ	
	⑤	ポンポンダンス①【講義】 (運動会の遊戯が出来あがるまでを学ぶ)				事前学習	プリント学習	
						事後学習	実践内容のまとめ	
	⑥	ポンポンダンス②				事前学習	プリント学習	
		【実技】				事後学習	講義内容の確認	
	⑦	創作表現を学ぶ①【講義】 (遊戯会の遊戯が出来あがるまでを学ぶ)				事前学習	プリント学習	
						事後学習	実践内容のまとめ	
学習上の留意点	⑧	創作表現を学ぶ②				事前学習	プリント学習	
		【実技】				事後学習	講義内容の確認	
	⑨	遊戯会振り返り				事前学習	事前配布資料の確認	
		【講義】				事後学習	発表内容の作成	
	⑩	発表作品創作①				事前学習	プリント学習	
		(楽曲選択・隊形を検討)				事後学習	実践内容のまとめ	
	⑪	発表作品創作②				事前学習	発表内容の検討	
		(振り付けを考え、覚える)				事後学習	発表内容の作成	
	⑫	研究発表①				事前学習	発表内容の確認	
		(創作表現)				事後学習	発表内容のまとめ	
成績評価の方法	⑬	研究発表②				事前学習	発表内容の確認	
		(ポンポンダンス)				事後学習	発表内容のまとめ	
	⑭	研究内容 まとめ・考察				事前学習	統合的に復習	
						事後学習	試験内容の確認	
	⑮	試験・講評				事前学習	試験内容の確認	
					事後学習	講評内容の確認		
成績評価の方法	以下の点に留意して、授業に臨んでください。 ・幼児教育者として実技ができるように、習慣的に復習すること。 ・目標をもって基本を身につけること。 * 授業は実技を中心に行う為、運動着・運動靴を着用ください。							
	・定期試験	50%	教科書	特に指定しない				
	・授業参加状況	30%	参考資料	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」				
	・授業態度、研究発表	20%		「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」各解説書				
				「うたとあそび」 配布プリント				

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	集中	授業形態	実習		単位数	2単位
科目名		保育実習Ⅰ（児童福祉施設等）			担当教員	川上 恭代	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	・施設での体験的な学びの中で入所児者や利用者を理解し、実践的な保育・養育・支援方法を学ぶ。 ・施設の役割や施設保育士の職務や役割について学ぶ。 ・実習を通して自己覚知をすることで、自己課題を明確化し、今後の学びに繋げる。							
一般目標	・保育実習指導Ⅰ（施設）やその他の福祉系科目を中心に学んだ知識や技術を反映させ、積極的に取り組む。							
到達目標	・机上での学びと合わせて、現場での応用力や福祉的な視点を養う。 ・入所児者や利用者、施設職員の様子を観察し、一つひとつの支援や援助の意味や意図を考察する。							
授業のながれ	・実習の期間 後期の定期試験終了後から3月末まで（春休み）の期間に、 宿泊実習の場合は8泊10日、通いの実習の場合は10日間実施。 ・実習の内容 入所児者や利用者の生活支援を主とした実習を行う。 施設により、指導実習（部分）や宿直体験を行うこともある。 ・事前訪問 実習施設の概要および方針、周りの環境や実習時に必要な物品等を確認し、実習に備える。 実習施設の入所児者や利用者、職員の様子を知り、実習に向けての気持ちを高める。 事前課題が提示された場合、期日までに準備し、取り組む。 ・実習施設巡回指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習施設を訪問する。 施設の実習担当者と教員が面談した後、実習生は現地で教員の指導を受ける。 ・事後訪問 最終日の実習記録や「実習を終えて」等を記載し、原則、実習施設に持参する。 受け取り日や方法については、実習施設の指示に従う。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人・実習生としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・実習施設と学校へ必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。提出物は期限を厳守する。 ・実習施設で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。							
成績評価の方法	・実習施設の評価を基に実習記録、巡回指導時の状況、報告会を含む実習の取り組み状況を勘案して評価する ・最終的には保育実習Ⅰ（施設実習・第一回保育所実習）および保育実習指導Ⅰの授業を合わせて評価する				教科書	・「教育・保育実習テキスト」 ・「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他（編）みらい ・「朋」愛知県児童福祉施設長会広報委員会（編）		
					参考資料	・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名	保育実習指導Ⅰ（児童福祉施設等）				担当教員	川上 恭代	児童養護施設職員として実務経験有	
全体目標	・保育実習Ⅰ（施設）とは、これまでに学んだ知識や技術を元に保育の応用力を養う機会である。そこで、本科目では実習に備え、各施設の役割、目的、援助の方法や必要な視点などの基礎的事項について学び、実習への自己学習課題を明確化していく。							
一般目標	・福祉施設及び子ども・利用者への正しい理解と知識を身に付ける。 ・子どもや利用者への内面への共感的理解のあり方を考える。							
到達目標	・多様な施設の現場の実情を学び、事例検討をする中で、施設で生活する子どもや利用者を理解し、様々な視点による支援や援助のあり方を学ぶ。							
授業のながれ	回数〔授業内容〕				課外学習			
	① 保育実習の意義～実習の目的～				事前学習	教科書P.10～P.12 予習		
					事後学習	実習の目的の復習		
	② 保育実習の意義～実習の概要～				事前学習	教科書P.12～P.14 予習		
					事後学習	実習の概要の復習		
	③ 実習の内容				事前学習	教科書P.34～P.42 予習		
					事後学習	各指導、支援の意味や意図の復習		
	④ 実習課題の明確化				事前学習	教科書P.23～P.24 予習		
					事後学習	課題設定の整理		
	⑤ 実習に際しての留意事項 ～人権と最善の利益について～				事前学習	人権、最善の利益の意味調べ		
					事後学習	子ども・利用者の最善の利益の復習		
	⑥ 実習に際しての留意事項 ～プライバシーの保護と守秘義務～				事前学習	プライバシー、守秘義務の意味調べ		
					事後学習	施設での守秘義務の意味と重要性の復習		
	⑦ 実習に際しての留意事項 ～実習生としての心構え～				事前学習	教科書P.22～P.23、「朋」施設実習を考える 予習		
					事後学習	自らの課題と目標の整理		
学習上の留意点	⑧ 施設実習とは				事前学習	教科書第5章、第6章該当部分 予習		
					事後学習	養護系、障害系の施設の復習		
	⑨ 施設での生活と子ども・利用者の理解				事前学習	教科書P.14～P.18 予習		
					事後学習	実習施設について調べる		
	⑩ 施設実習の事前準備(1) 事前訪問と報告書について				事前学習	教科書P.26～P.28、マニュアルP.30～P.33 予習		
					事後学習	各実習グループでの打ち合わせ		
	⑪ 施設実習の事前準備(2)「朋」から学ぶ				事前学習	「朋」施設実習を考える 予習		
					事後学習	「朋」を読んで感想をまとめる		
	⑫ 施設実習の事前準備(3)実習計画と心構え				事前学習	教科書P.28～P.32 予習		
					事後学習	施設実習計画書の作成		
成績評価の方法	⑬ 施設実習の事前準備(4)記録の書き方				事前学習	教科書P.44～P.51 予習		
					事後学習	記録の書き方の整理及び復習		
	⑭ 施設実習の事後指導 ～実習における学び(反省と課題等)～				事前学習	教科書P.120～P.124 予習		
				事後学習	実習に向けての目標及び課題確認			
成績評価の方法	⑮ 定期試験・講評				事前学習	これまでの学びの復習及び確認		
					事後学習	講評の内容の整理と把握		
成績評価の方法	・定期試験 70% ・提出物 30%				教科書	・「教育・保育実習テキスト」 ・「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい ・「朋」愛知県児童福祉施設長会広報委員会(編)		
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。				参考資料	・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	集中	授業形態	実習		単位数	2単位
科目名		保育実習Ⅰ（保育所等）				担当教員	林 幸・荒木美恵	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験し、保育所保育を理解する。 また、基礎的な能力と態度を養い、自らの課題を明確にする。								
一般目標	・観察・参加実習を通して、子どもの実態と保育所保育の理解をする。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を養う。								
到達目標	・観察・参加を通して、子どもの実態と保育所保育の理解ができる。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。 ・実習における観察・記録・振り返りを通して、明日の保育に繋げる。また、自己評価と自らの課題を明確にする。								
授業のながれ	・実習の期間 前期 7 月に 2 週間実施。 ・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を行うこともある。 ・現地オリエンテーション 実習開始の約 3～4 週間前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談終後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。（実習園の指示に従う） 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。								
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。								
成績評価の方法	・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する					教科書	・「教育・保育実習テキスト」 ・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」		
						参考資料	・実習関係書類		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		保育実習指導Ⅰ(保育所)				担当教員	林 幸・荒木美恵	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	保育所保育を理解し、実習に必要なことを学ぶ。								
一般目標	・保育実習の意義・目的を理解する。 ・実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 ・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解する。 ・実習における観察・記録及び評価を理解する。								
到達目標	・保育実習の意義・目的の理解と、自らの課題を明確にする。事後においては自己評価に取り組み、自らの課題を明確にできる。 ・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解して、実習にのぞむ。 ・実習における観察・記録及び評価を記入できる。								
授業のながれ	[授 業 内 容]					課外学習			
	①	赤ちゃんふれあい実習Ⅰ				事前学習	発達段階の復習		
						事後学習	メモを取る		
	②	赤ちゃんふれあい実習Ⅰ				事前学習	メモを取る		
						事後学習	メモを取る		
	③	赤ちゃんふれあい実習Ⅰ				事前学習	メモを取る		
						事後学習	メモを取る		
	④	赤ちゃんふれあい実習Ⅰ				事前学習	メモを取る		
						事後学習	実習記録記入		
	⑤	オリエンテーション 実習の概要 実習の意義				事前学習	実習記録記入・見直し		
						事後学習	授業内容の復習		
	⑥	保育所保育の理解				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容の復習		
	⑦	保育所保育 養護と教育の一体化の理解				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
						事後学習	授業内容の復習		
	⑧	実習記録の記入(1) 毎日の実習(保育の流れ) 書き方				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容の復習			
⑨	実習記録の記入(2) 毎日の実習(保育の流れ)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	記録の記入			
⑩	実習記録の記入(3) 場面記録				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	記録の記入			
⑪	保育教材研究・実習準備				事前学習	個人票の書き方の復習			
					事後学習	個人票・実習生の目標の検討			
⑫	実習記録の記入(4) 指導計画の書き方				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	指導計画の立案			
⑬	実習記録の記入(5) 指導計画立案				事前学習	指導計画の立案			
					事後学習	指導計画の記入			
⑭	実習の注意(人権保育・守秘義務・最善の利益・心構え)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	授業内容の復習			
⑮	試験とまとめ				事前学習	授業の復習			
					事後学習	試験の内容を振り返る			
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。 ・課題・提出物は、期限厳守。授業持参といわれた物は、忘れずに持って参加すること。								
成績評価の方法	・定期試験70% ・平常点(授業参加状況・受講態度・提出物) 30%					教科書	「教育・保育実習テキスト」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」		
						参考資料	「0・1・2歳児の子どもの姿ベースの指導計画」 フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「幼稚園・保育園・施設 実習ワーク」 萌文書林		

シラバス(授業計画)

部・学年	昼間部	学期	集中	授業形態	実習		単位数	2単位
科目名	保育実習Ⅱ				担当教員	林 幸・荒木美恵	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	将来の保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける。 実践的指導力のある指導保育士のもとで体験し、保育所保育と保育所の役割を理解する。							
一般目標	・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育と保育所の役割を理解する。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。							
到達目標	・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育と保育所の役割を理解できる。 ・保育に必要な基礎的な技術を身に付ける。 ・実習における指導案作成と観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。							
授業の内容	[授 業 内 容]							
	後期9～10月に2週間実施。 ・実習の内容 参加実習に加え、指導実習(一日)を行う 状況に応じて半日実習・部分実習を数回行うこともある。 ・事前訪問 夏休み中に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・能動的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。 注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。							
成績評価の方法	・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する				教科書	・「教育・保育実習テキスト」 ・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」		
					参考資料	・実習関係書類		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	1単位
科目名		保育実習指導Ⅱ				担当教員	林 幸・荒木美恵	幼稚園教諭・保育士として実務経験有	
全体目標	保育所保育を理解し、保育実習に必要なことを学ぶ。また将来の保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける。								
一般目標	・保育実習の意義・目的を理解し、保育を総合的に学ぶ。 ・実習事後指導を通して自己評価をおこない、自らの課題を明確にする。 ・実習保育所における子どもの人権と最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解を深める。 ・保育者の専門性と職業倫理について理解する。								
到達目標	・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。 ・実習における観察・記録・計画及び評価を記入できる。 ・保育所における保育士の専門性と職業倫理を理解できる。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ				事前学習	発達段階の復習		
						事後学習	メモを取る		
	②	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ				事前学習	メモを取る		
						事後学習	メモを取る		
	③	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ				事前学習	メモを取る		
						事後学習	メモを取る		
	④	赤ちゃんふれあい実習Ⅱ				事前学習	メモを取る		
						事後学習	実習記録記入		
	⑤	乳児保育の理解① ー赤ちゃん実習での考察ー				事前学習	実習記録記入・見直し		
						事後学習	授業内容の復習		
	⑥	乳児保育の理解② ー実践から学ぶー				事前学習	乳児発達の理解を深める		
						事後学習	授業内容の復習		
	⑦	実習記録の記入（1）指導計画				事前学習	指導準備・計画作成		
						事後学習	指導計画検討		
	⑧	実習記録の記入（2）指導計画 実習の諸注意				事前学習	指導準備・計画作成		
						事後学習	指導計画検討		
⑨	事後指導（1）振り返りと経験交流				事前学習	実習について振り返りと考察			
					事後学習	意見交流			
⑩	事後指導（2）課題の明確化				事前学習	課題の明確化と考察・改善			
					事後学習	意見交流			
⑪	事後指導（3）事例検討				事前学習	エピソード記録の考察			
					事後学習	意見交流			
⑫	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解①「環境」から見た理解				事前学習	保育所保育の理解を深める			
					事後学習	子どもの最善の利益について考える			
⑬	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解②「保育内容」から考えた理解				事前学習	子どもの最善の利益について振り返る			
					事後学習	子どもの最善の利益について理解を深める			
⑭	保育士の専門性と職業倫理・危機管理				事前学習	保育士の倫理・危機管理について考える			
					事後学習	授業内容の復習			
⑮	試験とまとめ				事前学習	授業の復習			
					事後学習	試験の内容を振り返る			
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。 ・課題や提出物は、期限厳守。 授業持参といわれた物は、忘れずに持って参加すること。								
成績評価の方法	・定期試験70% ・平常点(授業参加状況・受講態度・提出物) 30%					教科書	「教育・保育実習テキスト」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」		
						参考資料	「0・1・2歳児の子どもの姿ベースの指導計画」 フレーベル館 「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」 萌文書林 「幼稚園・保育園・施設 実習ワーク」 萌文書林		

シラバス(授業計画)

部・学年		昼間部	学期	半期	授業形態	演習		単位数	2単位
科目名		保育実践演習				担当教員	村上 友香		
全体目標	保育者としての自らの課題を見つけ、それを解決する具体的な手立てを考えることができる。								
一般目標	①これまでの学内・学外での学びを振り返り把握する。 ②保育に関する現代的課題について情報を収集して現状を分析し、その課題への対応を考察する。 ③①、②を踏まえ、自己の課題を明確化する。								
到達目標	①これまでの学習の振り返りを通じて、さらに学びを深めたい関心のあるテーマを見つけ、自ら問いを立て、解決すべき課題を見つける。 ②自ら立てた問いに関連する現状や背景、その課題解決の方向性及び具体的方法等について検討する。 ③適切な情報の収集・整理・分析の方法について理解する。 ④研究発表や討論を行うことで、自身の習得した知識・技術等を確認し、自己の課題を把握する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① オリエンテーション					事前学習	これまでの学習の振り返り		
						事後学習	自身の研究関心を探る		
	② 研究テーマの検討(1)自身の研究関心を探る					事前学習	自身の研究関心を探る		
						事後学習	先行研究を探す		
	③ 研究テーマの検討(2)先行研究を探す					事前学習	先行研究を探す		
						事後学習	研究テーマを決定する		
	④ 情報収集(1)文献					事前学習	研究テーマに関する文献を収集する		
						事後学習	文献による情報収集の特徴を理解する		
	⑤ 情報収集(2)インターネット					事前学習	研究テーマに関するインターネット上の情報を収集する		
						事後学習	インターネットによる情報収集の特徴を理解する		
	⑥ 情報整理・分析(1)読み方のヒント					事前学習	収集した情報を理解・整理する		
						事後学習	読み方のヒントを踏まえ、収集した情報を見直す		
	⑦ 情報整理・分析(2)クリティカルシンキング					事前学習	収集した情報を理解・整理する		
						事後学習	クリティカルシンキングを働かせた読み方をする		
	⑧ 資料作成・発表準備(1)発表の流れをつくる					事前学習	収集・分析した情報をもとに、発表課題を設定する		
						事後学習	発表課題にもとづいた構成を考える		
⑨ 資料作成・発表準備(2)資料作成のルール					事前学習	収集した情報を精査し、発表資料を作成する			
					事後学習	資料作成のルールにもとづいて自らの資料を確認する			
⑩ 資料作成・発表準備(3)聞き手を意識する					事前学習	発表方法を考える			
					事後学習	聞き手を意識して発表方法を見直す			
⑪ 発表(1)子どもの発達理解					事前学習	発表の練習			
					事後学習	自分以外の人の発表から自らを振り返る			
⑫ 発表(2)保育の計画、方法、評価					事前学習	発表の練習			
					事後学習	自分以外の人の発表から自らを振り返る			
⑬ 発表(3)子育て支援					事前学習	発表の練習			
					事後学習	自分以外の人の発表から自らを振り返る			
⑭ 発表(4)保育のこれからの課題					事前学習	発表の練習			
					事後学習	自分以外の人の発表から自らを振り返る			
⑮ 研究経過の振り返りとまとめ					事前学習	これまでの学習の振り返り			
					事後学習	自己課題を明確にし、改善の見通しを立てる			
学習上の留意点	・ 文献やインターネットの情報のみでなく、積極的にインタビューやアンケートなどの調査を行うこと。 ・ 発表資料は、Word等のソフトを利用してPCで作成すること。 ・ 発表準備は、グループで協力して行うこと。 ・ 発表は、聞き手を意識しわかりやすいものを心がけること。								
成績評価の方法	発表	40%			教科書				
	研究過程での取り組み	30%			参考資料	・石黒圭『この1冊でちゃんと書ける！ 論文・レポートの基本』日本実業出版社、2012年 ・中島常安・清水玲子編著『事例からみえる子どもの育ちと保育ー保育・教職実践演習のためにー』同文書院、2015年 ・山田剛史・林創『大学生のためのリサーチリテラシー入門ー研究のための8つの力ー』ミネルヴァ書房、2011年			
	提出物等	30%							
	以上を総合的に評価する								

部 年 組 番

氏名
